

目 次

I	はじめに	1
II	管理部門	
1	普及啓発・受診勧奨	
1-1	普及啓発事業の目的	2
1-2	がん征圧運動	2
1-3	研修会、健康教育の実施	4
1-4	普及啓発資料の作成・配布、及び教育機材の貸し出し	5
1-5	北海道・市町村との連携	6
1-6	企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体との連携	8
1-7	賛助会実績	9
1-8	受診勧奨	9
2	がん相談事業実績	10
3	精度管理体制	
3-1	精度管理体制	11
3-2	専門職の研鑽	11
3-3	施設認定	19
4	事後管理の流れ	20
5	安全管理体制	21
6	検診車の保有状況	22
7	施設整備に対する助成金の受け入れ状況	23
8	研究等事業	24
III	検（健）診部門	
1	令和6年度検（健）診受診者数	25
2	がん検診の成績	26
3	健康診査の成績	64
4	各種検査の成績	84
5	検診センターの精密検査成績	87
	【参考資料】	
1	がん対策の背景	96
2	市町村が実施するがん検診の受託状況について	101
3	北海道対がん協会	103
3-1	概要	103
3-2	目的及び事業	104
3-3	検診センター及び細胞診センターの機能	105
3-4	機構図	107
3-5	役員等名簿	108
3-6	沿革概要	110
4	個人情報保護方針	113
5	検診センターにおける各種検診日	114
6	北海道がん対策基金のご案内	115
7	がん征圧賛助会へのご入会案内	119

－ 本事業年報の説明 －

「2024事業年報」は、公益財団法人北海道対がん協会の令和6（2024）年度の事業を集録したものです。

なお、各資料の年度区分は次表のとおりです。

目 次	ページ	区分
Ⅱ 管理部門	P 2～P 24	令和6（2024）年度
Ⅲ 検（健）診部門	P 25～P 95	令和6（2024）年度
【参考資料】		
1 がん対策の背景	P 96～P 100	令和6（2024）年度
2 市町村が実施するがん検診の受託状況について	P 101～P 102	令和5（2023）年度 ～令和6（2024）年度
3 北海道対がん協会 ～7 がん征圧賛助会へのご入会案内	P 103～P 119	別途記載のとおり

I は じ め に

日頃より当協会の運営並びに事業推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。このたび、当協会の令和6年度（2024年）の事業内容、検（健）診実績等を取りまとめました「2024 事業年報」が完成いたしましたのでお届けします。

ご高覧いただき、当協会に対するご理解の一助になれば幸いです。

2024年の当協会3センター（札幌、旭川、釧路）での5がん（胃、大腸、肺、子宮、乳）を合わせたがん検診受診件数は406,847件でした。2023年は417,694件、2022年には428,369件と比較すると、それぞれ97.4%、95.0%に相当し、がん検診受診数は毎年約3%漸減しています。道内でのがん検診対象者が毎年2～3万人減少しており、人口減少と高齢化を反映した結果であり、がん検診受診率が向上しないかぎりこの傾向は今後も続くと考えられます。

2022年10月に閣議決定された医療DXの推進ですが、医療分野でのデジタル・トランスフォーメーションを通じて、①救急・医療・介護現場の切れ目ない情報共有、②医療機関・自治体サービスの効率化・負担軽減、③健康管理、疾病予防、適切な受診等のサポート、④公衆衛生、医学・産業の振興に資する二次利用を目指すものです。医療プラットフォームとしてPMH（Public Medical Hub）が構築されて、本年6月から予防接種、来年度から介護情報基盤、母子保健が開始され、検診に特化した自治体検診DXは2029年からの本格稼働を目指して、昨年より全国12自治体で推進モデル事業が開始されました。道内からはニセコ町が肺がん、胃がん、大腸がんモデル事業に参加しています。自治体検診事務のデジタル化によって検診情報のデータベースを構築して、他の公的基盤などに連結して政策研究への活用を計ります。そこに職域検診や人間ドックでおこなったがん検診の情報を加えると日本式の組織型検診が可能になると考えています。厚労省が主導の職域検診のアンケート調査では正確な受診情報の収集はできません。検診施設から自治体、職域、任意型のがん検診情報のすべてをPMHで集める方法が最良と考えています。その実現には法改正によるシステム構築が必要ですが、自治体検診DXの開始はこれまでできていなかった組織型検診を導入するよい機会です。

がん対策基本計画第4期の取り組むべき施策として、受診率向上に向けてがん検診受診率をより正確かつ精緻に個人単位で把握することができるよう、法的な位置付けも含めがん検診全体の制度設計を検討すると記載されていますが、4期の終了まであと3年と迫っています。

これからも北海道対がん協会は、がんや生活習慣病に関する正しい知識の普及啓発、検（健）診事業、がんに関する調査・研究事業を柱にして、心身ともに豊かな社会の実現に向けて邁進しますので、皆様方のご支援、ご指導をお願い申し上げます。

令和8年6月

公益財団法人 北海道対がん協会

会長 加 藤 元 嗣



基本理念

- がん及び生活習慣病等の予防、治療及び研究の事業を通じて疾病の予防と健康寿命の延伸に寄与し、地域社会の健全な発展に貢献します。
- 働く人々の健康を守り、労働衛生の向上に寄与します。

基本方針

- 普及啓発、検（健）診及び調査研究に取り組み、道民一人ひとりの疾病の予防と健康づくりを支援します。
- 最新の知識と常に高い技術の習得に努め、道民の皆様から信頼・安心・満足いただける検（健）診機関として、精度の高いサービスを提供します。
- 良質な労働衛生サービスを提供して、働く人々が健康で安心して働ける環境づくりを支援します。
- 健康づくりのプロとして仕事に誇りを持ち、活力にあふれる職場環境づくりを目指します。
- 関連する諸法令を遵守して業務を遂行し、社会的責任を果たします。
- 情報セキュリティ対策並びにリスクマネジメントの適切な実施により、お客様の個人情報の保護を行います。

Ⅱ 管理部門

1 普及啓発・受診勧奨

1-1 普及啓発事業の目的

公益財団法人北海道対がん協会では、協会の目的である、広く道民に対するがんや生活習慣病に関する正しい知識の普及とともに、がん検診事業の推進を図るため、がん予防道民大会をはじめとした各種普及啓発事業を実施しています。また、企業のCSR活動と連携し、がん早期発見のための検診の必要性・重要性を訴えています。

1-2 がん征圧運動

公益財団法人日本対がん協会が、「がん征圧月間」として9月に展開する全国がん征圧運動に参加するとともに、北海道が9～10月に展開する「北海道がん征圧・がん検診受診促進月間」と連携し、各種事業を実施しています。

(1) がん予防道民大会

本大会は、がんに関する正しい知識の普及を目的として、「北海道がん征圧・がん検診受診促進月間」の中心行事として、北海道、北海道健康づくり財団及び開催地市町村との共催により、数多くの協賛・後援のもと毎年開催しています。

第54回となる今大会は、10月25日（金）、伊達市だて歴史の杜カルチャーセンターでハイブリッド開催し、全道から約900名が参加しました。また、健康教育の一環として地元高校生・中学生の参加もあり、盛会裡に終了しました。

10月25日（金） 13：00～16：00 伊達市だて歴史の杜 カルチャーセンター ※ハイブリッド開催 約900名	【第54回がん予防道民大会】 大会の主な行事 ○がん予防功労者表彰 受賞団体 江差町・初山別村・ ボランティア団体タオル帽子支援・ひだまりの杜 ○優良がん対策推進企業表彰 受賞団体 第一三共(株)北海道医薬営業部・伊藤組土建(株) ○特別講演 「がんの予防について」～1次予防と2次予防～ 演者 公益財団法人北海道対がん協会 会長 加藤 元嗣 氏 ○健康講話 「乳がんになっても前を向いて」 演者 タレント・声優 矢方 美紀 氏
---	---



(2) がん征圧月間行事

開催日	開催場所	事業名	内 容	参加者数等
9／1(日)～ 30(月)	札幌市各区保健センター 札幌市内街頭ビジョン	「がん征圧月間運動」に係る懸垂幕の掲示及び電子広告の放映	札幌市各区保健センター及び札幌市内街頭ビジョンで、がん検診受診率向上を目的とした啓発用懸垂幕の掲示及び電子広告を放映した。	－
9／1(日)～ 30(月)	旭川駅前周辺	がん征圧月間PR街頭放送	旭川駅前周辺の放送広告でがん征圧月間のアピール文を読み上げ、街頭啓発を実施した。	－
9／1(日)～ 30(月)	旭川市内公共施設	がん征圧月間オリジナルポスター掲示	旭川市内の公共施設にて旭川センター独自のがん征圧月間ポスターを掲示し、受診勧奨を行った。	－
9／1(日)～ 30(月)	旭川がん検診センター 旭川市保健所 上川総合庁舎	懸垂幕掲示	がん征圧スローガンの懸垂幕を3施設で掲示した。	－
9／4(水)～ 5(木)	北海道庁本庁舎1階 特設展示場B	令和6年度がん予防パネル展	北海道庁と連携、第一生命保険㈱様にも協力いただき、がんに係るパネル展示や乳がん触診体験等を実施した。	184名
9／7(土)	JR北海道苗穂工場 (札幌市東区)	JR苗穂工場一般公開	血管年齢測定や血圧測定、パネル展示やリーフレット配布で協会をPRすると共に、北海道がん対策基金の募金活動を行った。	200名
9／19(木)	厚別区民センター (札幌市厚別区)	あつべつ健康・福祉フェスタ	各種疾患模型やリーフレットを展示し、がん検診や健康診断の啓発、受診勧奨を行った。	92名
9／21(土)	百合が原公園 (札幌市北区)	ぽっぴいフェスティバル	札幌市北区保健福祉部健康・子ども課の隣接ブースでパネル展示やリーフレット配布で協会をPRすると共に、北海道がん対策基金の募金活動を行った。	150名
9／21(土)	道北アークス大雪アリーナ (旭川市)	あさひかわ健康まつり	乳がん検診実施、がんに関するパネル展示、パンフレット・ノベルティ配布、がん検診予約受付、乳がんモデル触診体験を行った。	2,815名
9／22(日)	釧路がん検診センター	日曜がん検診	平日の受診が困難な方に向け、外来を開放しがん検診と健康診査を実施した。	198名
9／26(木)	南区区民センター (札幌市南区)	南区健活デー	各種疾患模型やリーフレットを展示し、がん検診や健康診断の啓発、受診勧奨を行った。	84名
9／28(土)	野幌公民館 (江別市)	江別健康フェスタ	各種疾患模型やリーフレットを展示し、がん検診や健康診断の啓発、受診勧奨を行った。	106名
9／28(土)	イオンモール旭川西店 (旭川市)	ASAHIKAWA健康フェスタ	がんに関するパネル展示、パンフレット・ノベルティ配布、がん検診予約受付、乳がんモデル触診体験を行った。	928名
10／30(水)	清田保健センター (札幌市清田区)	健康&介護予防フェア	各種疾患模型やリーフレットを展示し、がん検診や健康診断の啓発、受診勧奨を行った。	54名
10／30(水)	定山溪小学校 (札幌市南区)	定山溪いきいき健康フェア	各種疾患模型やリーフレットを展示し、がん検診や健康診断の啓発、受診勧奨を行った。	20名

(3) リレー・フォー・ライフ・ジャパンin室蘭

8月24日（土）12：00～20：45に開催された、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024in室蘭」に、チームTAIGANとして、当協会から職員7名が参加し、がん検診の啓発とタスキを繋ぎながら寄付を募りました。

会場は、カナスチールみたら室蘭隣接ひろばで、1日のみの開催となりました。

(4) 禁煙運動への参加

北海道たばこ対策連絡協議会、禁煙週間実行委員会の構成員として活動しています。

禁煙週間実行委員会の構成員として、道庁ロビーで6／4（水）～6／5（木）に開催された「No-Tobacco展」に従事しました。

1－3 研修会、健康教育の実施

企業、学校、関係団体等からの依頼に応じて、随時講師を派遣し、健康教育を実施しました。

開催日	研修会名	主 催	内 容	従 事 者			参加者数	開催地
				所 属	氏 名			
7／9、 7／22、 9／19、 11／18	令和6年度女性のためのがん検診セミナー	北海道市町村職員 共済組合	「女性の健康を考える～がん検診を中心に～」	札幌	企画課	久保 彩香	合計120名	札幌市
8／25	健康サポート薬局研修会A 健康サポートのための多職種 連携研修会	日本薬剤師会、 日本薬剤師研修セ ンター	「健康サポート薬局に期待する こと－検診機関の立場から－」	札幌	企画課 兼巡回検診課	浅川 聡子	85名	札幌市 WEB
12／6	旭川市シニア大学講座	旭川市シニア大学	『がん検診のススメ～5つのが ん検診と健康習慣について～』	旭川	総務・施設課	小林あつみ	30名	旭川市
12／12	令和6年度（2024年度）がん 教育外部講師活用協力校にお ける講話（北海道千歳高等支 援学校）	北海道教育委員会	がん予防のためにできること	札幌	企画課	久保 彩香	14名	千歳市

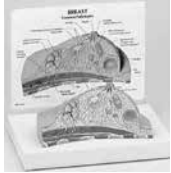
1-4 普及啓発資料の作成・配布、及び教育機材の貸し出し

(1) 普及啓発資料の作成・購入

	資 料 名	部 数
①	2023事業年報	520冊
②	機関誌「しらかば」93号、94号	計3,550部
③	がん検診（日本対がん協会リーフレット）	1,750枚
④	女性のがん～乳がんと子宮頸がん～（日本対がん協会リーフレット）	2,100枚
⑤	女性のがんと健康（日本対がん協会リーフレット）	1,000枚

(2) 教育機材の貸し出し

乳がんのしこりを体験できる「乳がん触知モデル（精密型）」のほか、乳房疾患模型、肺がん模型、喫煙タール模型、腸疾患模型の各種疾患模型や、がん予防普及パネルなどの教育機材を無償で貸出しています（担当：経営管理部企画課）。

品 名	模 型 説 明	
乳がん触知モデル （精密型）	人体に近似した素材ですので、乳房自己診断技術の習得・実践に理想的なものになっています。片方の乳房には、一般的に乳がんの発生しやすい部分にいくつかのしこりを設けています。もう片方の乳房は比較しやすいよう正常なものにしてあります。 サイズ：37×24×17cm	
乳房疾患模型	断面にカットされた模型により、一般的な乳房疾患（腺癌、のう胞、線維線種）や、乳房の組織構造も学ぶことができます。 サイズ：16.5×11×7.5cm	
肺がん模型	健康な肺と、肺気腫・癌に侵された肺を比較しながら、色や形だけでなく、ポンプで空気を送り、膨らみ方の違いも比較することができます。 サイズ：55×43×30cm	 
喫煙タール模型	1日10本のたばこを吸う喫煙者の肺が、1年間の間に肺に取り込む発がん性物質、タール液がボトルに密封されています。 サイズ：9×9×13.5cm	
腸疾患模型	結腸と直腸の疾患（憩室、ポリープ、痔核、慢性炎症性疾患）と、がんは様々なステージや良性、悪性の変化を見ることができます。 サイズ：18.0×21.0×27cm	

1-5 北海道・市町村との連携

(1) がん及び生活習慣病対策推進会議

次年度のがん及び生活習慣病対策事業を円滑に推進するため、北海道と共催で、保健所・市町村・事業所関係者を対象に開催しています。

令和6年度はコロナ禍前の開催と同規模となる、札幌・帯広・釧路・旭川の4会場で開催し、67団体94名の参加がありました。

9月17日（火） 13：00～16：30 ホテルポールスター札幌 4階「ラベンダー」	【講演】 「大腸がん検診と便秘外来について」 （公財）北海道対がん協会 札幌がん検診センター 内科部長 津田 桃子
9月26日（木） 13：00～16：30 帯広市保健福祉センター	【講演】 「胃・大腸がん検診の現状と課題」 （公財）北海道対がん協会 旭川がん検診センター 副所長 野村 幸紀
9月27日（金） 13：00～16：30 釧路がん検診センター	
10月3日（木） 13：00～16：30 旭川市大雪クリスタルホール 「レセプション室」	【講演】 「がんの予防と治療について」 （公財）北海道対がん協会 旭川がん検診センター 所長 西村 英夫
【報告事項】※4会場共通 ○北海道からの報告 ・北海道におけるがんと生活習慣病の状況について ○北海道対がん協会からの報告 ・令和7年度の検（健）診料金の見直しについて ・令和7年度の検（健）診の実施計画について ・北海道対がん協会の取組について	

(2) 健康に関するイベントへの出席

自治体等が実施する健康に関するイベントへ参加し、がんに関する普及啓発を実施しました。

開催日	イベント名	開催地	参加人数	内 容
7／5（土）	つなぐ・つながる！2024	旭川市	630名	女性のがん（子宮・乳がん）のパネル展示、パンフレット設置

(3) 北海道がん対策基金

「がんに負けない社会」の実現を目的として、平成27年2月9日に北海道が中心となり、道内企業をはじめ各種団体や道民の皆様などからの募金や寄付を財源として設立した「北海道がん対策基金」において事務局を担い、基金の運営・管理を行っています。

令和7年2月に設立から10周年を迎えることを契機に、改めて道民の皆様並びに道内企業に北海道がん対策基金について一層の普及啓発を図るとともに、「がんに負けない社会」の実現に向けた取組を進めることを目的に、12月17日（火）に設立10周年記念フォーラムを開催しました。当日は、一般の道民の方を中心に、497名の参加を得て、盛会裡に終了しました。

基金に関する詳細はp115～p118を参照してください。

12月17日（火） 13：00～16：30 かでるアスピックホール 参加人数：497名 	【設立10周年記念フォーラム】 ①北海道からの報告 北海道におけるがん対策について ②記念講演 「大人も子どももがんを知る」 東京大学大学院医学系研究科 総合放射線腫瘍学講座 特任教授 中川 恵一 氏 ③パネルディスカッション 「がんに負けない社会の実現を目指して」 ○コーディネーター ・医療キャスター／ジャーナリスト 松本 裕子 氏 ○座長 ・公益財団法人北海道対がん協会 副会長 加藤 秀則 氏 ○パネリスト ・北海道保健福祉部健康安全局長 竹内 正人 氏 ・北海道テレビ放送㈱ 東京支社編成業務部長 阿久津友紀 氏 ・北海道がん患者連絡会 副代表世話人 柴田 直美 氏 ・第一生命保険㈱ 生涯設計教育部 フェロー 真鍋 徹 氏 ・公益財団法人北海道対がん協会 会長 加藤 元嗣 氏 ④ブース展示 11の関係団体・企業によるがんに関する展示
---	---



(4) がん検診デジタルクーポンプレゼント事業

対象年齢である北海道民に対して、継続してがん検診受診のきっかけを提供することを目的とし、合計35名（胃がん・肺がん・大腸がん検診は各5名、乳がんと子宮頸がん検診は各10名）に先着順でがん検診デジタルクーポンを発行しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で検診受診者数が減少したことから、本事業のような取組を通じ、継続受診が重要であることを、道民の皆様に周知してまいります。

1-6 企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体との連携

(1) 企業との連携

ピンクリボン活動などを通じて、企業のCSR活動と連携し、一般市民向けの普及啓発イベントの実施や、企業職員向けに健康教育を実施する等して、がんに対する意識の向上を図っています。

令和6年度の活動概要は以下のとおりです。

【北海道コカ・コーラボトリング株式会社】

平成22(2010)年5月に北海道コカ・コーラボトリング(株)と締結した「ピンクリボン活動協定」に基づき、道内でピンクリボン活動支援自動販売機の設置を推進し、これを原資に、乳がんから女性を守るための啓発活動「リボンの願い事業」を行っています。

①コカ・コーラ工場見学×無料乳がん検診バスツアー

日時：令和6年11月26日（火）9：00～15：00

満40歳以上で、乳がん検診を受診したことがない、もしくは、前回受診から3年以上受診していない道民に対して、乳がん検診の重要性を伝え、継続して受診するきっかけを提供することを目的として実施しました（コロナ禍のため令和2～4年度は中止）。

内容は、コカ・コーラの工場見学、乳がんに関するミニ講話、乳がん検診をセットにしており、26名の参加がありました。参加者のアンケートでは、「改めて乳がん検診を受けてみようと思うきっかけになった。」「他の参加者と一緒にだったので緊張せずに受けられた。」「工場見学もできて楽しみながら学べた。」等の回答がありました。

②啓発資材の購入・作成

寄付金で作成した、付箋とバッジ、クリアファイルを活用し、道民の皆様や関係者の皆様に乳がん検診の重要性を呼びかけています。



③寄付金贈呈式

日時：令和7年3月12日（水）16：00～16：30

場所：大通ビッセ1階エントランススペース

内容：北海道コカ・コーラボトリング株式会社から北海道対がん協会へ寄付金の贈呈

北海道対がん協会からピンクリボン活動支援自動販売機設置先様へ感謝状の贈呈

2024年度は、1,982,505円の寄付をいただき、事業開始からの累計金額は、26,611,774円となりました。

【その他のピンクリボン自動販売機設置協力企業】

- | | |
|---------------------|------------|
| ・サントリービバレッジサービス株式会社 | ・株式会社伊藤園 |
| ・株式会社エスシー・アベックス | ・株式会社アベックス |

(2) 地区組織との連携

健康推進活動を行っている組織団体と連携し、講習会や各種イベントでの啓発を行っています。

【第56回北海道家族の健康をまもる講習会】

北海道健康をまもる地域団体連合会、北海道食生活改善推進員協議会、公益財団法人北海道結核予防会との共催で、北海道の後援のもと、令和6年7月5日（金）札幌エルプラザ3階ホールにおいて、全道各地から220名の参加者に対して、感染症 新型コロナについてわかりやすく話されました。

日時：令和6年7月5日（金）10：00～12：30

場所：札幌エルプラザ3階 ホール

講演：「新型コロナ感染症 これまでとこれから－感染症と私たちの身近な暮らしについて－」

講師：公益財団法人 結核予防会 理事長 尾身 茂 氏

1-7 賛助会実績

がん征圧運動を広げるため、賛助会制度（個人会員（年1口1,000円）、法人会員（年1口10,000円））を設けております。会員の皆様から頂いた賛助会費は、道民の皆様へのがんに関する正しい知識の普及用教材としてのパンフレット・リーフレット等の作成・配布や、がん検診、がんの研究等に活用させていただきました（賛助会に関する詳細は119ページを参照してください）。

令和6年度の会員数は、個人213人、法人91団体でした。

R 6	札幌	旭川	釧路	計
個人	149	49	15	213
法人	47	22	22	91

1-8 受診勧奨

(1) 未受診者への受診勧奨

検診対象年齢でありながら一度も受診していない方への働きかけや、1年未受診者・2年未受診者への働きかけを積極的に勧めるため、チラシ約130万枚、ハガキ約1万8千枚作製し、市町村に提供しました。

(2) 日曜検診の実施

平日に受診できない方などを対象に、3センターでがん検診と各種検診（健診）を15日間実施し、延べ2,336人が受診しました。

2 がん相談事業実績

がん電話相談は、昭和59年11月に開設し、保健師がこれまで延べ9,838件の電話相談に対応しています。

平成18年にがん対策基本法が制定され、がん診療拠点病院等にごがん相談支援センターが設置されたこともあり、協会への相談件数は減少傾向にあります。近年はメールによる問い合わせもあり、随時対応しています。

令和6（2024）年度の相談内容は以下のとおりです。

①相談者数 ： 17件

②相談者の住所 ： （単位：件）

札幌市内	6
札幌市外	2
不明	9

③相談者の属性 ： （単位：件）

本人	9
家族	8

④相談者の年齢・性別 ： （単位：件）

年代	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代以上	不明	総計
男性	—	—	—	—	—	1	1	—	2
女性	—	—	—	1	3	—	—	11	15
総計	—	—	—	1	3	1	1	11	17

⑤相談内容

（がん部位・がん疑・自覚症状ありの部位）

肺…5件 乳…2件 大腸…2件

膵臓・胆管がん・肝臓・食道・子宮・
軟部肉腫 …各1件

部位不明…2件

※不明2件の相談内容は、がん再発の心理
的ケア、家族にごがん検診を受けさせたい、
という相談内容だった。

⑥相談内容（重複あり） ： （単位：件）

内 容	件数
病気・治療内容に関すること	14
がん疑いで精査中の不安	4
医療への不満・不安に関すること	3
自覚症状あり、受診勧奨	2
心理的課題に関すること	1
専門病院に関すること	1
がん検診に関すること	1

（コメント）

相談件数は、令和5年度の30件から減少している。相談者の性別では、令和5年度は男性から14件あったが、令和6年度は2件であった。

部位別では、がん罹患数が多い肺の相談が多かった。

3 精度管理体制

3-1 精度管理体制

国が推奨する「がん検診事業評価のためのチェックリスト」にそって精度の高いがん検診を実施するため、業務仕様書を作成し、遵守しています。

3-2 専門職の研鑽

(1) 資格保有状況（常勤職員）

■医師

資 格 名 称	人 数
日本消化器がん検診学会指導医	1
日本消化器がん検診学会総合認定医	3
日本消化器内視鏡学会指導医	4
日本消化器内視鏡学会専門医	5
日本消化器内視鏡学会 上部消化管内視鏡スクリーニング認定医	3
日本消化器内視鏡学会 大腸内視鏡スクリーニング認定医	3
日本消化器病学会指導医	2
日本消化器病学会専門医	4
日本ヘリコバクター学会 H.Pylori感染症認定医	3
日本内科学会指導医	2
日本内科学会総合内科専門医	4
日本内科学会認定医	4
日本外科学会認定医	1
日本大腸肛門病学会指導医	1
日本大腸肛門病学会専門医	1
日本消化管学会指導医	3
日本消化管学会専門医	3
日本カプセル内視鏡学会指導医	2
日本カプセル内視鏡学会専門医	2
日本人間ドック学会健診指導医	1
日本人間ドック学会認定医	1

NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ読影認定医	2
NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構 乳がん検診超音波検査実施・判定医	1
日本乳腺甲状腺超音波医学会 乳房超音波講習会認定医	1
日本産科婦人科学会専門医	3
日本臨床細胞学会細胞診専門医	3
国際細胞学会認定細胞診断医	1
日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医	2
日本ロボット外科学会専門医（婦人科）	1
日本癌治療認定医機構癌治療認定医	1
日本医師会認定産業医	3

■放射線技師、臨床検査技師、保健師、看護師

資 格 名 称	人 数
日本消化器がん検診学会 胃がん検診専門技師	27
日本消化器がん検診学会 胃X線検診読影補助認定	9
日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡技師	4
日本乳がん検診精度管理中央機構 検診マンモグラフィ撮影認定 診療放射線技師	27
日本乳がん検診精度管理中央機構 乳房超音波講習会履修者	15
日本超音波医学会 超音波検査士（消化器）	2
日本超音波医学会 超音波検査士（体表臓器）	2
日本超音波医学会 超音波検査士（健診）	1
肺がんCT検診認定機構 肺がんCT検診認定技師	6
日本臨床細胞学会 細胞検査士	14
日本臨床細胞学会 国際細胞検査士	9
健康・体力づくり事業財団 健康運動指導士	2
日本人間ドック・予防医療学会 人間ドック健診情報管理指導士	8
日本医療情報学会 医療情報技師	2
日本医用画像情報専門技師共同認定 育成機構 医用画像情報専門技師	2

日本臨床衛生検査技士会 認定心電検査技師	1
日本不整脈心電学会 JHRS認定心電図専門士	1

(2) 学会・研修会活動

■学会所属状況

【当協会職員が役員等に就任している学会】

(医師)

- ・日本消化器内視鏡学会（監事、学術評議員）
- ・日本消化器内視鏡学会北海道支部（評議員）
- ・日本消化器病学会（執行評議員）
- ・日本消化器病学会北海道支部（評議員）
- ・日本神経消化器病学会（理事）
- ・日本カプセル内視鏡学会（監事）
- ・日本大腸肛門病学会（評議員）
- ・日本大腸検査学会（評議員）

(診療放射線技師、臨床検査技師)

- ・日本消化器がん検診学会北海道支部放射線研修委員会（委員長、事務局）
- ・日本放射線技術学会北海道支部（専門委員）
- ・北海道放射線技師会（理事）
- ・札幌放射線技師会（理事）
- ・北海道臨床細胞学会（理事、事務局）

【日々の検査精度の維持・向上や資格更新を目的に加入している学会】

(医師)

- ・日本消化器がん検診学会
- ・日本消化器がん検診学会北海道支部
- ・日本消化管学会

(診療放射線技師、臨床検査技師、保健師・看護師)

- ・日本放射線技術学会
- ・日本乳癌検診学会
- ・日本CT検診学会
- ・日本医療情報学会
- ・日本婦人科がん検診学会
- ・日本臨床細胞学会
- ・北海道細胞検査士会
- ・日本臨床衛生検査技師会
- ・日本超音波医学会
- ・日本超音波検査学会

- ・日本人間ドック学会
- ・北海道公衆衛生学会

■論文発表等

掲 載 誌	内 容	当協会執筆者
Helicobacter Research 28(1) : 55-59, 2024	胃内液を用いたPCR検査による新たなHelicobacter pylori診療	加藤 元嗣 津田 桃子
はるま先生の見るから診るへの内視鏡診断学 p103-7, 2024 春間賢編集, 文光堂, 東京	P-CAB関連胃症	加藤 元嗣 津田 桃子
機能的消化管疾患の診断と治療 神経消化器病学への招待 p103-106, 2024 金子 宏, 千葉俊美, 福土 審, 前田耕太郎, 三輪洋人編集, 朝倉書店, 新潟	B. 飲水試験 2-2-1 内圧測定・知覚試験	加藤 元嗣 津田 桃子
H. pylori感染の診断と治療のガイドライン2024改訂版 p27-34, 2024 日本ヘリコバクター学会ガイドライン作成委員会 編集, 先端医学社, 東京	Q4 : H. pylori感染と胃がんの関連は? 胃がん予防の 観点からの除菌の適応はどうか?	加藤 元嗣
J Gastroenterol Hepatol. 2024 Jun;39(6) : 1065-1072.	Surveillance esophagogastroduodenoscopy using linked color imaging and narrow-band imaging: A multicenter randomized controlled trial.	加藤 元嗣 津田 桃子 松本 美桜
Clin Endosc. 2024 Jul;57(4) : 417-423	Potassium-competitive acid blocker-associated gastric mucosal lesions.	加藤 元嗣
J Anus Rectum Colon. 2024 Apr 25;8(2) : 126-131	Diagnostic Ability of Ultrasonography Compared with Computed Tomography for Assessing Rectal Feces.	加藤 元嗣 津田 桃子 松本 美桜
Diagnostics(Basel). 2024 Jul 12;14(14) : 1510.	Expert Consensus Document: An Algorithm for the Care and Treatment of Patients with Constipation Based on Ultrasonographic Findings in the Rectum.	加藤 元嗣 津田 桃子 松本 美桜
Digestion. 2024 Oct 15 : 1-13.	Urgent Contrast-Enhanced Computed Tomography before Early Colonoscopy in the Management of Colonic Diverticular Bleeding: A Multicenter Randomized Controlled Trial.	加藤 元嗣
Dig Dis Sci. 2025 Feb;70(2) : 794-801	Linked Color Imaging with Light-Emitting Diode Light Enhances the Visibility of Gastric Neoplasm: A Prospective, Multicenter, Comparative Trial.	加藤 元嗣 津田 桃子
消化器内視鏡ハンドブック P308-117, 2024 日本消化器内視鏡学会監修, 卒後教育委員会責任編集, 医学 図書出版, 東京	胃炎の京都分類 Ⅲ. 胃・十二指腸	加藤 元嗣

学会発表（医師）

日 程	学 会 名	演 題	発 表 者		開催地	
			所 属	氏 名		
5／9 ～11	第110回日本消化器病学会総会	パネルディスカッション「抗血栓薬内服者に対する消化管内視鏡治療のマネージメント」	会長		徳島県 徳島市	
		基調講演 「消化管内視鏡治療における抗血栓薬休薬の問題点」	会長			
		慢性便秘症に対するROME IV問診票・腹部超音波検査・治療経過の検討	札幌	内科部長		津田 桃子
		ポスター「維持透析患者における胃粘膜の変化」	札幌	主任医長		松本 美桜
6／7 ～9	第63回日本消化器がん検診学会総会	ランチョンセミナー「内視鏡診療の新たな可能性-AI併用の内視鏡検診」	会長		愛知県 名古屋市	
6／21 ～22	第30回日本ヘリコバクター学会	胃内視鏡廃液を用いたHelicobacter pylori核酸増幅法（SmartGene）の成績	札幌	内科部長	津田 桃子	岡山県 倉敷市
		Clinical evaluation of POCT kit based on Qprobe in diagnosing H. pylori molecular in stool samples				
7／6	第172回日本消化器内視鏡学会東北支部例会	ランチョンセミナー「AI内視鏡時代を見据えたLCI診断」	会長		加藤 元嗣	宮城県 仙台市
7／22	RE Solutions Symposium -Expert Insights Session	酸分泌抑制薬の有効性を考える	会長		加藤 元嗣	WEB
8／7	消化器内科×循環器内科Joint Seminar in 苫小牧	薬剤性消化管粘膜傷害予防とGERD治療におけるボノプラザンの位置づけ	会長		加藤 元嗣	北海道 苫小牧市
8／28	がん検診研究助成事業シンポジウム	胃がん内視鏡検診でのAI併用はダブルチェックの代替えになるのかの検証	会長		加藤 元嗣	WEB
8／31 ～ 9／1	第135回日本消化器病学会北海道支部例会 第129回日本消化器内視鏡学会北海道支部例会	シンポジウム 「大腸ポリープ切除における直接経口抗凝固薬（DOACs）の新たな休薬方法の可能性ー多施設無作為化比較試験ー（MADOWAZU trial）」	札幌	主任医長	松本 美桜	北海道 札幌市
		自己免疫性胃炎における内視鏡的病期変化の検討				
9／26 ～27	第26回日本神経消化器病学会	慢性便秘患者の便秘エコーによる部位別大腸径・便性状の比較	札幌	内科部長	津田 桃子	東京都 千代田区
10／12	帯広市民公開講座 胃がん検診のススメ	がんで死ぬのはもったいない 胃がんは予防できる	会長		加藤 元嗣	北海道 帯広市
10／19	第4回慢性便秘エコー研究会	コンセンサスメETING ～エコー所見分類にもとづく治療戦略とケアのアップデート～	札幌	内科部長	津田 桃子	東京都 港区
10／22	函館短期大学出前講演会	ピロリ菌と胃がん予防	会長		加藤 元嗣	北海道 函館市
10／28	函館市胃がん内視鏡検診研修会	AIと内視鏡検診	会長		加藤 元嗣	北海道 函館市

10/30	新たな（に）胃病変を考える会	前庭幽門部の樹枝状血管がH. pylori未感染の内視鏡的な指標になるか	会長		加藤 元嗣	兵庫県神戸市
10/31 ～ 11/3	JDDW2024	サテライトシンポジウム「What's NEXT ～8000システムは新たなステージへ」	会長		加藤 元嗣	兵庫県神戸市
		胃内視鏡検診における地域実地医療としての効率的な一次予防法	札幌	内科部長	津田 桃子	
12/21	GI Expert Symposium	有効性の考え方-費用対効果の観点を含めて	会長		加藤 元嗣	東京都
1/27	渋谷区医師会学術講演会	ROME IV分類から軽症逆流性食道炎を考える	会長		加藤 元嗣	東京都
2/8	日本消化器病学会東北支部第218回例会	教育セミナー1「胃内液PCRによるH. pylori とCAM耐性の迅速診断法の有用性」	会長		加藤 元嗣	宮城県仙台市
3/1	第136回日本消化器病学会北海道支部例会 第130回日本消化器内視鏡学会北海道支部例会	ランチョンセミナー「AI内視鏡時代を見据えたLCI診断～新型内視鏡システムへの期待を含めて」	会長		加藤 元嗣	北海道札幌市
		ランチョンセミナー「がん検診における内視鏡AI活用」	札幌	主任医長	松本 美桜	
3/1	第136回日本消化器病学会北海道支部例会	特別講演「胃癌絶滅のためにすべきこと」	会長		加藤 元嗣	北海道札幌市
3/7	旭川実地医家エキスパート研究会	内視鏡検診と胃食道逆流症	会長		加藤 元嗣	北海道旭川市

■学会発表（診療放射線技師、臨床検査技師）

日 程	学 会 名	演 題	発 表 者			開催地
			所 属	氏 名		
4／21	日本放射線技術学会北海道支部学術大会 第80回春季大会	超音波による乳がん検診の手引き ～精度管理マニュアル～ 改訂点について	札幌	放射線科	久野 愛子	北海道 札幌市
10／19 ～20	第33回日本婦人科がん検診学会	当協会における子宮頸がんけんしんへのHPV検査導入の軌跡	札幌	検査科	和田 恒之	青森県 弘前市
11／ 6	北海道放射線技師会主催 第8回ふらっと会研修会	再撮影を減らしたい！ ～その再撮影必要ですか？～ マンモグラフィ領域	札幌	放射線科	瀬野尾勤子	WEB
12／ 1	第44回北海道臨床細胞学会総会並びに学術集会	シンポジウム 「子宮がん検診へのHPV検査導入の経験と課題」	札幌	検査科	和田 恒之	北海道 札幌市
3／ 8	第50回放射線研修委員会及び第20回胃がん検診専門技師研修会 合同開催	セミナー 私が教える背景粘膜診断	釧路	放射線科	横堀 峰義	北海道 札幌市
3／ 8	第50回放射線研修委員会及び第21回胃がん検診専門技師研修会 合同開催	当施設の胃がん検診におけるピロリ菌問診情報と胃がん診断結果に関する調査	札幌	放射線科	山田 裕加	北海道 札幌市

学会等参加

日 時	研 修 会 名	主 催	参 加 者			開催地
			所 属		氏 名	
4／12 ～14	第121回日本内科学会総会・講演会	日本内科学会	会長		加藤 元嗣	東京都 (WEB)
			札幌	内科部長	津田 桃子	
			札幌	主任医長	松本 美桜	
			札幌	主任医長	河原崎 暢	
			札幌	医師	江原 亮子	
			旭川	副所長	野村 好紀	
4／19 ～21	第76回日本産科婦人科学会学術講演会	日本産科婦人科学会	副会長 兼 札幌センター所長		加藤 秀則	神奈川県 横浜市
			細胞診	所長	岡元 一平	
5／9 ～11	第110回日本消化器病学会総会	日本消化器病学会	札幌	主任医長	河原崎 暢	徳島県 徳島市
5／26	第33回日本大腸肛門病学会教育セミナー	日本大腸肛門病学会	札幌	主任医長	松本 美桜	WEB
5／30 ～ 6／1	第107回日本消化器内視鏡学会総会	日本消化器内視鏡学会	会長		加藤 元嗣	東京都
			札幌	内科部長	津田 桃子	
			札幌	主任医長	松本 美桜	
			札幌	主任医長	河原崎 暢	
			札幌	医師	江原 亮子	
6／2	日本超音波医学会第97回学術集会	日本超音波医学会	札幌	内科部長	津田 桃子	神奈川県 横浜市
6／7 ～9	第63回日本消化器がん検診学会	日本消化器がん検診学会	センター長 兼 釧路センター所長		松浦 邦彦	愛知県 名古屋市
			札幌	内科部長	津田 桃子	
			札幌	医師	江原 亮子	
6／7 ～9	第65回日本臨床細胞学会総会春期大会	日本臨床細胞学会	副会長 兼 札幌センター所長		加藤 秀則	大阪府 大阪市
			細胞診	所長	岡元 一平	
6／21 ～23	第30回日本ヘリコバクター学会学術集会	日本ヘリコバクター学会	会長		加藤 元嗣	岡山県 倉敷市
			札幌	医師	江原 亮子	
7／20	第53回日本消化器がん検診学会北海道地方会	日本消化器がん検診学会北海道支部	旭川	副所長	野村 好紀	北海道 札幌市
8／31	第33回消化器疾患病態治療研究会	消化器疾患病態治療研究会	会長		加藤 元嗣	宮崎県 宮崎市
			札幌	内科部長	津田 桃子	
8／31 ～ 9／1	第135回日本消化器病学会北海道支部例会 第129回日本消化器内視鏡学会北海道支部例会	日本消化器病学会北海道支部 日本消化器内視鏡学会北海道支部	札幌	内科部長	津田 桃子	北海道 札幌市
9／6 ～7	第65回日本人間ドック・予防医療学会学術大会	日本人間ドック・予防医療学会	会長		加藤 元嗣	神奈川県 横浜市
			札幌	医師	江原 亮子	

9／26 ～27	第26回日本神経消化器病学会	日本神経消化器病学会	会長		加藤 元嗣	東京都
9／28 ～29	第32回日本がん検診・診断学会総会	日本がん検診・診断学会	会長		加藤 元嗣	東京都
10／12	第1回日本消化管学会北海道・東北支部教育講演会	日本消化管学会	札幌	内科部長	津田 桃子	WEB
10／19	第4回慢性便秘エコー研究会	慢性便秘エコー研究会	会長		加藤 元嗣	東京都
10／19 ～20	第33回日本婦人科がん検診学会総会・学術集会	日本婦人科がん検診学会	副会長 兼 札幌センター所長		加藤 秀則	青森県 弘前市
			細胞診	所長	岡元 一平	
10／31 ～ 11／3	JDDW2024	日本消化器関連学会機構	札幌	主任医長	松本 美桜	兵庫県 神戸市
			札幌	主任医長	河原崎 暢	
			札幌	医師	江原 亮子	
			旭川	所長	西村 英夫	
			旭川	副所長	野村 好紀	
11／16 ～17	第65回日本臨床細胞学会秋期大会	日本臨床細胞学会	細胞診	所長	岡元 一平	千葉県 千葉市
			旭川	医師	笠茂 光範	
11／29	道北産婦人科医会学術講演会	道北産婦人科医会	旭川	医師	笠茂 光範	WEB
11／29 ～30	第79回日本大腸肛門病学会学術集会	日本大腸肛門病学会	会長		加藤 元嗣	神奈川県 横浜市
			札幌	主任医長	松本 美桜	
11／29 ～30	第34回日本乳癌検診学会学術総会	日本乳癌検診学会	旭川	医師	菅野 普子	WEB
12／1	第44回北海道臨床細胞診学会	北海道臨床細胞診学会	旭川	医師	笠茂 光範	北海道 札幌市
2／21 ～22	GI Week 2025	日本消化器関連学会機構	会長		加藤 元嗣	東京都

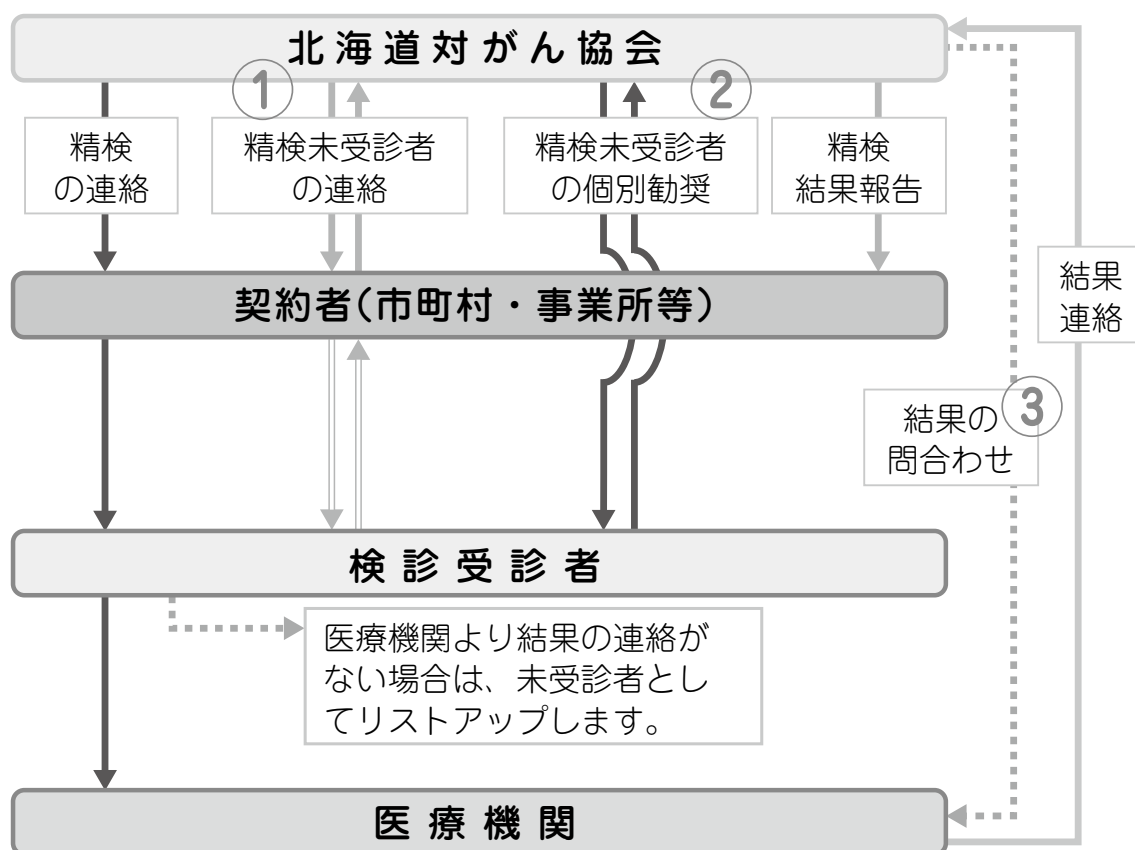
3-3 施設認定

- 日本消化器がん検診学会認定指導施設
- 日本臨床細胞学会教育研修施設認定
- 日本臨床細胞学会施設認定
- 日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ検診・画像認定施設
- 全国労働衛生団体連合会 労働衛生サービス機能評価認定施設
- 全国労働衛生団体連合会 総合精度管理
- 全国労働衛生団体連合会 総合精度管理 臨床検査分野（A評価）
- 全国労働衛生団体連合会 総合精度管理 胸部X線検査分野（A評価）
- 全国労働衛生団体連合会 総合精度管理 胃X線検査分野（A評価）
- 全国労働衛生団体連合会 総合精度管理 腹部超音波検査分野（B評価）
- 医療情報システム開発センター プライバシーマーク認定施設



4 事後管理の流れ

受診者への結果通知で終了とせず、精検未受診者に対して、検診に関する専門的な知識をもった保健師が契約者と連携し、受診後数回にわたってフォローアップをすることで、精検受診につなげ、疾病の早期発見に努めています。



①未受診者調査	検診受診後2カ月が経過しても医療機関より結果の連絡がない場合は、精検未受診者としてリストアップし、契約者へ送付して、契約者から未受診者へ受診勧奨を行っていただきます。
②アンケートの送付	①を実施後、一定期間過ぎても医療機関より結果の連絡がない場合は、対がん協会から未受診者へ直接アンケートを送付し、受診を勧奨します。
③結果の問い合わせ	未受診者から医療機関を受診した情報を得た場合は、医療機関へ直接結果の問い合わせを行います。

5 安全管理体制

医療安全管理指針を定め、日頃から事故防止に努めています。

事故が発生（または未遂）した場合は、原因を分析し、解決方法を記載した報告書を速やかに作成することとしており、報告書は全職員がシステム上で閲覧できるようになっています。また、医療安全推進会議（各科担当者）と医療安全管理委員会（課長級）をそれぞれ月1回開催し、報告書をもとに類似事例の発生予防につながる改善策を検討して、全職員へ還元しています。

6 検診車の保有状況

(単位：千円)

種 別	検診車名称	初年度登録 (購入年月)	購入金額	財 源 内 訳			備 考
				北海道	団 体	自 己 資 金	
胃 肺 検 診 車	1 しらかば 108号	H10. 3	59,220	33,811		25,409	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	2 〃 164号	R 2. 9	15,353	15,000		353	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	3 〃 165号	R 2. 9	25,796	25,000		796	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	4 〃 166号	R 2. 9	35,702	30,000		5,702	胃、肺併用車 13吋 I I X線TV車
	5 〃 167号	R 4. 3	39,400	39,000		400	胃、肺併用車 13吋 I I X線TV車
	6 〃 168号	R 4.11	44,660	35,000		9,660	胃、肺併用車 F P D X線TV車
	7 〃 169号	R 4.11	44,000	35,000		9,000	胃、肺併用車 F P D X線TV車
	8 〃 170号	R 5. 5	51,000	40,000		11,000	胃、肺併用車 F P D X線TV車
	9 〃 201号	H13.12	60,900	宝くじ協会 56,700		4,200	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	10 〃 203号	H21. 2	91,140		宝くじ協会 63,000	28,140	胃、肺併用車 12吋 I I X線TV車
	11 〃 204号	H27. 2	65,880		J K A 22,050	43,830	胃、肺併用車 13吋 I I X線TV車
	12 〃 205号	H29. 3	69,660		宝くじ協会 69,660		胃、肺併用車 13吋 I I X線TV車
	13 〃 206号	H29. 3	58,104			58,104	胃、肺併用車 13吋 I I X線TV車
	14 〃 207号	H30. 2	69,876		J K A 31,000	38,876	胃、肺併用車 F P D X線TV車
	15 〃 208号	H31. 2	69,066	69,066			胃、肺併用車 F P D X線TV車
	16 〃 209号	R 2. 6	73,700	67,000		6,700	胃、肺併用車 F P D X線TV車
	17 〃 210号	R 5.10	80,300		J K A 31,000	49,300	胃、肺併用車 F P D X線TV車
	18 〃 211号	R 8. 4	85,250		J K A 38,000	47,250	胃、肺併用車 F P D X線TV車
胸部車	1 しらかば 152号	H31. 4	21,178	20,000		1,178	F P D胸部車
子宮がん検診車	1 しらゆり 6号	R 1. 8	48,330			48,330	超音波診断装置搭載
	2 〃 8号	R 5. 5	32,000	30,000		2,000	超音波診断装置搭載
	3 〃 10号	R 7. 1	52,030	52,030			超音波診断装置搭載
乳房検診車	1 すずらん 6号	H29. 4	44,928			44,928	乳房X線装置(SMG対応)
	2 〃 7号	H30. 3	69,940	69,940			乳房X線装置(SMG対応) 超音波診断装置搭載
	3 〃 8号	R 8. 4	75,614	70,000		5,614	乳房X線装置(SMG対応) 超音波診断装置搭載
送 迎 用 バ ス	1 はまなす 1号	H22. 7	26,460			26,460	受診者送迎車
	2 〃 2号	R 5. 9	19,250			19,250	受診者送迎車
	3 〃 3号	H21. 4	6,031			6,031	受診者送迎車
	4 〃 5号	H27. 3	5,908			5,908	受診者送迎車
	5 リ エ ッ セ	R 6. 4	479			479	受診者送迎車
	6 コ ー ス タ ー	R 3. 3	2,846			2,846	受診者送迎車
	7 コ ー ス タ ー 2	R 7. 5	9,418			9,418	受診者送迎車

(令和8年3月現在)

7 施設整備に対する助成金の受け入れ状況

(単位：円)

年度	助 成 機 関	助 成 対 象				年 度 計
		検 診 車	センター建設	センター設備	基 本 財 産	
昭和34	昭和33年度継承資金補助	253,550,000	769,900,000	98,500,000	128,699	
	北海道補助	7,792,000	10,000,000	18,500,000	300,000	
	札幌市補助		45,000,000		100,000	
	旭川市補助	37,500,000				
	郵政省配分益金			10,080,000		
	日本自転車振興会	92,850,000	91,070,000	25,500,000		
	中央競馬社会福祉財団	17,000,000		15,000,000		
	日本ガソリン協会	3,000,000				
	日本小型自動車振興会	65,000,000	116,020,000	25,500,000		
	日本船舶振興会	38,750,000		4,600,000		
63	釧路市補助			95,000,000		2,023,755,030
	一丁村補助	3,980,000	20,617,041	22,569,884		
平成元			54,240,952	81,706,454		
	中央競馬社会福祉財団			4,750,000		4,750,000
2	日本宝くじ協会	55,620,000				77,250,000
	日本自転車振興会	21,630,000				
3	北海道補助	33,849,000				
	札幌市補助	27,246,000				
	中央競馬社会福祉財団			6,400,000		67,495,000
4	北海道補助	33,849,000	40,000,000			
	旭川市補助		4,700,000			
	秋山愛生館	15,000,000				93,549,000
5	北海道補助	54,000,000				
	日本自転車振興会			5,072,000		
	中央競馬社会福祉財団			7,000,000		66,072,000
6	北海道補助	108,000,000				108,000,000
7	北海道補助	54,000,000				
	日本自転車振興会			12,823,000		
	中央競馬社会福祉財団			7,400,000		74,223,000
8	北海道補助	54,000,000	97,190,000			
	一般寄付		18,128,723			
9	北海道補助	33,811,000	602,000,000	147,290,000		
	札幌市補助		287,744,000	73,645,000		
	日本自転車振興会	11,550,000				
	一般寄付		40,665,515			1,196,705,515
11	北海道補助	81,100,000				
	日本自転車振興会			13,335,000		
	中央競馬社会福祉財団			4,000,000		98,435,000
13	北海道補助	56,700,000				56,700,000
14	日本宝くじ協会	62,790,000				62,790,000
16	日本対がん協会			1,000,000		1,000,000
17	日本宝くじ協会	63,840,000				63,840,000
18	北海道補助			5,696,000		
	日本宝くじ協会	60,900,000				66,596,000
20	厚生労働省			95,550,000		
	日本宝くじ協会	63,000,000				158,550,000
21	日本対がん協会			2,000,000		2,000,000
23	J K A	11,550,000				11,550,000
26	J K A	22,050,000				22,050,000
28	日本宝くじ協会	69,660,000				69,660,000
29	J K A	31,000,000				
	北海道補助	69,940,000		9,900,000		
30	北海道補助	70,000,000		10,000,000		80,000,000
令和元	北海道補助			10,193,000		10,193,000
2	北海道補助	140,000,000		10,800,000		150,800,000
3	北海道補助	70,000,000		10,800,000		80,800,000
4	北海道補助	70,000,000		10,800,000		80,800,000
5	J K A	31,000,000				
	北海道補助	70,000,000		9,573,000		
6	J K A	37,125,000				
	北海道補助	70,000,000		10,800,000		
7	J K A	38,000,000				
	北海道補助	70,000,000		9,515,000		
累 計		2,280,632,000	2,197,276,231	875,298,338	528,699	5,353,735,268

(令和8年3月現在)

8 研究等事業

年 度	事 業 名	業 務 概 要
令和4年度～	液体生検による消化器がん検診分子マーカーの探索	旭川医科大学を共同研究者として、液体生検による新たな消化器疾患の検診法確立と分子生物学的マーカーの消化器疾患に有用であることを証明する。
令和5年度～	ヒト胃に感染するピロリ菌以外のヘリコバクター属菌の実態調査	杏林大学医学部を共同研究者として、ヒト胃に感染するピロリ菌以外のヘリコバクター属菌の感染率、関連疾患、内視鏡像の解明を行う。
令和6年度～	低線量肺がんCT検診の画像から乳房内の病変を検出するソフトウェアの開発	乳房の断面画像が取得可能である低線量肺がんCT検診の画像を用いて、乳房内の病変を検出するソフトウェアを開発する。
令和6年度～	除菌後患者における、ヘリコバクター核酸キットの臨床的有用性に関する臨床研究	国立病院機構函館医療センターを共同研究者として、除菌治療後どの程度の期間が経過すれば核酸増幅法により除菌治療の成否を正しく判定できるかを明らかにする。
令和6年度～	ピロリ菌以外のヘリコバクター属菌の除菌治療による病態消退効果の検証	東海大学を共同研究者として、ピロリ菌以外のヘリコバクター属菌の除菌治療による病態消退効果及び薬剤感受性の評価を行う。
令和6年度～	大腸内視鏡検査前処置AI判定アプリケーションの臨床使用評価他施設観察研究	大腸内視鏡検査を受けるために下剤を服用する被検者の腸管洗浄度をAIアプリで判定し、本アプリケーションの精度と臨床運用での問題点を検証する。
令和6年度～	慢性便秘症患者に対する直腸エコー診断後のエロビキシバット投与における有効性と安全性の検討	国立病院機構函館医療センターを共同研究者として、直腸エコー診断後のエロビキシバット投与における有効性と安全性を検討する。
令和6年度～	自己免疫性胃炎の内視鏡的萎縮分類と臨床病期に関する他機関後ろ向き観察研究	加古川中央市民病院を共同研究者としてAIGと診断された症例を集約し、その内視鏡的進行度とAIGに関連する検査所見、合併所見、内視鏡所見との関連を調査する。
令和6年度～	除菌治療未実施者を治療行動へ繋ぐアプローチの検討	ヘリコバクター・ピロリ拡散増幅法検査結果の郵送後の実態を調査した。

※令和6年度中に進行中（協力期間）であった事業について記載

Ⅲ 検（健）診部門

1 令和6年度 検（健）診受診者数

（単位：人）

部位別		センター別	合 計	札 幌	旭 川	釧 路
胃 が ん		巡 回 検 診	53,396	28,816	16,330	8,250
		施 設 検 診	16,229	8,935	4,735	2,559
		計	69,625	37,751	21,065	10,809
子 宮 が ん		巡 回 検 診	20,459	9,941	7,135	3,383
		施 設 検 診	31,157	17,341	10,536	3,280
		計	51,616	27,282	17,671	6,663
乳 が ん		巡 回 検 診	23,764	11,587	8,442	3,735
		施 設 検 診	36,283	20,360	12,408	3,515
		計	60,047	31,947	20,850	7,250
肺 が ん		巡 回 検 診	79,582	46,141	20,820	12,621
		施 設 検 診	23,735	13,209	7,535	2,991
		計	103,317	59,350	28,355	15,612
大 腸 が ん		巡 回 検 診	80,507	46,568	22,338	11,601
		施 設 検 診	41,735	24,031	11,601	6,103
		計	122,242	70,599	33,939	17,704
前 立 腺 が ん		巡 回 検 診	12,125	5,451	3,926	2,748
		施 設 検 診	5,179	2,974	1,432	773
		計	17,304	8,425	5,358	3,521
特定健康診査		巡 回 検 診	50,029	24,422	16,325	9,282
		施 設 検 診	13,394	7,631	4,452	1,311
		計	63,423	32,053	20,777	10,593
定期健康診断		巡 回 検 診	42,318	37,229	2,578	2,511
		施 設 検 診	12,500	7,275	2,693	2,532
		計	54,818	44,504	5,271	5,043
協 会 け ん ぽ (生活習慣病 予防健診)		巡 回 検 診	2,028	1,078	686	264
		施 設 検 診	11,700	6,623	2,960	2,117
		計	13,728	7,701	3,646	2,381
人 間 ド ッ ク		巡 回 検 診	175	－	175	－
		施 設 検 診	2,839	1,695	807	337
		計	3,014	1,695	982	337
骨 検 診		巡 回 検 診	1,942	763	1,000	179
		施 設 検 診	4,929	3,143	1,400	386
		計	6,871	3,906	2,400	565
超 音 波 検 査	婦 人 科	巡 回 検 診	17,347	7,490	6,922	2,935
		施 設 検 診	27,929	15,093	9,837	2,999
		計	45,276	22,583	16,759	5,934
	腹 部	巡 回 検 診	300	－	300	－
		施 設 検 診	3,780	2,783	635	362
		計	4,080	2,783	935	362
合 計		巡 回 検 診	383,972	219,486	106,977	57,509
		施 設 検 診	231,389	131,093	71,031	29,265
		合 計	615,361	350,579	178,008	86,774

※肺がん検診は肺がんCT検査を含む

※事後管理を受託していない団体の受診数を含める（以降のページの受診数とは一致しない）

2 がん検診の成績

胃がん検診

【最近の動向について（全国）】

令和6年（2024年）は、がん死亡数は384,111名と前年より減少したが^{※1}、胃がん死亡数は37,867名と前年よりわずかに増加した^{※1}。また、部位別死亡数順位は、胃がんが男性3位、女性5位であった^{※2}。

部位別の罹患数（2021年）は、男性4位、女性5位であった^{※2}。

（資料 ※1 厚生労働省「人口動態統計」 ※2 国立がん研究センターがん情報サービス「がん種別統計情報胃」）

《胃部エックス線検査》

令和6年度は、20台の検診車で140市町村¹⁾を延2,142日間²⁾巡回したほか、51事業所³⁾に延193日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、83名（令和8年2月7日現在）のがんを発見した。

1) 札幌71・旭川48・釧路21市町村 2) 札幌1,191・旭川560・釧路391日間 3) 札幌18・旭川21・釧路12事業所 4) 札幌83・旭川66・釧路44日間

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	52,840	25,232	17,844	9,764	11,496	4,561	4,519	2,416	41,344	20,671	13,325	7,348
事業所 ⁶⁾	6,781	2,885	2,979	917	737	525	84	128	6,044	2,360	2,895	789
個 人	311	277	19	15	308	274	19	15	3	3	0	0
合計	59,932	28,394	20,842	10,696	12,541	5,360	4,622	2,559	47,391	23,034	16,220	8,137

5) 実施主体が市町村のもの

6) 実施主体が事業所のもの

【検診の受診状況】

受診総数59,932名で、施設検診12,541名（21.0%）、巡回検診47,391名（79.0%）であった。総数は、前年より8,520名減少し（前年比－8.5%）、施設検診で1,339名の減少（前年比－11.1%）があり、巡回検診で7,181名の減少（前年比－7.03%）であった。実施主体別では、市町村主体で2,921名、事業所検診で5,518名、個人受診で81名の減少が見られた。

【精密検査の受診状況】

要精検者数は2,911名で、要精検率は4.9%であった。精検受診者数は2,480名、精検受診率は85.2%で、前年度より1.8ポイントの上昇がみられた（表1）。

男女別の要精検率は男性5.7%、女性4.1%で男性が高い。精検受診率は男性81.5%、女性89.8%であり、前年度と比較して男性は上昇したが、女性は減少した。（表4）。

【発見がんについて】

令和6年度の胃がん発見数は83名で、がん発見率は0.14%であった。男女別では、男性57名（0.20%）、女性26名（0.08%）であった。（表6）。

受診歴別では、1年前受診が最も多く（33名）、次いで初回（28名）、2年前受診（14名）の順に多い（表7）。

追跡調査による発見がんの内訳では、令和6年度の発見がん83名のうち、手術施行者は65名であった。手術結果の内訳は早期がん47名（72.3%）、進行がん16名（24.6%）であり、早期がんが全体の56.3%を占めている（表8）。

《胃内視鏡検査》

がん予防重点健教育及びがん検診実施のための指針の一部改正（H28.2.4）で、検診項目に、胃内視鏡検査が追加され、令和元年度より導入する自治体が増えた。また、事業所健診や個人受診者数も増加している（表1～3）。

	合計	(内 訳)		
		札幌	旭川	釧路
市町村 ¹⁾	3,707	3,575	113	19
事業所	4,733	2,693	1513	527
個 人	361	262	79	20
合 計	8,801	6,530	1,705	566

1) 札幌18 旭川15 釧路2（総合健診や人間ドックとしての契約）

【検診の受診状況】

受診総数は、8,801名となっており、前年より700名増加した（前年比17.0%）。実施主体別では、市町村主体で712名、個人で2名増加した。一方で、事業所健診では、14名の減少が見られた。

【精密検査の受診状況】

要精検者数は399名で要精検率は4.5%、精検受診率は100%であった（表2）。男女別の要精検率は男性5.4%、女性3.7%で男性が高い（表3）。

【発見がんについて】

令和6年度の胃内視鏡検査受診者の胃がん発見数は14名で、がん発見率は0.16%であった。男女別では、男性12名（0.28%）、女性2名（0.04%）であった。（表3）。

○まとめ○

胃部エックス線検査の受診者数は、新型コロナウイルス感染症のため大幅に減少した時期を経て、令和4年度まで回復傾向であったが、令和5年度以降は減少傾向にある。一方で、精検受診率は前年度より上昇している。胃内視鏡検査の受診者数は増加傾向にあり、年々胃内視鏡検査の需要が高くなっていることが考えられる。

胃内視鏡検査のがん発見率の水準は高く、導入する自治体や事業所が年々増加し、受診者数も増加している。今後、さらに胃内視鏡検査の重要性が高くなると予想されることから、受診者や市町村、事業所のニーズに対応できるよう体制を整備していく。

しかし、北海道の広域性や医師の地域偏在の状況から、すべての市町村・事業所で内視鏡検査へ移行するのは困難な状況と考えられる。そのため、安全面に最大限の配慮をしながら、質の高いエックス線検査を提供することで、胃がんの早期発見に寄与していく必要がある。

精検受診率は、胃内視鏡検査では100%の状況であるが、胃部エックス線検査では前年度と比較して男性では上昇し、女性では減少していた。現在、胃がんは男性のがん死亡数において第3位、女性のがん死亡数で第5位となっており、胃がんの早期発見が重要である。精検受診率の上昇のために自治体・事業所と連携して受診勧奨等の対策を考える必要がある。特に、事業所検診受診者は、要精検となっても仕事が忙しいなどの理由で精密検査が未受診となっている事も考えられる。今後は、自治体だけではなく、事業所との連携も強化する必要がある。また、新たな自治体検診や職場健診の開設で、積極的に検診の場を提供する事と対象者の方が受診行動を起こすための働きかけを両輪として実施することが不可欠である。

（保健師 勝藤 瞳）

胃部エックス線検査

表1 胃がん検診（X線検査）実施状況及び精検結果（累計）

昭和38年度～令和6年度

年度	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	精検 受診者数	精検 受診率 (%)	精 検 結 果 内 訳							
						胃がん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指 腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
S38～R元	8,341,186	874,710	10.5	771,357	88.2	12,418	65,835	56,845	98,101	12,906	217,618	35,996	271,638
R 2	68,246	2,618	3.8	2,231	85.2	90	180	49	200	15	1,047	493	157
R 3	70,255	2,830	4.0	2,382	84.2	83	201	51	190	9	1,162	522	164
R 4	74,315	3,152	4.2	2,713	86.1	96	264	42	226	18	1,618	251	203
R 5	68,452	3,031	4.4	2,529	83.4	83	261	48	181	4	1,548	215	189
R 6	59,932	2,911	4.9	2,480	85.2	83	226	49	150	4	1,603	195	170
合計	8,682,386	889,252	10.2	783,692	88.1	12,853	66,967	57,084	99,048	12,956	224,596	37,672	272,521

国の指標値（許容値） 11.0%以下 70.0%以上

※平成26年度よりシステム変更に伴い、これまで含まれていなかった事業所分・人間ドック分の受診者数を含めるように改変した。（胃がん・肺がん・大腸がん）

表2 胃がん検診（X線検査）実施状況及び発見がん数（累計）

昭和38年度～令和6年度

年度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反応 適中度 (%)
	総 数	検診 センター	検 診 車	総 数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
S38～R元	8,341,186	999,234	7,341,952	12,418	0.15	1,284	0.13	11,134	0.15	1.42
R 2	68,246	14,564	53,682	90	0.13	18	0.12	72	0.13	3.44
R 3	70,255	16,033	54,222	83	0.12	12	0.07	71	0.13	2.93
R 4	74,315	15,617	58,698	96	0.13	18	0.12	78	0.13	3.05
R 5	68,452	13,880	54,572	83	0.12	11	0.08	72	0.13	2.74
R 6	59,932	12,541	47,391	83	0.14	13	0.10	70	0.15	2.85
合計	8,682,386	1,071,869	7,610,517	12,853	0.15	1,356	0.13	11,497	0.15	1.45

国の指標値（許容値） 0.11%以上 1.0%以上

表3 胃がん検診（X線検査）実施状況及び発見がん数（令和6年度・管轄別）

管轄	受 診 者 数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	28,394	5,360	23,034	1,574	5.5	232	4.3	1,342	5.8	1,364	86.7	45	0.16	6	0.11	39	0.17	2.86
旭川	20,842	4,622	16,220	895	4.3	154	3.3	741	4.6	720	80.4	24	0.12	6	0.13	18	0.11	2.68
釧路	10,696	2,559	8,137	442	4.1	95	3.7	347	4.3	396	89.6	14	0.13	1	0.04	13	0.16	3.17
合計	59,932	12,541	47,391	2,911	4.9	481	3.8	2,430	5.1	2,480	85.2	83	0.14	13	0.10	70	0.15	2.85

国の指標値（許容値） 11.0%以下 70%以上 0.11%以上 1.0%以上

表4 胃がん検診（X線検査）性・年齢別実施状況及び精検結果（令和6年度）

年齢	性別	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳								
					胃がん	胃以外のがん	胃ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍癒痕	十二指腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
～39	男	1,100	12	10	0	0	3	0	0	0	4	2	1
	女	758	7	5	0	0	0	0	1	0	2	1	1
	計	1,858	19	15	0	0	3	0	1	0	6	3	2
40～44	男	1,562	24	14	0	0	3	0	1	0	7	1	2
	女	1,861	27	16	0	0	5	1	0	0	7	3	0
	計	3,423	51	30	0	0	8	1	1	0	14	4	2
45～49	男	1,792	32	20	0	0	5	0	0	0	9	2	4
	女	1,966	28	25	0	0	1	0	1	0	19	2	2
	計	3,758	60	45	0	0	6	0	1	0	28	4	6
50～54	男	2,543	66	39	0	0	3	0	6	0	19	4	7
	女	2,640	43	34	0	0	4	1	1	0	19	3	6
	計	5,183	109	73	0	0	7	1	7	0	38	7	13
55～59	男	2,119	73	49	1	0	4	2	3	0	24	9	6
	女	2,716	62	52	3	0	9	2	1	0	24	6	7
	計	4,835	135	101	4	0	13	4	4	0	48	15	13
60～64	男	2,601	122	90	2	0	11	1	10	0	53	10	3
	女	3,558	81	73	1	0	10	3	4	0	44	3	8
	計	6,159	203	163	3	0	21	4	14	0	97	13	11
65～69	男	4,065	231	172	2	0	18	3	25	1	95	18	10
	女	4,590	130	114	3	0	14	1	6	2	68	11	9
	計	8,655	361	286	5	0	32	4	31	3	163	29	19
70～74	男	5,576	471	398	12	2	23	11	28	0	269	32	21
	女	6,158	411	371	5	0	34	3	9	1	273	20	26
	計	11,734	882	769	17	2	57	14	37	1	542	52	47
75～79	男	4,355	391	350	30	1	20	3	27	0	229	23	17
	女	4,485	336	320	8	0	29	6	8	0	234	13	22
	計	8,840	727	670	38	1	49	9	35	0	463	36	39
80～	男	2,954	205	185	10	3	14	5	10	0	119	16	8
	女	2,533	159	143	6	1	16	7	9	0	85	9	10
	計	5,487	364	328	16	4	30	12	19	0	204	25	18
合計	男	28,667	1,627	1,327	57	6	104	25	110	1	828	117	79
	女	31,265	1,284	1,153	26	1	122	24	40	3	775	71	91
	計	59,932	2,911	2,480	83	7	226	49	150	4	1,603	188	170

表5 胃がん検診（X線検査）年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和38年度～令和5年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	62,163	9	0.01
30～39	825,166	224	0.03
40～49	2,109,915	1,057	0.05
50～59	2,193,269	2,252	0.10
60～69	2,181,215	4,733	0.22
70～	1,250,560	4,495	0.36
年齢不詳	166	0	0.00
合計	8,622,454	12,770	0.15

※10歳階級表

表6 胃がん検診（X線検査）性・年齢別受診者数と発見がん数（令和6年度）

年 齢	受 診 者 数			発見がん数			発見率 (%)		
	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性
～29	115	76	39	0	0	0	0.00	0.00	0.00
30～34	480	303	177	0	0	0	0.00	0.00	0.00
35～39	1,263	721	542	0	0	0	0.00	0.00	0.00
40～44	3,423	1,562	1,861	0	0	0	0.00	0.00	0.00
45～49	3,758	1,792	1,966	0	0	0	0.00	0.00	0.00
50～54	5,183	2,543	2,640	0	0	0	0.00	0.00	0.00
55～59	4,835	2,119	2,716	4	1	3	0.08	0.05	0.11
60～64	6,159	2,601	3,558	3	2	1	0.05	0.08	0.03
65～69	8,655	4,065	4,590	5	2	3	0.06	0.05	0.07
70～74	11,734	5,576	6,158	17	12	5	0.14	0.22	0.08
75～79	8,840	4,355	4,485	38	30	8	0.43	0.69	0.18
80～	5,487	2,954	2,533	16	10	6	0.29	0.34	0.24
合計	59,932	28,667	31,265	83	57	26	0.14	0.20	0.08

※5歳階級表

表7 胃がん検診（X線検査）性・受診歴別受診者数及び発見がん数（令和6年度）

受診歴	受 診 者 数			発見がん数			発見率 (%)		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
初 回	15,033	6,704	8,329	28	17	11	0.19	0.25	0.13
1 年 前	33,294	17,195	16,099	33	24	9	0.10	0.14	0.06
2 年 前	9,261	3,799	5,462	14	11	3	0.15	0.29	0.05
3 年 前	2,344	969	1,375	8	5	3	0.34	0.52	0.22
合計	59,932	28,667	31,265	83	57	26	0.14	0.20	0.08

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表8 胃がん検診（X線検査）追跡調査による発見がんの内訳（累計）

昭和38年度～令和5年度

年度	発見がん 数 (A)	手術施行 数 (B)	B/A (%)	手術施行内訳 (C)						(再掲) 内視鏡 切除数 (D)	D/B (%)	手術未 施行数 (E)	E/A (%)
				早期 がん	C/B (%)	進行 がん	C/B (%)	深達度 不明	C/B (%)				
S 38～H30	12,291	11,470	93.3	7,008	61.1	4,232	36.9	200	1.7	60	0.5	805	6.5
R 元	127	118	92.9	112	94.9	25	21.2	7	5.9	45	38.1	6	4.7
R 2	90	78	86.7	86	110.3	24	30.8	1	1.3	34	43.6	9	10.0
R 3	83	75	90.4	53	70.7	14	18.7	1	1.3	40	53.3	5	6.0
R 4	96	86	89.6	60	69.8	15	17.4	0	0.0	59	68.6	10	10.4
R 5	83	72	86.7	58	80.6	14	19.4	0	0.0	40	55.6	11	13.3
合計	12,770	11,899	93.2	7,377	62.0	4,324	36.3	209	1.8			846	6.6

表9 胃がん検診（X線検査）発見がんにおける手術施行者の深達度（令和5年度）

手術施行	早 期		進 行			深達度不明
	m	s m	m p	s s	s	
72	39	19	4	6	4	0

胃癌取扱い規約に準ずる。

胃内視鏡検査

表1 胃がん検診（内視鏡検査）実施状況

平成26年度～令和6年度

年度	受診者数				要精検者数					発見がん数					陽性反応 適中度 (%)
	総数	札幌	旭川	釧路	総数	札幌	旭川	釧路	要精検率 (%)	総数	札幌	旭川	釧路	発見率 (%)	
H26～R元	16,910	12,333	2,831	1,746	3,437	2,958	460	19	20.33	37	35	2	0	0.22	1.08
R 2	5,116	3,709	941	466	1,777	1,655	119	3	34.73	24	23	1	0	0.47	1.35
R 3	6,352	4,492	1,320	540	328	301	27	0	5.16	23	19	4	0	0.36	7.01
R 4	6,924	4,816	1,546	562	398	350	47	1	5.75	20	17	3	0	0.29	5.03
R 5	8,101	5,949	1,521	631	414	379	35	0	5.11	20	19	1	0	0.25	4.83
R 6	8,801	6,530	1,705	566	399	362	37	0	4.53	14	11	3	0	0.16	3.51
合計	52,204	37,829	9,864	4,511	6,753	6,005	725	23	12.94	138	124	14	0	0.26	2.04

国の指標値（許容値）

11.0%以下

0.11%以上 1.0%以上

表2 胃がん検診（内視鏡検査）実施状況及び精検結果

平成26年度～令和6年度

年度	受診者数	要精検者数	要精 検率 (%)	精検 受診者数	精検 受診率 (%)	精 検 結 果 内 訳							
						胃がん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指 腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
H26～R元	16,910	3,436	20.3	2,268	66.0	37	110	47	70	15	471	1,489	35
R 2	5,116	1,777	34.7	919	51.7	24	21	14	21	6	84	738	21
R 3	6,352	328	5.2	328	100.0	23	33	5	15	2	186	65	5
R 4	6,924	398	5.7	398	100.0	20	28	8	14	3	252	66	9
R 5	8,101	414	5.1	414	100.0	20	34	6	13	1	253	75	12
R 6	8,801	399	4.5	399	100.0	14	43	13	13	0	232	79	5
合計	52,204	6,752	12.9	4,726	70.0	138	269	93	146	27	1,478	2,512	87

国の指標値（許容値）

11.0%以下

70.0%以上

表3 胃がん検診（内視鏡検査）性・年齢別実施状況及び精検結果（令和6年度）

年齢	性別	受診者数	要精検者数	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳							
					胃がん	胃以外のがん	胃潰瘍	胃潰瘍癒痕	十二指腸潰瘍	胃炎	その他	異常なし
～39	男	288	4	4	0	0	0	0	0	3	1	0
	女	208	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0
	計	496	5	5	0	0	0	0	0	4	1	0
40～44	男	353	8	8	0	0	0	0	0	5	2	1
	女	291	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0
	計	644	9	9	0	0	0	0	0	6	2	1
45～49	男	514	9	9	0	0	0	1	0	3	5	0
	女	405	8	8	0	0	0	0	0	7	1	0
	計	919	17	17	0	0	0	1	0	10	6	0
50～54	男	617	30	30	0	0	2	3	0	13	12	0
	女	708	17	17	0	0	1	1	0	9	6	0
	計	1,325	47	47	0	0	3	4	0	22	18	0
55～59	男	517	18	18	0	0	1	0	0	8	8	1
	女	600	16	16	0	0	1	0	0	10	5	0
	計	1,117	34	34	0	0	2	0	0	18	13	1
60～64	男	561	29	29	2	1	0	2	0	12	12	0
	女	601	27	27	0	0	0	0	0	20	5	2
	計	1,162	56	56	2	1	0	2	0	32	17	2
65～69	男	481	40	40	0	0	1	2	0	28	8	1
	女	488	19	19	1	2	1	0	0	9	6	0
	計	969	59	59	1	2	2	2	0	37	14	1
70～74	男	500	46	46	7	0	1	4	0	20	14	0
	女	677	37	37	1	0	1	0	0	28	7	0
	計	1,177	83	83	8	0	2	4	0	48	21	0
75～79	男	259	30	30	2	1	0	0	0	19	8	0
	女	356	27	27	0	0	3	0	0	18	6	0
	計	615	57	57	2	1	3	0	0	37	14	0
80～	男	141	15	15	1	1	0	0	0	8	5	0
	女	236	17	17	0	0	1	0	0	11	5	0
	計	377	32	32	1	1	1	0	0	19	10	0
合計	男	4,231	229	229	12	3	5	12	0	119	75	3
	女	4,570	170	170	2	2	8	1	0	114	41	2
	計	8,801	399	399	14	5	13	13	0	233	116	5

子宮頸がん検診

令和6年度は、3台の検診車で139市町村¹⁾を延279日間²⁾巡回したほか、7事業所³⁾に延12日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、17名（令和8年2月1日現在）のがんを発見した。

1) 札幌73・旭川45・釧路21市町村 2) 札幌138・旭川91・釧路50日間 3) 札幌3・旭川1・釧路3事業所 4) 札幌7・旭川1・釧路4日間

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	41,245	21,800	14,180	5,265	22,099	12,406	7,415	2,278	19,146	9,394	6,765	2,987
事業所 ⁶⁾	8,971	4,757	2,910	1,304	7,686	4,210	2,568	908	1,285	547	342	396
個 人	1,400	725	581	94	1,372	725	553	94	28	0	28	0
合 計	51,616	27,282	17,671	6,663	31,157	17,341	10,536	3,208	20,459	9,941	7,135	3,383

5) 実施主体が市町村のもの 6) 実施主体が事業所のもの

【最近の動向について（全国）】

令和6年（2024年）は、子宮がんによる死亡数は7,116名と前年より増加している。^{※1}また、部位別がん罹患数（2021年）は、30,111名で女性で5番目に多い。子宮がんの内訳は、頸部（上皮内がんを除く）10,690名、体部19,071名であった。年齢階級別罹患率は25～30歳から上昇し40～44歳が最も高い。^{※2}

（資料 ※1 国立がん研究センター「がん統計」 ※2 国立がん研究センター「全国がん登録罹患データ」）

【検診の受診状況】

子宮頸がん検診の受診総数は51,616名で、検診センターでの施設検診は31,157名（60.4%）、検診車による巡回検診は20,459名（39.6%）を実施した。前年度の受診者数と比較すると、施設検診は722名減少、巡回検診で762名減少した（表1－2）。検診結果は、細胞診陰性者が51,042名、細胞診陽性者が574名という結果であった（表2－2）。

【精密検査の受診状況】

精密検査該当者430名のうち、精密検査受診者数は393名であり、精検受診率は91.4%であった（表6－2）。

【発見がんについて】

精密検査を受けた方のうち、11名（2.8%）のがんが見つかり、58名（14.8%）が異形成のうちに治療につながっている（表6－2）。

また、経過観察の指示がでたものは一定期間経過を追っており、過去5年度分（令和2年度～令和6年度）の経過観察該当者1,120名のうち経過観察受診者数は962名で、47名がCIN3またはAISの診断で内42名（89.4%）が2年以内に治療につながっている。（表8）。

年齢階級別にみると、過年度の累計（平成30年度～令和5年度）では、CIN3またはAISで治療したものの割合は30歳代（0.58%）が一番多く、がんの診断は40歳代（0.05%）が多い（表10－1）。

※子宮体がん検診

子宮体がん検診は不正出血等の症状のある者を対象とし、最終的には医師の判断で実施している。受診総数は724名で、検診車による巡回検診は227名、検診センターでの施設検診は497名を実施した（表14）。

子宮体がん検診からの精密検査該当者は14名で、精密検査受診者数は13名であり、精検受診率は92.9%であった（表16）。

体部がんの診断をうけたものは6名で、年齢階級別では50歳台と70歳以降に多く見つかった（表19）。

【まとめ】

子宮頸がん検診受診者数は、一時回復していたが、令和4年度以降は減少している。特に巡回検診では、地域の高齢化・人口減少により受診者数の減少が課題となっており、令和7年度は市町村合同の検診を実施した。

要精検者で治療が必要になった者は、多くががんに至る前のCIN3、AISのうちに治療につながっている。また、HPV陽性やASC-USで経過観察指示となった者のうち、CIN3、AISで要治療となった者は2年以内に治療につながっている。そのため、経過観察となった場合、継続的なフォローが必要であるといえる。

子宮頸がんは、他の消化器系のがんと比較し、若い年齢での罹患が多いことが特徴であるが、当協会の子宮頸がん検診受診者層は、20～30歳代が少なく、若年へのアプローチが課題である。特に北海道は地理的事情が受診率の低さの要因の一つである。地域の女性が、巡回検診での受診を選択肢として持ち健康管理に役立ててもらえるよう、HPV検査や超音波検査の活用を合わせて、市町村と協力しながら受診環境の整備を継続して実施していくことが重要と考える。

（保健師 櫻井 明帆）

表 1－1 子宮がん検診（頸部・体部）実施状況及び発見がん数

昭和41年度～平成29年度

年 度	受 診 者 数			発見がん数					
	総 数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)
S 41～H 29	4,510,082	1,911,205	2,598,877	7,171	0.16	3,486	0.18	3,685	0.14

※（別掲）S 45～53まで実施した自己採取の実施数は7,179名、発見がん数は8名

※発見がんは上皮内がん、上皮内腺がんを含む

表 1－2 子宮がん検診（頸部・体部）実施状況及び発見がん数

平成30年度～令和6年度

年 度	受 診 者 数			発見がん数					
	総 数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)
H 30～R 元	119,285	75,686	43,599	56	0.05	37	0.05	19	0.04
R 2	48,839	29,493	19,346	23	0.05	15	0.05	8	0.04
R 3	53,242	32,651	20,591	26	0.05	15	0.05	11	0.05
R 4	53,589	32,548	21,041	22	0.04	17	0.05	5	0.02
R 5	53,100	31,879	21,221	21	0.04	15	0.05	6	0.03
R 6	51,616	31,157	20,459	17	0.03	7	0.02	10	0.05
合計	379,671	233,414	146,257	165	0.04	106	0.05	59	0.04

※経過観察からのがんを含む

※子宮頸部癌取り扱い規約に基づき、発見がんは上皮内がん、上皮内腺がんを除く。表 6－2 でCIN3（上皮内がん、高度異形成）、AISを示す

表２－１ 子宮がん検診（頸部）細胞診結果

昭和41年度～平成21年度

年 度	受診者数	ク ラ ス 分 類							
		I	II		III			IV	V
			II	II r	III a	III	III b		
実 数									
S 41～H 21	3,960,673	2,365,915	1,558,220	9,561	15,945	960	6,482	2,421	1,169
率 (％)									
S 41～H 21	100	59.74	39.34	0.24	0.40	0.02	0.16	0.06	0.03

※自己採取を除く

表２－２ 子宮がん検診（頸部）細胞診結果

平成22年度～令和6年度

年 度	受診者数	ベセスダシステム											
		NILM	ASCUS	LSIL	ASC-H	HSIL	SCC	AGC-N	AGC-F	AIS	ADC	OTH	USAT
H 22～R 元	677,598	668,694	3,896	1,942	605	1,744	106	193	81	5	28	2	302
R 2	48,839	47,931	469	184	87	117	4	33	4	0	2	0	8
R 3	53,242	52,359	475	185	91	95	7	19	3	1	5	0	2
R 4	53,589	52,657	467	202	99	100	12	34	5	0	4	0	9
R 5	53,100	52,350	390	183	71	69	5	19	5	1	4	0	3
R 6	51,616	51,042	314	119	51	56	8	11	10	1	0	0	4
合計	937,984	925,033	6,011	2,815	1,004	2,181	142	309	108	8	43	2	328

注) 平成22年度よりベセスダシステムによる細胞診分類を実施
子宮頸部癌取り扱い規約に準ずる。

表３ 子宮がん（頸部）検診結果（累計）

昭和41年度～令和6年度

年 度	受診者数	有 所 見 者 数				
		要精検者数	要精検率 (%)	経過観察者数	経過観察率 (%)	その他有所見
S 41～R 元	4,568,458	28,209	0.6	47,565	1.0	581,665
R 2	48,839	659	1.3	258	0.5	1,200
R 3	53,242	680	1.3	206	0.4	1,511
R 4	53,589	663	1.2	280	0.5	1,500
R 5	53,100	539	1.0	217	0.4	1,237
R 6	51,616	430	0.8	159	0.3	1,329
合計	4,828,844	31,180	0.6	48,685	1.0	588,442

国の指標値（許容値）

1.4%以下

※H25までその他に超音波所見を含む

表4-1 子宮がん検診（頸部）実施状況及び発見がん数

昭和41年度～平成29年度

年 度	受 診 者 数			発見がん数					
	総 数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)
S41～H29	4,510,082	1,911,205	2,598,877	6,676	0.15	3,120	0.16	3,556	0.14

※（別掲）S45～53まで実施した自己採取の実施数は7,179名、発見がん数は8名

※発見がんは上皮内がん、上皮内腺がんを含む

表4-2 子宮がん検診（頸部）実施状況及び発見がん数

平成30年度～令和6年度

年 度	受 診 者 数			発見がん数					
	総 数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)
H30～R元	119,285	75,686	43,599	31	0.03	21	0.03	10	0.02
R 2	48,839	29,493	19,346	12	0.02	7	0.02	5	0.03
R 3	53,242	32,651	20,591	14	0.03	8	0.02	6	0.03
R 4	53,589	32,548	21,041	10	0.02	9	0.03	1	0.00
R 5	53,100	31,879	21,221	13	0.02	7	0.02	6	0.03
R 6	51,616	31,157	20,459	11	0.02	5	0.02	6	0.03
合計	379,671	233,414	146,257	91	0.02	57	0.02	34	0.02

※子宮頸部癌取扱い規約に基づき、発見がんは上皮内がん・上皮内腺がんを除く。表6-2でCIN3（上皮内がん、高度異形成）、AISを示す

表5 子宮がん検診（頸部）実施状況及び発見がん数（令和6年度・管轄別）

管 轄	受診者数			要精検者数						精検受診者数		発見がん・CIN3・AIS数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	27,282	17,341	9,941	282	1.03	164	0.95	118	1.19	255	90.4	38	0.14	27	0.16	11	0.11	13.5
旭川	17,671	10,536	7,135	112	0.63	62	0.59	50	0.70	108	96.4	28	0.16	12	0.11	16	0.22	22.3
釧路	6,634	3,280	3,354	36	0.54	21	0.64	15	0.45	30	83.3	7	0.11	4	0.12	3	0.09	16.7
合計	51,587	31,157	20,430	430	0.83	247	0.79	183	0.90	393	91.4	73	0.14	43	0.14	30	0.15	16.0

国の指標値（許容値）

1.4%以下

70%以上

0.05%以上

4.0%以上

※陽性反応の中度は、経過観察からの発見がんを除いて算出

表6-1 子宮がん検診（頸部）精密検査結果

昭和41年度～平成29年度

年 度	精密検査 該当数	精密検査 受診者数	精検受診 率（％）	組織診結果内訳*					
				が ん		異型上皮		良 性	
				数	率（％）	数	率（％）	数	率（％）
S 41～H 29	27,153	26,556	97.8	4,873	18.3	6,491	24.4	15,085	56.8

※がんに上皮内がん、上皮内腺がんを含む

表6-2 子宮がん検診（頸部）精密検査結果

平成30年度～令和6年度

年 度	精密検査 該当数	精密検査 受診者数	精検受診 率（％）	組織診結果内訳*							
				が ん		CIN3・AIS		CIN3以外の異形成		良 性	
				数	率（％）	数	率（％）	数	率（％）	数	率（％）
H 30～R 元	1,614	1,504	93.2	31	2.1	250	16.6	536	35.6	687	45.7
R 2	659	610	92.6	11	1.8	117	19.2	93	15.2	389	63.8
R 3	680	637	93.7	14	2.2	96	15.1	116	18.2	411	64.5
R 4	663	612	92.3	9	1.5	106	17.3	99	16.2	398	65.0
R 5	539	486	90.2	13	2.7	66	13.6	134	27.6	273	56.2
R 6	430	393	91.4	11	2.8	58	14.8	107	27.2	217	55.2
合計	3,616	3,363	93.0	89	2.6	693	20.6	1,085	32.3	2,375	70.6

※CIN3・AISは治療報告のあった数

表7 子宮がん検診（頸部）経過観察結果（累計）

昭和41年度～平成29年度

年 度	経過観察該当数	経過観察受診者数	率（％）	経過観察からの 発見がん
S 41～H 29	55,337	50,687	91.6	2,143

表8 経過観察からCIN3、AIS治療までの期間

平成30年度～令和6年度

年 度	経過観察 該当数	経過観察 受診数	CIN3・AIS	治療までの経過観察期間				
				～6M	6～12M	1～2Y	2～3Y	3Y～
H30～R元	478	395	22	5	6	7	2	2
R2	258	229	14	2	4	5	1	2
R3	206	179	6	0	2	2	1	1
R4	280	242	8	2	4	2	0	0
R5	217	182	15	5	2	8	0	0
R6	159	130	4	1	3	0	0	0
合計	1,598	1,357	69	15	21	24	4	5

表9 経過観察からがん治療までの期間（頸部）

平成30年度～令和6年度

年 度	経過観察 該当数	経過観察 受診数	がん	治療までの経過観察期間				
				～6M	6～12M	1～2Y	2～3Y	3Y～
H30～R元	478	395	0	0	0	0	0	0
R2	258	229	1	0	0	1	0	0
R3	206	179	0	0	0	0	0	0
R4	280	242	1	0	0	1	0	0
R5	217	182	0	0	0	0	0	0
R6	159	130	0	0	0	0	0	0
合計	1,598	1,357	2	0	0	2	0	0

表10-1 子宮がん検診（頸部）年齢別
受診者数と発見がん数
（H30～R5年度）

年齢	受診者数	CIN3、 AIS	率	浸潤 がん	発見率 （％）
～19	108	0	0.00	0	0.00
20～29	10,569	41	0.39	2	0.02
30～39	30,600	176	0.58	13	0.04
40～49	70,923	277	0.39	35	0.05
50～59	70,900	107	0.15	14	0.02
60～69	77,058	60	0.08	9	0.01
70～	67,897	43	0.06	13	0.02
合計	328,055	704	0.21	86	0.03

表10-2 子宮がん検診（頸部）年齢別
受診者数と発見がん数
（令和6年度）

年齢	受診者数	CIN3、 AIS	率	浸潤 がん	発見率 （％）
～19	20	0	0.00	0	0.00
20～29	1,811	2	0.11	0	0.00
30～39	4,633	13	0.28	2	0.04
40～49	10,609	27	0.25	3	0.03
50～59	12,015	13	0.11	3	0.02
60～69	11,616	6	0.05	2	0.02
70～	10,912	4	0.04	1	0.01
合計	51,616	65	0.13	11	0.02

表11 子宮がん検診（頸部・体部）追跡調査による発見がんの内訳（累計）
昭和41年度～平成29年度

年 度	発見 がん数	内 訳					
		頸 部 が ん				体部がん	その他の がん
		上皮内 がん	浸潤がん		区分不能		
			I a	I b以上			
S 41～H 29	7,290	4,177	1,292	878	73	484	390

表12 子宮がん検診（頸部）がんおよび前駆病変の進行期分類
平成30年度～令和6年度

年 度	発見 がん数	内 訳				CIN3	AIS
		扁平上皮がん		腺がん	区分不能		
		I a	I b以上				
H30～R元	31	7	16	7	1	265	7
R 2	12	7	3	2	0	122	4
R 3	14	6	4	4	0	102	0
R 4	10	7	0	3	0	111	2
R 5	13	3	4	6	0	81	0
R 6	11	6	3	2	0	57	2
合計	91	36	30	24	1	738	15

表13 子宮がん（体部）検診結果（累計）

昭和62年度～令和6年度

年 度	受診者数	有 所 見 者 数					細胞診結果			発見 がん数
		要精検者数	要精検率 (%)	経過 観察者数	経過観察率 (%)	その他	陰性	疑陽性	陽性	
S 62～R元	119,856	1,815	1.5	3,211	2.7	1,738	115,113	4,365	378	484
R 2	1,298	23	1.8	43	3.3	1,318	1,231	63	4	10
R 3	1,166	28	2.4	27	2.3	1,111	1,111	54	1	5
R 4	920	30	3.3	59	6.4	831	831	85	4	9
R 5	627	20	3.2	24	3.8	583	583	40	4	8
R 6	724	14	1.9	23	3.2	687	685	19	3	4
合計	124,591	1,930	1.5	3,387	2.7		119,554	4,626	394	520

※H25までその他に超音波所見を含む

表14 子宮がん検診（体部）実施状況及び発見がん数（累計）

昭和62年度～令和6年度

年 度	受診者数			発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
S62～R元	119,856	91,545	28,311	493	0.41	358	0.39	126	0.45	
R 2	1,298	1,125	173	10	0.77	8	0.71	2	1.16	34.78
R 3	1,166	960	206	5	0.43	4	0.42	1	0.49	17.86
R 4	920	706	214	9	0.98	7	0.99	2	0.93	30.00
R 5	627	439	188	8	1.28	8	1.82	0	0.00	40.00
R 6	724	497	227	4	0.55	2	0.40	2	0.88	32.67
合計	124,591	95,272	29,319	529	0.42	387	0.41	133	0.45	32.67

※陽性反応適中度は経過観察からの発見がんをのぞいて算出。

表15 子宮がん検診（体部）実施状況及び発見がん数（令和6年度・管轄別）

管轄	受診者数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	200	156	44	9	4.50	7	4.49	2	4.55	8	88.9	1	0.50	0	0.00	1	2.27	11.11
旭川	496	336	160	4	0.81	2	0.60	2	1.25	4	100.0	3	0.60	2	0.60	1	0.63	50.00
釧路	25	2	23	1	4.00	0	0.00	1	4.35	1	100.0	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0.00
合計	721	494	227	14	1.94	9	1.82	5	2.20	13	92.9	4	0.55	2	0.40	2	0.88	21.43

※陽性反応適中度は経過観察からの発見がんをのぞいて算出。

表16 子宮がん検診（体部）精密検査結果（累計）

平成23年度～令和6年度

年 度	精密検査 該当数	精密検査 受診者数	精検受診 率（％）	組織診結果内訳※						（別掲） がん 経過観察期 間を経た者 数
				が ん		子宮内膜増殖症		良 性		
				数	率（％）	数	率（％）	数	率（％）	
H23～R元	240	234	97.5	99	42.3	12	5.1	117	50.0	6
R 2	23	23	100.0	8	34.8	0	0.0	15	65.2	0
R 3	28	26	92.9	5	19.2	1	3.8	20	76.9	0
R 4	30	30	100.0	7	23.3	1	3.3	20	66.7	2
R 5	20	20	100.0	8	40.0	1	5.0	11	55.0	0
R 6	14	13	92.9	4	30.8	0	0.0	9	69.2	0
合計	355	346	97.5	131	37.9	15	4.3	192	55.5	8

※組織診結果は確定診断ではない。

※この発見がん数は“組織診ののちすぐにごんと診断されたもの”の数であるため、表13～15とは一致しない。

表17 子宮がん検診（体部）経過観察結果（累計）

平成23年度～令和6年度

年度	経過観察該当数	経過観察受診者数	率（％）	経過観察からの 発見がん
H23～R元	1,282	1,182	92.2	19
R 2	43	36	83.7	2
R 3	27	21	77.8	0
R 4	59	53	89.8	0
R 5	24	23	95.8	0
R 6	25	23	92.0	1
合計	1,460	1,338	91.6	22

表18 子宮がん検診（体部）年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和62年度～令和5年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率（％）
～29	25	0	0.00
30～39	608	4	0.66
40～49	8,972	55	0.61
50～59	25,457	322	1.26
60～69	21,474	185	0.86
70～	9,296	78	0.84
合計	65,832	644	0.98

※10歳階級表

※この発見がん数は頸部で要精検になったもののうち体部がんの診断を受けたものも含むため表13・14とは一致しない。

表19 子宮がん検診（体部）年齢別受診者数と発見がん数（令和6年度）

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率（％）
～29	1	0	0.00
30～39	6	0	0.00
40～49	85	0	0.00
50～59	270	3	1.11
60～69	189	1	0.53
70～	173	2	1.16
合計	724	6	0.83

※この発見がん数は頸部で要精検になったもののうち体部がんの診断を受けたものも含むため表13～15及び表20とは一致しない。

表20 子宮がん検診（体部）受診歴別発見がん数（令和6年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率（％）
初 回	498	1	0.20
1年前	73	0	0.00
2年前	95	2	2.11
3年前	19	1	5.26
合計	685	4	0.58

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

乳がん検診

令和6年度は、3台の検診車で139市町村¹⁾を延364日間²⁾巡回したほか、7事業所³⁾に延12日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、248名（令和8年2月16日現在）のがんを発見した。

1) 札幌73・旭川45・釧路21市町村 2) 札幌184・旭川122・釧路58日間 3) 札幌4・旭川1・釧路2事業所 4) 札幌8・旭川1・釧路3日間

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	48,347	25,503	16,877	5,967	25,788	14,511	8,763	2,514	22,559	10,992	8,114	3,453
事業所 ⁶⁾	9,178	5,051	3,007	1,120	8,015	4,458	2,719	838	1,163	593	288	282
個 人	2,522	1,393	966	163	2,480	1,391	926	163	42	2	40	0
合 計	60,047	31,947	20,850	7,250	36,283	20,360	12,408	3,515	23,764	11,587	8,442	3,735

5) 実施主体が市町村のもの

6) 実施主体が事業所のもの

【最近の動向について（全国）】

令和6年（2024年）は、がん死亡数は384,111名と前年より増加し、乳がん死亡数も16,005名と前年より増加している^{*1}。また、部位別死亡数順位は、女性4位であった。

部位別の罹患数（2021年）は、女性1位であった^{*2}。

（資料 ※1 日本対がん協会「人口動態統計による全国がん死亡データ」 ※2 国立がん研究センター「全国がん登録罹患データ」）

【検診の受診状況】

受診総数60,047名のうち、検診センターでの施設検診は36,283名（60.4%）、検診車による巡回検診は23,764名（39.6%）であった。国の指針により40歳以上の乳がん検診は2年に1回の実施であるため、令和4年度の受診数と比較すると1,397名減（検診センター1,139名減、検診車258名減）であった（表2）。

要精検者は1,321名（要精検率2.2%）、経過観察者は27名であった（表1）。

受診歴別にみると、初回受診者数は18,743名（31.2%）、1年前受診者数は14,439名（24.0%）、2年前受診者数は23,376名（38.9%）、3年前受診者数は3,489名（5.8%）であった（表8）。

【精密検査の受診状況】

要精検者は1,321名（検診センター818名、検診車503名）で、要精検率は2.2%、精検受診率は97.4%であり、国の指標値である要精検率11.0%以下、精検受診率は80%以上を達成している（表3）。

【発見がんの状況】

令和6年度の発見がん数は247名、乳がん発見率0.41%、陽性反応適中度18.70%であった（表2、3）。陽性反応適中度は国の指標値である2.5%以上を達成している。

がん発見率は70～79歳が0.61%と最も高く、次いで65～69歳で0.51%、55～59歳で0.48%となっている（表7）。また、発見率を受診歴別にみると、初回受診者は0.65%と最も多く、次いで3年前受診者が0.43%、2年前受診者が0.33%、1年前受診者で0.24%であった（表8）。

令和元年度から令和5年度までの発見がんのうち、I期以下のがんは870名（68.6%）であった。そのうち、非浸潤癌（0期）は188名（21.6%）であった（表10）。

【まとめ】

新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた受診者数は令和3年度から令和5年度まで増加傾向となっていたが、令和6年度は減少している。中でも施設検診受診者数の減少が著しい。札幌近郊で他の検診センターでの受診が増加していることや、人間ドックの受診を推奨している事業所が増加傾向にあることも要因として考えられる。また、札幌近郊では乳腺専門の医療機関が多く、検診センター以外での受診が可能なのも大きい。当検診センターでは同時に他の検（健）診を受診することが可能であり、施設検診受診のメリットを広め、どの年代の女性にも乳がんへの関心を持ってもらえるよう、啓発活動などに積極的に参加し、北海道の受診率向上に役立てていきたい。また、広大な北海道では医療機関にかかることも困難な市町村も多いため、巡回検診の実施により、道民の乳がん検診の受診機会の確保に努めていく必要がある。

（保健師 宍戸 かおり）

表1 検診結果（累計）

昭和48年度～令和6年度

年度	受診者数	有所見者数						有所見内訳					精検検査方法内訳		
		要精検者数	要精検率 (%)	経過観 察者数	(%)	良性	(%)	乳がん	発見率 (%)	乳腺症	乳腺線 維腺腫	その他	XP	超音波	細胞診
S48～R元	2,855,433	153,022	5.4	18,882	0.7	1,493	0.1	9,247	0.32	141,488	8,420	74,660	71,851	69,883	13,226
R2	55,641	1,285	2.3	72	0.1	0	0.0	255	0.46	77	97	891	162	294	60
R3	61,229	1,216	2.0	88	0.1	0	0.0	229	0.37	70	89	885	199	337	57
R4	61,444	1,267	2.1	76	0.1	0	0.0	252	0.41	77	72	914	192	291	54
R5	61,322	1,278	2.1	59	0.1	0	0.0	278	0.45	88	72	868	187	298	52
R6	60,047	1,321	2.2	27	0.0	0	0.0	247	0.41	113	83	858	202	297	43
合計	3,155,116	159,389	5.1	19,204	0.6	1,493	0.0	10,508	0.33	141,913	8,833	79,076	72,793	71,400	13,492

国の指標値（許容値）

11.0%以下

0.23%以上

※有所見内訳と有所見総数は1人で2つ以上の所見を有する場合があります一致しない。

※精検検査方法内訳と要精検者数は1人で2つ以上を実施する場合があります一致しない。

表2 実施状況及び発見がん数（累計）

昭和48年度～令和6年度

年度	受診者数			発見がん数						陽性反応 適中度 (%)
	総数	検診 センター	検診車	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
S48～R元	2,855,433	1,703,684	1,151,749	9,248	0.32	6,630	0.39	2,618	0.23	
R2	55,641	33,550	22,091	255	0.46	159	0.47	96	0.43	19.77
R3	61,229	37,393	23,836	229	0.37	139	0.37	90	0.38	18.67
R4	61,444	37,422	24,022	252	0.41	157	0.42	95	0.40	19.57
R5	61,322	36,855	24,467	278	0.45	168	0.46	110	0.45	21.60
R6	60,047	36,283	23,764	247	0.41	157	0.43	90	0.38	18.70
合計	3,155,116	1,885,187	1,269,929	10,509	0.33	7,410	0.39	3,099	0.24	

国の指標値（許容値）

0.23%以上

2.5%以上

※平成17年度よりマンモグラフィを全員に実施。

※陽性反応適中度は経過観察からの発見がんを除いて算出。

表3 実施状況及び発見がん数（令和6年度・管轄別）

管轄	受診者数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	31,947	20,360	11,587	678	2.1	430	2.1	248	2.1	657	96.9	145	0.45	97	0.48	48	0.41	21.39
旭川	20,850	12,408	8,442	411	2.0	226	1.8	185	2.2	406	98.8	78	0.37	52	0.42	26	0.31	18.98
釧路	7,250	3,515	3,735	232	3.2	162	4.6	70	1.9	223	96.1	24	0.33	8	0.23	16	0.43	10.34
合計	60,047	36,283	23,764	1,321	2.2	818	2.3	503	2.1	1,286	97.4	247	0.41	157	0.43	90	0.38	18.70

国の指標値（許容値）

11.0%以下

80%以上

0.23%以上

2.5%以上

※陽性反応適中度は経過観察からの発見がんを除いて算出。

表4 精密検査（要組織診）結果（累計）

昭和53年度～平成25年度

年 度	要組織診 該当数	組 織 診 受 診 数	有 所 見 内 訳							
			乳 が ん	(%)	乳 腺 症	(%)	乳腺線維腺腫	(%)	そ の 他	(%)
S53～H25	43,534	42,573	6,512	15.0	11,886	27.3	2,896	6.7	20,545	47.2

※組織診受診者数と有所見は1人で2つ以上の所見を有する場合があります一致しない。

※この表の有所見内訳は、経過観察期間を経ずに診断された件数であり、表1の内訳とは一致しない。

表5 精密検査結果（累計）

平成26年度～令和6年度

年 度	要精検者数	精検 受診者数	有 所 見 内 訳							
			乳 が ん	(%)	乳 腺 症	(%)	乳腺線維腺腫	(%)	そ の 他	(%)
H26～R元	12,766	12,565	1,747	13.7	1,249	9.8	783	6.1	9,064	71.0
R 2	1,285	1,254	254	19.8	75	5.8	94	7.3	837	65.1
R 3	1,216	1,192	227	18.7	66	5.4	83	6.8	822	67.6
R 4	1,267	1,240	248	19.6	71	5.6	65	5.1	864	68.2
R 5	1,278	1,242	276	21.6	86	6.7	70	5.5	820	64.2
R 6	1,321	1,286	247	18.7	113	8.6	83	6.3	858	65.0
合計	19,133	18,779	2,999	15.7	1,660	8.7	1,178	6.2	13,265	69.3

※平成26年度よりシステム変更に伴い、要組織診該当数の算出が困難となったため、表4から表5へと変更した。

※精検受診者数と有所見内訳は1人で2つ以上の所見を有する場合があります一致しない。

※この表の有所見内訳は、経過観察からの発見がんを除く。

表6 年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和48年度～令和5年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	21,082	17	0.08
30～39	364,750	418	0.11
40～49	794,439	2,658	0.33
50～59	885,302	2,693	0.30
60～69	719,004	2,883	0.40
70～	310,492	1,593	0.51
合計	3,095,069	10,262	0.33

※10歳階級表

表7 年齢別受診者数と発見がん数

(令和6年度)

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～29	538	0	0.00
30～34	999	0	0.00
35～39	1,986	2	0.10
40～44	6,515	14	0.21
45～49	7,105	29	0.41
50～54	7,928	29	0.37
55～59	6,819	33	0.48
60～64	7,334	23	0.31
65～69	6,523	33	0.51
70～74	7,502	46	0.61
75～79	4,556	28	0.61
80～	2,242	10	0.45
合計	60,047	247	0.41

※5歳階級表

表8 受診歴別発見がん数（令和6年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率(%)
初回受診	18,743	122	0.65
1年前受診	14,439	34	0.24
2年前受診	23,376	76	0.33
3年前受診	3,489	15	0.43
合計	60,047	247	0.41

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表9 がん発見時の受診状況（累計）

昭和48年度～令和5年度

年度	発見がん数	発見時の内訳		
		初回受診	経過観察	再受診
S48～H30	8,994	4,406	1,197	3,391
R元	254	112	22	120
R2	255	114	14	127
R3	229	111	22	96
R4	252	131	13	108
R5	278	131	19	128
合計	10,262	5,005	1,287	3,970

※再受診とは・・・前回の検診から3年以内に検診を受診し、
1ヶ月以上の経過観察指示を受けずに乳癌と診断された方

表10 追跡調査による発見がんの病期区分（累計）

昭和48年度～令和5年度

年 度	総 数	病 期 分 類								
		早 期 が ん				進 行 が ん				不 明
		計	O	I	旧分類O	計	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	
S48～H30	8,994	5,449	1,057	4,337	55	3,462	2,960	421	81	83
R元	254	182	38	144	0	71	64	5	2	1
R2	255	170	45	125	0	84	75	8	1	1
R3	229	162	28	134	0	67	52	11	4	0
R4	252	163	41	122	0	86	78	7	1	3
R5	278	193	36	157	0	78	66	11	1	7
合計	10,262	6,319	1,245	5,019	55	3,848	3,295	463	90	95

乳癌取扱い規約に準ずる。

肺がん検診

令和6年度は、20台の検診車で134市町村¹⁾を延2,074日間²⁾巡回したほか、22事業所³⁾に延33日間⁴⁾巡回し、検診を実施した。胸部CT検査については、検診車の老朽化により令和5年度を以て巡回検診事業を終了し、検診センターにおいてのみ実施した。(なお、例外として一部の自治体において病院設備を使用した巡回検診を行なっている。)

各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、胸部X線検査では99名、胸部CT検査では4名(令和8年2月20日現在)のがんを発見した。

1) 札幌65・旭川47・釧路22市町村 2) 札幌1,130・旭川552・釧路392日間 3) 札幌6・旭川2・釧路14事業所 4) 札幌9・旭川5・釧路19日間

胸部 X線検査	合計	総 数			検診センター				検診車(巡回)			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	87,038	45,129	27,292	14,617	22,168	11,987	7,216	2,965	64,870	33,142	20,076	11,652
事業所 ⁶⁾	1,808	502	538	768	61	20	24	17	1,747	482	514	751
個 人	69	38	20	11	66	37	20	9	3	1	0	2
合計	88,915	45,669	27,850	15,396	22,295	12,044	7,260	2,991	66,620	33,625	20,590	12,405

胸部 CT検査	合計	総 数			検診センター				検診車(巡回)			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ⁵⁾	247	71	176	0	231	55	176	0	16	16	0	0
事業所 ⁶⁾	130	122	8	0	130	122	8	0	0	0	0	0
個 人	1,078	988	90	0	1,078	988	90	0	0	0	0	0
合計	1,455	1,181	274	0	1,439	1,165	274	0	16	16	0	0

5) 実施主体が市町村のもの

6) 実施主体が事業所のもの

【最近の動向について(全国)】

令和6年(2024年)は、がん死亡数は384,111名と前年より増加した。肺がん死亡数は75,569名と前年より減少した^{*1}。また、部位別死亡数順位は、肺がんが男性1位、女性2位であった^{*1}。

部位別の罹患数(2021年)は、男性3位、女性3位であった^{*2}。

(出典 ※1 厚生労働省「2024年人口動態統計(確定数)」 ※2 厚生労働省「全国がん登録 罹患数・率報告2021」)

【検診の受診状況】

胸部X線検査の受診総数は88,915名(前年比1,466名増、1.7%増)で、検診センターでの施設検診が22,295名(前年比1.3%増)、検診車による巡回検診が66,620名(前年比1.8%増)であった。

胸部CT検査の受診総数は1,455名(前年比784名減、35.0%減)で、検診センターでの施設検診が1,439名(前年比2.3%増)、検診車による巡回検診が16名(前年比98.1%減)であった。

また、喫煙ハイリスク者における喀痰細胞診実施数は1,102名(前年比150名減)であった。

【精密検査の受診状況】

胸部X線検査の要精検者は1,326名(検診車934名、検診センター392名)で、要精検率は1.5%、精検受診率は89.4%(前年比1.0%減)であった(表3)。精検受診率は2年連続して下がったものの、国の指標値は依然大きく上回っている。

胸部CT検査の要精検者は75名で、要精検率は5.2%、精検受診率は93.3%(前年比4.1%減)であった(表1、2)。胸部CT検査はセンターで精検も受診できるため、高い精検受診率を維持できているとみられる。

【発見がんについて】

令和6年度の発見がんの総数は99名（男性57名、女性42名）で、がん発見率は0.11%、陽性反応適中度は7.47%であった。どちらも例年と比較して著しい変化はなく、国の指標値を大きく上回っている（表2、3、6）。

がん発見率は、性別では男性が高く女性の約2倍となっており、年齢では男女とも60歳頃から増加、70歳台前半がピークとなっている（表5、6）。

追跡調査による発見がんの病期区分をみると、令和5年度までの累計で、胸部X線検査では発見がん2,993名のうち、早期で発見されたのは1,589名（うち0期33名、Ⅰ期1,556名）と、全体の53.1%であった。

同じく胸部CT検査では発見がん295名のうち、早期で発見されたのは223名（うち0期14名、Ⅰ期209名）と、全体の75.6%であった（表4）。

胸部CT検査は胸部X線検査と比べ、早期がんで発見できる割合が高い。しかし確定診断が不可能な大きさのうちに要精検となるケースも多く、その場合がんを疑いながら長期の経過観察を必要とされるデメリットも持ち合わせている。両者の検診の性質を理解したうえで受診できるよう、十分な配慮が必要である。

【まとめ】

肺がんは、がんの中で最も死亡率が高いがんである。特に北海道では、肺がんの罹患率・死亡率が全国平均と比較して高いが、道内の呼吸器専門の医療機関は限られており、地域によっては受診が困難であるといった特性がある。検診の機会を逃してしまうと、がんの発見が遅れ、将来的に治療の選択肢が狭まったり、手遅れになることが危惧される。

今後も実施主体と連携を取りながら、継続受診に向けた働きかけや、要精検者に対しては、早期に適切な検査や治療が受けられるよう、確実に精検受診に結びつけられるようアプローチが必要である。

（保健師 沼田 枝里奈）

表1 検診結果（累計）

昭和51年度～令和6年度

年 度	受 診 者 数		要精検者数	要精検率 (%)	有所見者数	有所見率 (%)	精検受診数	精検受診率 (%)
		(再掲) 喀痰実施数						
S51～R元	3,339,774	229,846	107,429	3.2	400,965	12.0	99,415	92.5
R 2	77,320	1,458	1,126	1.5	10,182	13.2	993	88.2
R 3	86,228	1,490	1,122	1.3	11,766	13.6	1,004	89.5
R 4	89,374	1,313	1,324	1.5	13,077	14.6	1,208	91.2
R 5	87,449	1,252	1,361	1.6	14,518	16.6	1,231	90.4
R 6	88,915	1,102	1,326	1.5	14,221	16.0	1,185	89.4
合計	3,769,060	236,461	113,688	3.0	464,729	12.3	105,036	92.4

国の指標値（許容値）

3.0%以下

指標なし

70%以上

※平成26年度よりシステム変更に伴い、これまで含まれていなかった事業所分・人間ドック分の受診者数を含めるように改変した。（胃がん・肺がん・大腸がん）

表2 実施状況及び発見がん数（累計）

昭和51年度～令和6年度

年 度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反応 適中度 (%)
	総 数	検診 センター	検 診 車	総 数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
S51～R元	3,339,774	661,466	2,678,308	2,630	0.08	582	0.09	2,048	0.08	2.45
R 2	77,320	19,120	58,200	76	0.10	22	0.12	54	0.09	6.75
R 3	86,228	22,062	64,166	90	0.10	23	0.10	67	0.10	8.02
R 4	89,374	22,957	66,417	92	0.10	19	0.08	73	0.11	6.95
R 5	87,449	22,005	65,444	105	0.12	20	0.09	85	0.13	7.71
R 6	88,915	22,295	66,620	99	0.11	26	0.12	73	0.11	7.47
合計	3,769,060	769,905	2,999,155	3,092	0.08	692	0.09	2,400	0.08	2.72

国の指標値（許容値）

0.03%以上

1.3%以上

表3 実施状況及び発見がん数（令和6年度・管轄別）

管轄	受 診 者 数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	45,669	12,044	33,625	541	1.2	132	1.1	409	1.2	484	89.5	71	0.16	19	0.16	52	0.15	13.12
旭川	27,850	7,260	20,590	430	1.5	148	2.0	282	1.4	393	91.4	21	0.08	5	0.07	16	0.08	4.88
釧路	15,396	2,991	12,405	355	2.3	112	3.7	243	2.0	308	86.8	7	0.05	2	0.07	5	0.04	1.97
合計	88,915	22,295	66,620	1,326	1.5	392	1.8	934	1.4	1,185	89.4	99	0.11	26	0.12	73	0.11	7.47

国の指標値（許容値）

3.0%以下

70%以上

0.03%以上

1.3%以上

表4 喀痰細胞診実施結果（累計・抜粋）

昭和62年度～令和6年度

年 度	喀痰検査 実施数	要精検者数	要経過 観察者数	判 定 区 分					肺がん	その他の がん
				A	B	C	D	E		
S 62～R 元	212,956	423	3,286	672	208,809	3,257	227	186	241	41
R 2	1,458	0	6	2	1,451	5	0	0	1	0
R 3	1,490	0	8	3	1,481	6	0	0	1	0
R 4	1,313	3	4	1	1,305	4	2	1	3	0
R 5	1,252	2	14	0	1,236	14	1	1	2	0
R 6	1,102	0	6	1	1,096	5	0	0	0	0
合計	219,571	428	3,324	679	215,378	3,291	230	188	248	41

表5 年齢別受診者数と発見がん数（累計）

昭和51年度～令和5年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～39	232,632	4	0.002
40～49	553,994	64	0.01
50～59	773,826	257	0.03
60～69	1,166,401	1,174	0.10
70～	953,292	1,494	0.16
合計	3,680,145	2,993	0.08

※10歳階級表

表6 性・年齢別受診者数と発見がん数（令和6年度）

年 齢	受 診 者 数			発見がん数			発見率 (%)		
性 別	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性
～39	1,949	1,057	892	0	0	0	0.00	0.00	0.00
40～44	3,966	1,403	2,563	0	0	0	0.00	0.00	0.00
45～49	4,419	1,634	2,785	1	0	1	0.02	0.00	0.04
50～54	5,279	1,951	3,328	1	1	0	0.02	0.05	0.00
55～59	5,668	2,010	3,658	2	2	0	0.04	0.10	0.00
60～64	8,352	2,837	5,515	7	2	5	0.08	0.07	0.09
65～69	13,513	5,469	8,044	15	10	5	0.11	0.18	0.06
70～74	19,684	8,236	11,448	38	20	18	0.19	0.24	0.16
75～79	15,459	6,950	8,509	22	15	7	0.14	0.22	0.08
80～	10,626	5,108	5,518	13	7	6	0.12	0.14	0.11
合計	88,915	36,655	52,260	99	57	42	0.11	0.16	0.08

※5歳階級表

表7 性・受診歴別受診者数および発見がん数（令和6年度）

受診歴	受診者数			発見がん数			発見率（％）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
初 回	35,961	13,824	22,137	52	27	25	0.14	0.20	0.11
1 年 前	52,954	22,831	30,123	47	30	17	0.09	0.13	0.06
合計	88,915	36,655	52,260	99	57	42	0.11	0.16	0.08

※初回受診には、2年以上受診のなかった方も含む

表8 追跡調査による発見がんの病期区分（累計）

昭和51年度～令和5年度

年 度	発見がん数	病 期 分 類						
		〇 C	O	I	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	不 明
S 51～H 30	2,541	2	26	1,351	203	574	324	61
R 元	89	0	4	41	8	18	14	4
R 2	76	0	1	35	9	13	16	2
R 3	90	0	1	35	12	12	24	6
R 4	92	0	1	43	10	19	17	2
R 5	105	0	0	51	12	17	22	3
合計	2,993	2	33	1,556	254	653	417	78

肺癌取扱い規約準ずる。

CT肺がん検診

表1 検診結果（累計）

平成14年度～令和6年度

年 度	受 診 者 数		要精検者数	要精検率 (%)	有所見者数	有所見率 (%)	精検受診数	精検受診率 (%)
		(再掲) 喀痰実施数						
H14～R元	49,923	6,638	2,416	4.8	39,205	78.5	2,310	95.6
R 2	3,218	206	131	4.1	2,658	82.6	130	99.2
R 3	3,484	218	179	5.1	2,768	79.4	167	93.3
R 4	3,260	162	178	5.5	2,646	81.2	165	92.7
R 5	2,239	126	116	5.2	1,858	83.0	113	97.4
R 6	1,455	82	75	5.2	1,283	88.2	70	93.3
合計	63,579	7,432	3,095	4.9	50,418	79.3	2,955	95.5

注) 平成18年度より政管・ドック分も含む

表2 検診実施状況及び発見がん数（累計）

平成14年度～令和6年度

年度	受 診 者 数			要精検者数						発見がん数					
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)
H14～R元	49,923	28,618	21,305	2,416	4.8	1,491	5.2	925	4.3	236	0.47	157	0.55	79	0.37
R 2	3,218	1,441	1,777	131	4.1	41	2.8	90	5.1	20	0.62	8	0.56	12	0.68
R 3	3,484	1,577	1,907	179	5.1	53	3.4	126	6.6	13	0.37	6	0.38	7	0.37
R 4	3,260	1,404	1,856	178	5.5	52	3.7	126	6.8	16	0.49	7	0.50	9	0.48
R 5	2,239	1,406	833	116	5.2	60	4.3	56	6.7	10	0.45	6	0.43	4	0.48
R 6	1,455	1,439	16	75	5.2	75	5.2	0	0.0	4	0.27	4	0.28	0	0.00
合計	63,579	35,885	27,694	3,095	4.9	1,772	4.9	1,323	4.8	299	0.47	188	0.52	111	0.40

表3 喀痰細胞診結果（累計・抜粋）

平成14年度～令和6年度

年 度	喀痰検査 実施数	要精検者数	要経過 観察者数	判 定 区 分					肺がん	その他の がん
				A	B	C	D	E		
H14～R元	6,638	10	104	22	6,511	94	9	2	3	1
R 2	206	0	1	0	205	1	0	0	0	0
R 3	218	0	2	0	216	2	0	0	0	0
R 4	162	0	4	0	158	4	0	0	0	0
R 5	126	0	1	0	125	1	0	0	0	0
R 6	82	0	0	0	82	0	0	0	0	0
合計	7,432	10	112	22	7,297	102	9	2	3	1

表４ 追跡調査による発見がんの病期区分（累計）

平成14年度～令和５年度

年 度	発見がん数	病 期 分 類						
		ＯＣ	Ｏ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	不明
H14～H30	224	0	10	167	14	19	12	2
Ｒ元	12	0	0	11	1	0	0	0
Ｒ２	20	0	2	10	1	3	3	1
Ｒ３	13	0	1	6	3	2	1	0
Ｒ４	16	0	1	10	1	4	0	0
Ｒ５	10	0	0	5	1	3	0	1
合計	295	0	14	209	21	31	16	4

注）平成18年度より政管・ドック分も含む

大腸がん検診

令和6年度は、138市町村¹⁾、17事業所²⁾で巡回し検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、369名（令和8年2月12日現在）のがんを発見した。

1) 札幌68・旭川48・釧路22市町村 2) 札幌7・旭川2・釧路8事業所

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ³⁾	96,427	52,989	28,988	14,450	26,234	14,919	7,986	3,329	70,193	38,070	21,002	11,121
事業所 ⁴⁾	17,080	9,390	4,680	3,010	14,442	8,280	3,489	2,673	2,638	1,110	1,191	337
個 人	1,286	859	320	107	1,253	832	320	101	33	27	0	6
合 計	114,793	63,238	33,988	17,567	41,929	24,031	11,795	6,103	72,864	39,207	22,193	11,464

3) 実施主体が市町村のもの 4) 実施主体が事業所のもの

【最近の動向について（全国）】

令和6年（2024年）は、がん死亡数は384,111名と前年より減少したが^{*1}、大腸がん死亡数は54,416名と前年より増加した^{*2}。また、部位別死亡数順位は、大腸がんが男性2位、女性1位であった。^{*2}

部位別の罹患数（2021年）は、男性2位、女性2位であった^{*2}。

（資料 ※1 厚生労働省「人口動態統計」 ※2 国立がん研究センターがん情報サービス「がん種別統計情報大腸」）

【検診の受診状況】

受診総数は114,793名（前年比1,160名増、1.0%増）で、検診センターでの施設検診が41,929名（前年比1.5%増）、検診車による巡回検診が72,864名（前年比0.7%増）であった。

【精密検査の受診状況】

要精検者は8,026名（検診センター2,618名、検診車5,408名）で、要精検率は7.0%、精検受診率は78.1%であった（表3）。また男女ともに若年であるほど精検受診率は低く、最低52.9%（～39歳）、最高86.3%（75～79歳）と世代間の差が大きかった。なお、80歳以上の年齢で精検受診率が低く出ているが、これは、精密検査のために医療機関を受診するも、受診者の体力や身体的負担等を考慮した結果、医師の判断により内視鏡検査を行わない場合もあり、精検未受診とは一概に言えないケースもある。

また、性別の精検受診率は男性74.2%、女性82.1%と性別間でも差が見られた（表4）。

【発見がんについて】

令和6年度の発見がん数は369名（男性179名、女性190名）で、がん発見率は0.32%、陽性反応適中度は4.60%であった（表2、4）。

がん発見率は、性別では男性が高く、また男女とも80歳以上を除いては高齢になるほど高くなる（表6）。受診歴別では、初回受診者（過去3年間、当協会における大腸がん検診の受診歴がない者）が発見がん数の48.7%を占め、がん発見率は0.66%で高かった（表7）。これらは、例年と同様であった。

追跡調査の結果、令和5年度の発見がん数394名のうち手術施行数は381名（96.7%）だった。手術施行数のうち、70.3%が早期がん、58.3%が内視鏡切除にて治療できる段階のがんだった（表8）。

令和元年以降、腺腫内がん・早期がんの割合が増えており、早期発見・早期治療につながっていることが推察される。

【まとめ】

受診者数は新型コロナウイルス感染症のパンデミックの影響を受け最も減少した令和2年度以降徐々に回復がみられ、精検受診率も78%前後を維持しているが、パンデミック前である令和元年度以前の精検受診率には及ばない状況が続いている。国の指標値である70.0%以上は満たしているものの、精検受診率の向上が課題である。

大腸がん検診は、便潜血検査自体は簡便で受けやすいが、主な精密検査である内視鏡検査に対する受診者の精神的・身体的負担が高いこともあり、がん検診受診者数は多くても、精検未受診者も多い傾向がある。当協会においても、精検未受診者に対して、保健師が契約者と連携し、個別の受診勧奨を複数回行っているが、大腸がん検診は他のがん検診と比べても特に、「痔だと思う」「以前に精密検査を受けて異常なしだった」「来年も要精検だったら病院受診する」等の自己判断や内視鏡検査の苦痛などで未受診となるケースが多くみられている。

受診者や契約者に、がん検診は精密検査が必要な方のふり分けをした後、要精検者が精密検査を受診してがんの有無を確認することで効果的ながん検診になると理解していただけるよう、今後とも、がん検診及び精検未受診者への受診勧奨に取り組んでいくことが必要と考えられる。

(保健師 初田 千恵)

表1 大腸がん検診結果及び精検結果（累計）

昭和62年度～令和6年度

年 度	受診者数	要精検者数	要精検率(%)	精検受診者数	精検受診率(%)	精 検 結 果 内 訳					
						大腸がん	炎症	潰瘍	ポリープ	そ の 他	異常なし
S 62～R 元	3,452,711	334,043	9.7	283,230	84.8	10,834	3,822	268	110,494	45,201	112,611
R 2	100,019	8,050	8.0	6,238	77.5	271	105	8	462	3,855	1,537
R 3	106,312	7,399	7.0	5,769	78.0	330	101	5	422	3,642	1,269
R 4	114,894	7,597	6.6	6,002	79.0	380	124	6	416	3,791	1,285
R 5	113,633	7,582	6.7	5,897	77.8	394	103	4	398	3,763	1,235
R 6	114,793	8,026	7.0	6,270	78.1	369	131	4	372	4,095	1,299
合計	4,002,362	372,697	9.3	313,406	84.1	12,578	4,386	295	112,564	64,347	119,236

国の指標値（許容値）

7.0%以下

70.0%以上

表2 大腸がん検診実施状況及び発見がん数（累計）

昭和62年度～令和6年度

年度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反応適中度(%)
	総 数	検診センター	検 診 車	総 数	発見率(%)	検診センター	発見率(%)	検診車	発見率(%)	
S 62～R 元	3,452,711	980,713	2,471,998	10,834	0.31	2,818	0.29	8,016	0.32	3.24
R 2	100,019	34,663	65,356	271	0.27	81	0.23	190	0.29	3.37
R 3	106,312	40,073	66,239	330	0.31	123	0.31	207	0.31	4.46
R 4	114,894	41,114	73,780	380	0.33	101	0.25	279	0.38	5.00
R 5	113,633	41,299	72,334	394	0.35	103	0.25	291	0.40	5.20
R 6	114,793	41,929	72,864	369	0.32	124	0.30	245	0.34	4.60
合計	4,002,362	1,179,791	2,822,571	12,578	0.31	3,350	0.28	9,228	0.33	3.37

国の指標値（許容値）

0.13%以上

1.9%以上

表3 大腸がん検診実施状況及び発見がん数（令和6年度・管轄別）

管轄	受 診 者 数			要 精 検 者 数						精検受診者数		発 見 が ん 数						陽性反応適中度(%)
	総 数	検診センター	検診車	総数	要精検率(%)	検診センター	要精検率(%)	検診車	要精検率(%)	総数	精検受診率(%)	総数	発見率(%)	検診センター	発見率(%)	検診車	発見率(%)	
札幌	63,238	24,031	39,207	4,352	6.9	1,480	6.2	2,872	7.3	3,417	78.5	199	0.31	66	0.27	133	0.34	4.57
旭川	33,988	11,795	22,193	2,385	7.0	724	6.1	1,661	7.5	1,869	78.4	122	0.36	37	0.31	85	0.38	5.12
釧路	17,567	6,103	11,464	1,289	7.3	414	6.8	875	7.6	984	76.3	48	0.27	21	0.34	27	0.24	3.72
合計	114,793	41,929	72,864	8,026	7.0	2,618	6.2	5,408	7.4	6,270	78.1	369	0.32	124	0.30	245	0.34	4.60

国の指標値（許容値）

7.0%以下

70%以上

0.13%以上

1.9%以上

※陽性反応適中度は経過観察からの発見がんをのぞいて算出した。

表4 性・年齢別大腸がん検診実施状況及び精密検査結果（令和6年度）

年齢	性別	受診者数	要精検者数	精検 受診者数	精 検 結 果 内 訳					
					大腸がん	炎症	潰瘍	ポリープ	その他	異常なし
～39	男	1,790	91	45	0	6	0	6	21	12
	女	1,572	83	47	0	1	0	4	16	26
	計	3,362	174	92	0	7	0	10	37	38
40～44	男	2,658	133	86	2	8	2	6	38	30
	女	4,177	207	138	1	11	0	10	62	54
	計	6,835	340	224	3	19	2	16	100	84
45～49	男	3,217	145	94	7	7	0	9	52	19
	女	4,796	230	167	5	11	0	15	73	63
	計	8,013	375	261	12	18	0	24	125	82
50～54	男	3,621	224	140	5	1	0	9	97	28
	女	5,860	249	185	6	5	0	13	96	65
	計	9,481	473	325	11	6	0	22	193	93
55～59	男	3,387	263	153	9	3	0	11	105	25
	女	5,891	301	244	16	9	0	15	135	69
	計	9,278	564	397	25	12	0	26	240	94
60～64	男	4,124	343	235	11	4	0	11	170	39
	女	7,523	335	282	19	7	0	19	164	73
	計	11,647	678	517	30	11	0	30	334	112
65～69	男	6,417	507	374	24	9	0	21	273	47
	女	9,381	461	405	28	9	0	18	248	102
	計	15,798	968	779	52	18	0	39	521	149
70～74	男	9,084	827	633	55	1	0	40	468	69
	女	12,861	790	694	52	7	0	40	438	157
	計	21,945	1,617	1,327	107	8	0	80	906	226
75～79	男	7,510	776	657	43	5	1	29	508	71
	女	9,359	717	631	37	14	1	43	418	118
	計	16,869	1,493	1,288	80	19	2	72	926	189
80～	男	5,531	747	594	23	7	0	32	429	103
	女	6,034	597	466	26	6	0	21	284	129
	計	11,565	1,344	1,060	49	13	0	53	713	232
合計	男	47,339	4,056	3,011	179	51	3	174	2,161	443
	女	67,454	3,970	3,259	190	80	1	198	1,934	856
	計	114,793	8,026	6,270	369	131	4	372	4,095	1,299

表5 年齢別受診者数と発見がん数（累計）
昭和62年度～令和5年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率（％）
～29	6,426	1	0.02
30～39	84,079	44	0.05
40～49	539,032	542	0.10
50～59	820,730	1,671	0.20
60～69	1,337,979	4,810	0.36
70～	1,099,323	5,141	0.47
合計	3,887,569	12,209	0.31

※10歳階級表

表6 性・年齢別受診者数と発見がん数（令和6年度）

年 齢	受 診 者 数			発見がん数			発見率（％）		
性 別	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性
～29	239	144	95	0	0	0	0.00	0.00	0.00
30～34	577	313	264	0	0	0	0.00	0.00	0.00
35～39	2,546	1,333	1,213	0	0	0	0.00	0.00	0.00
40～44	6,835	2,658	4,177	3	2	1	0.04	0.08	0.02
45～49	8,013	3,217	4,796	12	7	5	0.15	0.22	0.10
50～54	9,481	3,621	5,860	11	5	6	0.12	0.14	0.10
55～59	9,278	3,387	5,891	25	9	16	0.27	0.27	0.27
60～64	11,647	4,124	7,523	30	11	19	0.26	0.27	0.25
65～69	15,798	6,417	9,381	52	24	28	0.33	0.37	0.30
70～74	21,945	9,084	12,861	107	55	52	0.49	0.61	0.40
75～79	16,869	7,510	9,359	80	43	37	0.47	0.57	0.40
80～	11,565	5,531	6,034	49	23	26	0.42	0.42	0.43
合計	114,793	47,339	67,454	369	179	190	0.32	0.38	0.28

※5歳階級表

表7 性・受診歴別受診者数及び発見がん数（令和6年度）

受診歴	受 診 者 数			発見がん数			発見率（％）		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
初 回	27,313	10,748	16,565	180	90	90	0.66	0.84	0.54
1 年 前	69,800	30,852	38,948	132	62	70	0.19	0.20	0.18
2 年 前	13,940	4,438	9,502	39	18	21	0.28	0.41	0.22
3 年 前	3,740	1,301	2,439	18	9	9	0.48	0.69	0.37
合計	114,793	47,339	67,454	369	179	190	0.32	0.38	0.28

※初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む

表8 追跡調査による発見がんの内訳（累計）

昭和62年度～令和5年度

年度	発見がん数 (A)	手術 施行数 (B)	B/A (%)	手術施行内訳 (C)						(再掲) 内視鏡 切除数 (D)	D/B (%)	手術 未施行 (E)	E/A (%)
				早期 がん	C/B (%)	進行 がん	C/B (%)	深達度 不明	C/B (%)				
S 62～H 30	10,473	10,366	99.0	7,024	67.8	3,306	31.9	36	0.3	5,123	49.4	101	1.0
R 元	361	353	97.8	240	68.0	112	31.7	1	0.3	195	55.2	8	2.2
R 2	271	268	98.9	193	72.0	71	26.5	4	1.5	158	59.0	3	1.1
R 3	330	329	99.7	218	66.3	109	33.1	2	0.6	177	53.8	1	0.3
R 4	380	365	96.1	249	68.2	116	31.8	0	0.0	196	53.7	15	3.9
R 5	394	381	96.7	268	70.3	113	29.7	0	0.0	222	58.3	13	3.3
合計	12,209	12,062	98.8	8,192	67.9	3,827	31.7	43	0.4	6,071	50.3	141	1.2

表9 発見がんにおける手術施行者の深達度（令和5年度）

手術施行	早 期 が ん		進 行 が ん				深達度不明
	m	s m	m p	s s	s e (a)	s i (a i)	
381	199	69	28	64	17	4	0

大腸癌取扱い規約に準ずる。

前立腺がん検診

令和6年度は、99市町村¹⁾、15事業所²⁾を巡回し、検診を実施した。各検診センターと巡回検診の受診者数の合計は以下のとおりであり、145名（令和8年2月20日現在）のがんを発見した。

1) 札幌46・旭川37・釧路16市町村 2) 札幌7・旭川6・釧路2事業所

	合計	総 数			検診センター				検診車（巡回）			
		札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路	小計	札幌	旭川	釧路
市町村 ³⁾	13,726	6,499	3,927	3,300	1,972	1,253	162	557	11,754	5,246	3,765	2,743
事業所 ⁴⁾	1,148	559	430	159	963	484	325	154	185	75	105	5
個 人	2,430	1,367	1,001	62	2,244	1,237	945	62	186	130	56	0
合 計	17,304	8,425	5,358	3,521	5,179	2,974	1,432	773	12,125	5,451	3,926	2,748

3) 実施主体が市町村のもの

4) 実施主体が事業所のもの

【検診の受診状況】

対象者は基本的に50歳以上と定めているが、実施主体によっては50歳以下も対象とし、PSA（前立腺特異抗原）の検査を実施している。令和6年度の受診総数については、令和5年度と比較して1,450名増加、増加率は9.1%であった（表1）。

【精密検査の受診状況】

要精検者数は1,023名で、要精検率は5.9%であった。そのうち精検受診者数は828名で、精検受診率は80.9%であった（表1）。

【発見がんについて】

発見がん（率）は145名（0.84%）で、検診センター37名、検診車108名であった（表3）。

年齢階級別にみると、50～54歳の階級以降からがんが発見されており、70～74歳の階級で発見率はピークとなっている（表5）。

受診歴別発見がんでは、初回受診のがん発見率が最も高く、次いで3年前受診の発見率が高い（表6）。

【まとめ】

前立腺がんは男性の部位別がん罹患数（2021年）が1位となっている^{*1}。多くの場合比較的ゆっくり進行し、早期に発見して適切な治療を行えば、治癒が望めるといわれている。

前立腺がん検診は血液検査で行い、健康診査や他のがん検診等と併せて受診しやすい検査である。

前立腺がんの発見が増える50歳以上の方に受診してもらえよう今後も周知していく必要がある。

※1 国立がん研究センターがん情報サービス「がん種別統計情報前立腺」

（保健師 初田 千恵）

表1 検診結果及び精密検査結果（累計）

平成9年度～令和6年度

年 度	受診者数	要精検者数	要精検率 (%)	精検 受診者数	精検受診率 (%)	精 検 結 果 内 訳			
						前立腺がん	前立腺肥大	そ の 他	異常なし
H 9～R 元	221,620	12,739	5.7	10,050	78.9	2,203	3,328	2,699	1,820
R 2	14,429	914	6.3	768	84.0	133	267	218	150
R 3	16,062	948	5.9	779	82.2	140	221	253	165
R 4	17,446	976	5.6	805	82.5	142	259	242	162
R 5	17,153	1,009	5.9	835	82.8	139	291	248	157
R 6	17,304	1,023	5.9	828	80.9	145	281	252	150
合計	304,014	17,609	5.8	14,065	79.9	2,902	4,647	3,912	2,604

※平成26年度よりシステム変更に伴い、これまで含まれていなかった人間ドック分の受診者数を含めるように改変した。

表2 検診実施状況及び発見がん数（累計）

平成9年度～令和6年度

年 度	受 診 者 数			発 見 が ん 数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総 数	発見率 (%)	検診 センター	発見率 (%)	検診車	発見率 (%)	
H 9～R 元	221,620	69,253	152,367	2,203	0.99	763	1.10	1,440	0.95	17.29
R 2	14,429	4,101	10,328	133	0.92	41	1.00	92	0.89	14.55
R 3	16,062	4,786	11,276	140	0.87	43	0.90	97	0.86	14.77
R 4	17,446	5,214	12,232	142	0.81	50	0.96	92	0.75	14.55
R 5	17,153	5,100	12,053	139	0.81	44	0.86	95	0.79	13.78
R 6	17,304	5,179	12,125	145	0.84	37	0.71	108	0.89	14.17
合計	304,014	93,633	210,381	2,902	0.95	978	1.04	1,924	0.91	

表3 実施状況及び発見がん数（令和6年度・管轄別）

管轄	受 診 者 数			要精検者数						精検受診者数		発見がん数						陽性反 応適中 度(%)
	総 数	検診 センター	検診車	総数	要精 検率 (%)	検診 センター	要精 検率 (%)	検診車	要精 検率 (%)	総数	精検 受診率 (%)	総数	発見 率 (%)	検診 センター	発見 率 (%)	検診車	発見 率 (%)	
札幌	8,425	2,974	5,451	492	5.8	170	5.7	322	5.9	393	79.9	71	0.84	27	0.91	44	0.81	14.43
旭川	5,358	1,432	3,926	310	5.8	77	5.4	233	5.9	265	85.5	44	0.82	7	0.49	37	0.94	14.19
釧路	3,521	773	2,748	221	6.3	31	4.0	190	6.9	170	76.9	30	0.85	3	0.39	27	0.98	13.57
総数	17,304	5,179	12,125	1,023	5.9	278	5.4	745	6.1	828	80.9	145	0.84	37	0.71	108	0.89	14.17

表4 年齢別受診数と発見がん数（累計）
平成9年度～令和5年度

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～39	1,702	0	0.00
40～49	11,180	4	0.04
50～59	46,962	103	0.22
60～69	110,539	971	0.88
70～	116,297	1,679	1.44
年齢不詳	30	0	0.00
合計	286,710	2,757	0.96

※10歳階級表

表6 受診歴別発見がん数（令和6年度）

受診歴	受診者数	発見がん数	発見率(%)
初 回	4,780	83	1.74
1年前	10,036	49	0.49
2年前	1,911	9	0.47
3年前	577	4	0.69
合計	17,304	145	0.84

初回受診には、4年以上受診のなかった方も含む。

表5 年齢別受診数と発見がん数
（令和6年度）

年 齢	受診者数	発見がん数	発見率(%)
～39	109	0	0.00
40～44	308	0	0.00
45～49	484	0	0.00
50～54	1,368	1	0.07
55～59	1,435	2	0.14
60～64	1,977	5	0.25
65～69	2,991	25	0.84
70～74	3,952	55	1.39
75～79	2,970	37	1.25
80～	1,710	20	1.17
合計	17,304	145	0.84

※5歳階級表

健康診査の成績

※「3 健康診査の成績」「4 各種検査の成績」について、割合(%)は四捨五入の関係で合計100%にならない場合があります。

【特定健診等】総合判定結果

令和6年度

		受診者数	判 定									
			異常なし		有 所 見		要 指 導		治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	7	3	42.9	0	0.0	2	28.6	0	0.0	2	28.6
	20～24歳	65	20	30.8	0	0.0	28	43.1	0	0.0	17	26.2
	25～29歳	109	25	22.9	0	0.0	56	51.4	3	2.8	25	22.9
	30～34歳	257	52	20.2	0	0.0	129	50.2	14	5.4	62	24.1
	35～39歳	454	57	12.6	0	0.0	230	50.7	31	6.8	136	30.0
	40～44歳	858	81	9.4	0	0.0	400	46.6	76	8.9	301	35.1
	45～49歳	994	71	7.1	0	0.0	435	43.8	142	14.3	346	34.8
	50～54歳	1,133	66	5.8	0	0.0	444	39.2	254	22.4	369	32.6
	55～59歳	1,244	35	2.8	0	0.0	448	36.0	303	24.4	458	36.8
	60～64歳	1,727	44	2.5	0	0.0	507	29.4	596	34.5	580	33.6
	65～69歳	3,699	34	0.9	0	0.0	862	23.3	1,495	40.4	1,308	35.4
	70～74歳	6,093	50	0.8	0	0.0	1,147	18.8	2,687	44.1	2,209	36.3
	75～79歳	5,479	44	0.8	0	0.0	907	16.6	2,613	47.7	1,915	35.0
	80歳以上	3,901	23	0.6	0	0.0	515	13.2	1,681	43.1	1,682	43.1
女 性	小 計	26,020	605	2.3	0	0.0	6,110	23.5	9,895	38.0	9,410	36.2
	～19歳	4	2	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	50.0
	20～24歳	64	32	50.0	0	0.0	19	29.7	2	3.1	11	17.2
	25～29歳	184	78	42.4	0	0.0	79	42.9	5	2.7	22	12.0
	30～34歳	468	199	42.5	0	0.0	196	41.9	17	3.6	56	12.0
	35～39歳	841	269	32.0	0	0.0	412	49.0	47	5.6	113	13.4
	40～44歳	1,514	490	32.4	0	0.0	661	43.7	95	6.3	268	17.7
	45～49歳	1,734	387	22.3	0	0.0	803	46.3	193	11.1	351	20.2
	50～54歳	1,875	227	12.1	0	0.0	925	49.3	312	16.6	411	21.9
	55～59歳	2,254	145	6.4	0	0.0	1,022	45.3	569	25.2	518	23.0
	60～64歳	3,372	152	4.5	0	0.0	1,300	38.6	1,145	34.0	775	23.0
	65～69歳	5,723	132	2.3	0	0.0	1,864	32.6	2,234	39.0	1,493	26.1
	70～74歳	8,280	124	1.5	0	0.0	2,092	25.3	3,810	46.0	2,254	27.2
	75～79歳	6,760	52	0.8	0	0.0	1,391	20.6	3,425	50.7	1,892	28.0
	80歳以上	4,362	19	0.4	0	0.0	654	15.0	1,975	45.3	1,714	39.3
総 数	小 計	37,435	2,308	6.2	0	0.0	11,418	30.5	13,829	36.9	9,880	26.4
	～19歳	11	5	45.5	0	0.0	2	18.2	0	0.0	4	36.4
	20～24歳	129	52	40.3	0	0.0	47	36.4	2	1.6	28	21.7
	25～29歳	293	103	35.2	0	0.0	135	46.1	8	2.7	47	16.0
	30～34歳	725	251	34.6	0	0.0	325	44.8	31	4.3	118	16.3
	35～39歳	1,295	326	25.2	0	0.0	642	49.6	78	6.0	249	19.2
	40～44歳	2,372	571	24.1	0	0.0	1,061	44.7	171	7.2	569	24.0
	45～49歳	2,728	458	16.8	0	0.0	1,238	45.4	335	12.3	697	25.5
	50～54歳	3,008	293	9.7	0	0.0	1,369	45.5	566	18.8	780	25.9
	55～59歳	3,498	180	5.1	0	0.0	1,470	42.0	872	24.9	976	27.9
	60～64歳	5,099	196	3.8	0	0.0	1,807	35.4	1,741	34.1	1,355	26.6
	65～69歳	9,422	166	1.8	0	0.0	2,726	28.9	3,729	39.6	2,801	29.7
	70～74歳	14,373	174	1.2	0	0.0	3,239	22.5	6,497	45.2	4,463	31.1
	75～79歳	12,239	96	0.8	0	0.0	2,298	18.8	6,038	49.3	3,807	31.1
	80歳以上	8,263	42	0.5	0	0.0	1,169	14.1	3,656	44.2	3,396	41.1
	合 計	63,455	2,913	4.6	0	0.0	17,528	27.6	23,724	37.4	19,290	30.4

実施状況

市町村の特定健診・後期高齢者健診・一般健康診査のなかで、63,455人に総合判定を行った。

男女別では、男性26,020人（41.0%）女性37,435人（59.0%）であった。

また、年齢階級でみると、70～74歳が最も高く、次いで、75～79歳、65～69歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）4.6%、要指導27.6%、治療継続37.4%、要医療30.4%であった。

【特定健診等】メタボリック判定結果

令和6年度

		受診者数	判 定							
			非 該 当		予備群該当		基 準 該 当		判 定 不 能	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	7	7	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	65	54	83.1	5	7.7	2	3.1	4	6.2
	25～29歳	109	93	85.3	9	8.3	3	2.8	4	3.7
	30～34歳	257	187	72.8	35	13.6	22	8.6	13	5.1
	35～39歳	454	311	68.5	72	15.9	40	8.8	31	6.8
	40～44歳	857	581	67.8	140	16.3	136	15.9	0	0.0
	45～49歳	993	608	61.2	235	23.7	150	15.1	0	0.0
	50～54歳	1,132	643	56.8	227	20.1	261	23.1	1	0.1
	55～59歳	1,243	682	54.9	234	18.8	326	26.2	1	0.1
	60～64歳	1,726	903	52.3	318	18.4	505	29.3	0	0.0
	65～69歳	3,697	1,888	51.1	661	17.9	1,119	30.3	29	0.8
	70～74歳	6,091	3,175	52.1	1,022	16.8	1,853	30.4	41	0.7
	75～79歳	5,331	1,611	30.2	522	9.8	884	16.6	2,314	43.4
	80歳以上	3,791	1,188	31.3	331	8.7	431	11.4	1,841	48.6
小 計		25,753	11,931	46.3	3,811	14.8	5,732	22.3	4,279	16.6
女 性	～19歳	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	64	58	90.6	5	7.8	0	0.0	1	1.6
	25～29歳	184	171	92.9	4	2.2	2	1.1	7	3.8
	30～34歳	467	392	83.9	19	4.1	3	0.6	53	11.3
	35～39歳	841	731	86.9	36	4.3	14	1.7	60	7.1
	40～44歳	1,514	1,400	92.5	67	4.4	45	3.0	2	0.1
	45～49歳	1,734	1,579	91.1	101	5.8	53	3.1	1	0.1
	50～54歳	1,875	1,636	87.3	133	7.1	104	5.5	2	0.1
	55～59歳	2,253	1,979	87.8	135	6.0	138	6.1	1	0.0
	60～64歳	3,370	2,893	85.8	194	5.8	282	8.4	1	0.0
	65～69歳	5,715	4,877	85.3	318	5.6	497	8.7	23	0.4
	70～74歳	8,277	7,000	84.6	443	5.4	793	9.6	41	0.5
	75～79歳	6,581	3,405	51.7	180	2.7	380	5.8	2,616	39.8
	80歳以上	4,219	1,890	44.8	121	2.9	230	5.5	1,978	46.9
小 計		37,098	28,015	75.5	1,756	4.7	2,541	6.8	4,786	12.9
総 数	～19歳	11	11	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	129	112	86.8	10	7.8	2	1.6	5	3.9
	25～29歳	293	264	90.1	13	4.4	5	1.7	11	3.8
	30～34歳	724	579	80.0	54	7.5	25	3.5	66	9.1
	35～39歳	1,295	1,042	80.5	108	8.3	54	4.2	91	7.0
	40～44歳	2,371	1,981	83.6	207	8.7	181	7.6	2	0.1
	45～49歳	2,727	2,187	80.2	336	12.3	203	7.4	1	0.0
	50～54歳	3,007	2,279	75.8	360	12.0	365	12.1	3	0.1
	55～59歳	3,496	2,661	76.1	369	10.6	464	13.3	2	0.1
	60～64歳	5,096	3,796	74.5	512	10.0	787	15.4	1	0.0
	65～69歳	9,412	6,765	71.9	979	10.4	1,616	17.2	52	0.6
	70～74歳	14,368	10,175	70.8	1,465	10.2	2,646	18.4	82	0.6
	75～79歳	11,912	5,016	42.1	702	5.9	1,264	10.6	4,930	41.4
	80歳以上	8,010	3,078	38.4	452	5.6	661	8.3	3,819	47.7
合 計		62,851	39,946	63.6	5,567	8.9	8,273	13.2	9,065	14.4

メタボリックシンドローム判定結果

市町村の特定健診・後期高齢者健診・一般健康診査のなかで、62,851人にメタボリックシンドローム判定を行った。

男女別では、男性25,753人（41.0%）女性37,098人（59.0%）であった。

また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、75～79歳、65～69歳の順であった。

判定結果

腹囲条件該当者で血糖、糖尿、脂質検査項目のいずれか1項目が該当する予備軍該当者が8.9%、いずれか2項目以上が該当する基準該当が13.2%非該当は63.6%であった。

腹囲未実施など、判定条件をみたまず判定不能となったものが14.4%あった。

男性では予備軍該当が14.8%、基準該当が22.3%、非該当が46.3%であり、女性では予備軍該当が4.7%、基準該当が6.8%、非該当が75.5%であった。

【特定健診等】腹囲測定結果

令和6年度

		受診者数	判 定			
			男性 85cm未満、女性 90cm未満		男性 85cm以上、女性 90cm以上	
			(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	7	6	85.7	1	14.3
	20～24歳	61	44	72.1	17	27.9
	25～29歳	105	73	69.5	32	30.5
	30～34歳	244	155	63.5	89	36.5
	35～39歳	423	233	55.1	190	44.9
	40～44歳	857	445	51.9	412	48.1
	45～49歳	993	489	49.2	504	50.8
	50～54歳	1,131	524	46.3	607	53.7
	55～59歳	1,242	572	46.1	670	53.9
	60～64歳	1,726	796	46.1	930	53.9
	65～69歳	3,668	1,718	46.8	1,950	53.2
	70～74歳	6,050	2,962	49.0	3,088	51.0
	75～79歳	3,017	1,518	50.3	1,499	49.7
	80歳以上	1,950	1,149	58.9	801	41.1
	小 計	21,474	10,684	49.8	10,790	50.2
女 性	～19歳	4	4	100.0	0	0.0
	20～24歳	63	58	92.1	5	7.9
	25～29歳	177	162	91.5	15	8.5
	30～34歳	414	364	87.9	50	12.1
	35～39歳	781	689	88.2	92	11.8
	40～44歳	1,512	1,318	87.2	194	12.8
	45～49歳	1,733	1,492	86.1	241	13.9
	50～54歳	1,873	1,556	83.1	317	16.9
	55～59歳	2,252	1,895	84.1	357	15.9
	60～64歳	3,369	2,819	83.7	550	16.3
	65～69歳	5,692	4,792	84.2	900	15.8
	70～74歳	8,236	6,913	83.9	1,323	16.1
	75～79歳	3,965	3,374	85.1	591	14.9
	80歳以上	2,241	1,878	83.8	363	16.2
	小 計	32,312	27,314	84.5	4,998	15.5
総 数	～19歳	11	10	90.9	1	9.1
	20～24歳	124	102	82.3	22	17.7
	25～29歳	282	235	83.3	47	16.7
	30～34歳	658	519	78.9	139	21.1
	35～39歳	1,204	922	76.6	282	23.4
	40～44歳	2,369	1,763	74.4	606	25.6
	45～49歳	2,726	1,981	72.7	745	27.3
	50～54歳	3,004	2,080	69.2	924	30.8
	55～59歳	3,494	2,467	70.6	1,027	29.4
	60～64歳	5,095	3,615	71.0	1,480	29.0
	65～69歳	9,360	6,510	69.6	2,850	30.4
	70～74歳	14,286	9,875	69.1	4,411	30.9
	75～79歳	6,982	4,892	70.1	2,090	29.9
	80歳以上	4,191	3,027	72.2	1,164	27.8
	合 計	53,786	37,998	70.6	15,788	29.4

実施状況

市町村の特定健診・後期高齢者健診・一般健康診査のなかで、53,786人に腹囲測定を行った。
男女別では、男性21,474人（39.9％）女性32,312人（60.1％）であった。
また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、65～69歳、75～79歳の順であった。

判定結果

男性の腹囲85cm未満は49.8％、85cm以上は50.2％、女性の腹囲90cm未満は84.5％、90cm以上は15.5％であった。

【特定健診等】血圧測定結果

令和6年度

		受診者数	判				定			
			異常なし		要 指 導		治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	7	6	85.7	1	14.3	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	65	57	87.7	8	12.3	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	109	87	79.8	19	17.4	2	1.8	1	0.9
	30～34歳	257	194	75.5	50	19.5	5	1.9	8	3.1
	35～39歳	454	347	76.4	75	16.5	14	3.1	18	4.0
	40～44歳	857	570	66.5	200	23.3	50	5.8	37	4.3
	45～49歳	993	598	60.2	247	24.9	95	9.6	53	5.3
	50～54歳	1,132	601	53.1	276	24.4	207	18.3	48	4.2
	55～59歳	1,243	539	43.4	321	25.8	318	25.6	65	5.2
	60～64歳	1,726	593	34.4	472	27.3	575	33.3	86	5.0
	65～69歳	3,697	1,002	27.1	927	25.1	1,588	43.0	180	4.9
	70～74歳	6,091	1,370	22.5	1,474	24.2	2,947	48.4	300	4.9
	75～79歳	5,479	1,000	18.3	1,204	22.0	3,026	55.2	249	4.5
	80歳以上	3,901	593	15.2	779	20.0	2,314	59.3	215	5.5
小 計		26,011	7,557	29.1	6,053	23.3	11,141	42.8	1,260	4.8
女 性	～19歳	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	64	56	87.5	8	12.5	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	184	175	95.1	8	4.3	0	0.0	1	0.5
	30～34歳	467	429	91.9	35	7.5	2	0.4	1	0.2
	35～39歳	841	733	87.2	95	11.3	10	1.2	3	0.4
	40～44歳	1,514	1,284	84.8	161	10.6	38	2.5	31	2.0
	45～49歳	1,734	1,328	76.6	256	14.8	103	5.9	47	2.7
	50～54歳	1,875	1,235	65.9	378	20.2	203	10.8	59	3.1
	55～59歳	2,253	1,322	58.7	496	22.0	364	16.2	71	3.2
	60～64歳	3,370	1,673	49.6	825	24.5	750	22.3	122	3.6
	65～69歳	5,716	2,307	40.4	1,515	26.5	1,642	28.7	252	4.4
	70～74歳	8,280	2,612	31.5	2,185	26.4	3,086	37.3	397	4.8
	75～79歳	6,760	1,606	23.8	1,703	25.2	3,131	46.3	320	4.7
	80歳以上	4,362	753	17.3	949	21.8	2,417	55.4	243	5.6
小 計		37,424	15,517	41.5	8,614	23.0	11,746	31.4	1,547	4.1
総 数	～19歳	11	10	90.9	1	9.1	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	129	113	87.6	16	12.4	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	293	262	89.4	27	9.2	2	0.7	2	0.7
	30～34歳	724	623	86.0	85	11.7	7	1.0	9	1.2
	35～39歳	1,295	1,080	83.4	170	13.1	24	1.9	21	1.6
	40～44歳	2,371	1,854	78.2	361	15.2	88	3.7	68	2.9
	45～49歳	2,727	1,926	70.6	503	18.4	198	7.3	100	3.7
	50～54歳	3,007	1,836	61.1	654	21.7	410	13.6	107	3.6
	55～59歳	3,496	1,861	53.2	817	23.4	682	19.5	136	3.9
	60～64歳	5,096	2,266	44.5	1,297	25.5	1,325	26.0	208	4.1
	65～69歳	9,413	3,309	35.2	2,442	25.9	3,230	34.3	432	4.6
	70～74歳	14,371	3,982	27.7	3,659	25.5	6,033	42.0	697	4.9
	75～79歳	12,239	2,606	21.3	2,907	23.8	6,157	50.3	569	4.6
	80歳以上	8,263	1,346	16.3	1,728	20.9	4,731	57.3	458	5.5
合 計		63,435	23,074	36.4	14,667	23.1	22,887	36.1	2,807	4.4

実施状況

市町村の特定健診・後期高齢者健診・一般健康診査のなかで、63,435人に血圧測定を行った。
男女別では、男性26,011人（41.0%）女性37,424人（59.0%）であった。
また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、75～79歳、65～69歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）36.4%、要指導23.1%、治療継続36.1%、要医療4.4%であった。

【特定健診等】血中脂質検査結果

令和6年度

		受診者数	判定							
			異常なし		要指導		治療継続		要医療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男性	～19歳	7	7	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	65	44	67.7	20	30.8	0	0.0	1	1.5
	25～29歳	109	65	59.6	41	37.6	0	0.0	3	2.8
	30～34歳	257	129	50.2	116	45.1	6	2.3	6	2.3
	35～39歳	454	190	41.9	227	50.0	19	4.2	18	4.0
	40～44歳	858	265	30.9	501	58.4	50	5.8	42	4.9
	45～49歳	994	326	32.8	527	53.0	80	8.0	61	6.1
	50～54歳	1,133	342	30.2	569	50.2	166	14.7	56	4.9
	55～59歳	1,244	348	28.0	624	50.2	206	16.6	66	5.3
	60～64歳	1,727	478	27.7	799	46.3	385	22.3	65	3.8
	65～69歳	3,699	974	26.3	1,575	42.6	1,048	28.3	102	2.8
	70～74歳	6,093	1,751	28.7	2,435	40.0	1,788	29.3	119	2.0
	75～79歳	5,479	1,798	32.8	1,914	34.9	1,691	30.9	76	1.4
	80歳以上	3,901	1,544	39.6	1,228	31.5	1,083	27.8	46	1.2
小計		26,020	8,261	31.7	10,576	40.6	6,522	25.1	661	2.5
女性	～19歳	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	64	48	75.0	15	23.4	0	0.0	1	1.6
	25～29歳	184	132	71.7	50	27.2	0	0.0	2	1.1
	30～34歳	468	333	71.2	129	27.6	5	1.1	1	0.2
	35～39歳	841	540	64.2	289	34.4	3	0.4	9	1.1
	40～44歳	1,514	954	63.0	503	33.2	36	2.4	21	1.4
	45～49歳	1,734	916	52.8	703	40.5	81	4.7	34	2.0
	50～54歳	1,875	711	37.9	926	49.4	156	8.3	82	4.4
	55～59歳	2,254	599	26.6	1,143	50.7	373	16.5	139	6.2
	60～64歳	3,372	751	22.3	1,609	47.7	815	24.2	197	5.8
	65～69歳	5,723	1,113	19.4	2,636	46.1	1,731	30.2	243	4.2
	70～74歳	8,280	1,551	18.7	3,469	41.9	2,987	36.1	273	3.3
	75～79歳	6,760	1,371	20.3	2,465	36.5	2,760	40.8	164	2.4
	80歳以上	4,362	1,106	25.4	1,439	33.0	1,705	39.1	112	2.6
小計		37,435	10,129	27.1	15,376	41.1	10,652	28.5	1,278	3.4
総数	～19歳	11	11	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	129	92	71.3	35	27.1	0	0.0	2	1.6
	25～29歳	293	197	67.2	91	31.1	0	0.0	5	1.7
	30～34歳	725	462	63.7	245	33.8	11	1.5	7	1.0
	35～39歳	1,295	730	56.4	516	39.8	22	1.7	27	2.1
	40～44歳	2,372	1,219	51.4	1,004	42.3	86	3.6	63	2.7
	45～49歳	2,728	1,242	45.5	1,230	45.1	161	5.9	95	3.5
	50～54歳	3,008	1,053	35.0	1,495	49.7	322	10.7	138	4.6
	55～59歳	3,498	947	27.1	1,767	50.5	579	16.6	205	5.9
	60～64歳	5,099	1,229	24.1	2,408	47.2	1,200	23.5	262	5.1
	65～69歳	9,422	2,087	22.2	4,211	44.7	2,779	29.5	345	3.7
	70～74歳	14,373	3,302	23.0	5,904	41.1	4,775	33.2	392	2.7
	75～79歳	12,239	3,169	25.9	4,379	35.8	4,451	36.4	240	2.0
	80歳以上	8,263	2,650	32.1	2,667	32.3	2,788	33.7	158	1.9
合計		63,455	18,390	29.0	25,952	40.9	17,174	27.1	1,939	3.1

実施状況

市町村の特定健診・後期高齢者健診・一般健康診査のなかで、63,455人に血中脂質検査を行った。
男女別では、男性26,020人（41.0%）女性37,435人（59.0%）であった。
また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、75～79歳、65～69歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）29.0%、要指導40.9%、治療継続27.1%、要医療3.1%であった。

【特定健診等】糖代謝検査結果

令和6年度

		受診者数	判 定				定			
			異常なし		要 指 導		治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	7	7	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	65	59	90.8	5	7.7	1	1.5	0	0.0
	25～29歳	109	94	86.2	15	13.8	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	257	201	78.2	53	20.6	3	1.2	0	0.0
	35～39歳	454	345	76.0	96	21.1	11	2.4	2	0.4
	40～44歳	858	595	69.3	219	25.5	24	2.8	20	2.3
	45～49歳	994	608	61.2	327	32.9	40	4.0	19	1.9
	50～54歳	1,133	632	55.8	379	33.5	85	7.5	37	3.3
	55～59歳	1,244	577	46.4	493	39.6	117	9.4	57	4.6
	60～64歳	1,727	764	44.2	691	40.0	198	11.5	74	4.3
	65～69歳	3,699	1,473	39.8	1,539	41.6	519	14.0	168	4.5
	70～74歳	6,093	2,197	36.1	2,583	42.4	996	16.3	317	5.2
	75～79歳	5,479	1,881	34.3	2,348	42.9	959	17.5	291	5.3
	80歳以上	3,901	1,321	33.9	1,748	44.8	627	16.1	205	5.3
小 計		26,020	10,754	41.3	10,496	40.3	3,580	13.8	1,190	4.6
女 性	～19歳	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	64	58	90.6	5	7.8	0	0.0	1	1.6
	25～29歳	184	174	94.6	9	4.9	0	0.0	1	0.5
	30～34歳	468	426	91.0	35	7.5	5	1.1	2	0.4
	35～39歳	841	698	83.0	131	15.6	9	1.1	3	0.4
	40～44歳	1,514	1,242	82.0	247	16.3	19	1.3	6	0.4
	45～49歳	1,734	1,326	76.5	375	21.6	23	1.3	10	0.6
	50～54歳	1,875	1,248	66.6	561	29.9	48	2.6	18	1.0
	55～59歳	2,254	1,406	62.4	743	33.0	76	3.4	29	1.3
	60～64歳	3,372	1,883	55.8	1,266	37.5	160	4.7	63	1.9
	65～69歳	5,723	2,933	51.2	2,341	40.9	347	6.1	102	1.8
	70～74歳	8,280	3,788	45.7	3,676	44.4	608	7.3	208	2.5
	75～79歳	6,760	2,781	41.1	3,206	47.4	584	8.6	189	2.8
	80歳以上	4,362	1,706	39.1	2,060	47.2	393	9.0	203	4.7
小 計		37,435	19,673	52.6	14,655	39.1	2,272	6.1	835	2.2
総 数	～19歳	11	11	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	129	117	90.7	10	7.8	1	0.8	1	0.8
	25～29歳	293	268	91.5	24	8.2	0	0.0	1	0.3
	30～34歳	725	627	86.5	88	12.1	8	1.1	2	0.3
	35～39歳	1,295	1,043	80.5	227	17.5	20	1.5	5	0.4
	40～44歳	2,372	1,837	77.4	466	19.6	43	1.8	26	1.1
	45～49歳	2,728	1,934	70.9	702	25.7	63	2.3	29	1.1
	50～54歳	3,008	1,880	62.5	940	31.3	133	4.4	55	1.8
	55～59歳	3,498	1,983	56.7	1,236	35.3	193	5.5	86	2.5
	60～64歳	5,099	2,647	51.9	1,957	38.4	358	7.0	137	2.7
	65～69歳	9,422	4,406	46.8	3,880	41.2	866	9.2	270	2.9
	70～74歳	14,373	5,985	41.6	6,259	43.5	1,604	11.2	525	3.7
	75～79歳	12,239	4,662	38.1	5,554	45.4	1,543	12.6	480	3.9
	80歳以上	8,263	3,027	36.6	3,808	46.1	1,020	12.3	408	4.9
合 計		63,455	30,427	48.0	25,151	39.6	5,852	9.2	2,025	3.2

実施状況

市町村の特定健診・後期高齢者健診・一般健康診査のなかで、63,455人に糖代謝検査を行った。
男女別では、男性26,020人（41.0%）女性37,435人（59.0%）であった。
また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、75～79歳、65～69歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）48.0%、要指導39.6%、治療継続9.2%、要医療3.2%であった。

【特定健診等】尿検査（蛋白）結果

令和6年度

		受診者数	判定							
			異常なし		要指導		治療継続		要医療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	7	7	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	65	63	96.9	2	3.1	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	109	106	97.2	3	2.8	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	257	250	97.3	5	1.9	0	0.0	2	0.8
	35～39歳	452	443	98.0	8	1.8	0	0.0	1	0.2
	40～44歳	855	840	98.2	15	1.8	0	0.0	0	0.0
	45～49歳	992	977	98.5	13	1.3	0	0.0	2	0.2
	50～54歳	1,132	1,104	97.5	25	2.2	0	0.0	3	0.3
	55～59歳	1,241	1,210	97.5	21	1.7	0	0.0	10	0.8
	60～64歳	1,724	1,674	97.1	33	1.9	0	0.0	17	1.0
	65～69歳	3,695	3,571	96.6	97	2.6	0	0.0	27	0.7
	70～74歳	6,088	5,831	95.8	164	2.7	0	0.0	93	1.5
	75～79歳	5,479	5,227	95.4	171	3.1	0	0.0	81	1.5
	80歳以上	3,898	3,703	95.0	123	3.2	0	0.0	72	1.8
小計		25,994	25,006	96.2	680	2.6	0	0.0	308	1.2
女 性	～19歳	4	2	50.0	1	25.0	0	0.0	1	25.0
	20～24歳	64	61	95.3	2	3.1	0	0.0	1	1.6
	25～29歳	184	183	99.5	1	0.5	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	464	454	97.8	7	1.5	0	0.0	3	0.6
	35～39歳	840	823	98.0	13	1.5	0	0.0	4	0.5
	40～44歳	1,509	1,477	97.9	27	1.8	0	0.0	5	0.3
	45～49歳	1,729	1,700	98.3	20	1.2	0	0.0	9	0.5
	50～54歳	1,872	1,849	98.8	15	0.8	0	0.0	8	0.4
	55～59歳	2,253	2,230	99.0	19	0.8	0	0.0	4	0.2
	60～64歳	3,370	3,342	99.2	25	0.7	0	0.0	3	0.1
	65～69歳	5,714	5,672	99.3	33	0.6	0	0.0	9	0.2
	70～74歳	8,277	8,207	99.2	58	0.7	0	0.0	12	0.1
	75～79歳	6,754	6,689	99.0	52	0.8	0	0.0	13	0.2
	80歳以上	4,360	4,261	97.7	74	1.7	0	0.0	25	0.6
小計		37,394	36,950	94.9	347	0.9	0	0.0	97	0.3
総 数	～19歳	11	9	81.8	1	9.1	0	0.0	1	9.1
	20～24歳	129	124	96.1	4	3.1	0	0.0	1	0.8
	25～29歳	293	289	98.6	4	1.4	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	721	704	97.6	12	1.7	0	0.0	5	0.7
	35～39歳	1,292	1,266	98.0	21	1.6	0	0.0	5	0.4
	40～44歳	2,364	2,317	98.0	42	1.8	0	0.0	5	0.2
	45～49歳	2,721	2,677	98.4	33	1.2	0	0.0	11	0.4
	50～54歳	3,004	2,953	98.3	40	1.3	0	0.0	11	0.4
	55～59歳	3,494	3,440	98.5	40	1.1	0	0.0	14	0.4
	60～64歳	5,094	5,016	98.5	58	1.1	0	0.0	20	0.4
	65～69歳	9,409	9,243	98.2	130	1.4	0	0.0	36	0.4
	70～74歳	14,365	14,038	97.7	222	1.5	0	0.0	105	0.7
	75～79歳	12,233	11,916	97.4	223	1.8	0	0.0	94	0.8
	80歳以上	8,258	7,964	96.4	197	2.4	0	0.0	97	1.2
合計		63,388	61,956	97.7	1,027	1.6	0	0.0	405	0.6

実施状況

市町村の特定健診・後期高齢者健診・一般健康診査のなかで、63,388人に尿蛋白検査を行った。
男女別では、男性25,994人（41.0%）女性37,394人（59.0%）であった。
また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、75～79歳、65～69歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）97.7%、要指導1.6%、要医療0.6%であった。

【特定健診等】尿検査（糖）結果

令和6年度

		受診者数	判 定					
			異常なし		要 指 導		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	7	7	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	65	64	98.5	0	0.0	1	1.5
	25～29歳	109	109	100.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	257	254	98.8	0	0.0	3	1.2
	35～39歳	452	443	98.0	0	0.0	9	2.0
	40～44歳	855	828	96.8	0	0.0	27	3.2
	45～49歳	992	951	95.9	0	0.0	41	4.1
	50～54歳	1,132	1,066	94.2	0	0.0	66	5.8
	55～59歳	1,241	1,117	90.0	0	0.0	124	10.0
	60～64歳	1,724	1,559	90.4	0	0.0	165	9.6
	65～69歳	3,695	3,278	88.7	0	0.0	417	11.3
	70～74歳	6,088	5,392	88.6	0	0.0	696	11.4
	75～79歳	5,479	4,862	88.7	1	0.0	616	11.2
	80歳以上	3,898	3,434	88.1	1	0.0	463	11.9
小 計		25,994	23,364	89.9	2	0.0	2,628	10.1
女 性	～19歳	4	4	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	64	64	100.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	184	183	99.5	0	0.0	1	0.5
	30～34歳	464	463	99.8	0	0.0	1	0.2
	35～39歳	840	833	99.2	0	0.0	7	0.8
	40～44歳	1,509	1,495	99.1	0	0.0	14	0.9
	45～49歳	1,729	1,706	98.7	0	0.0	23	1.3
	50～54歳	1,872	1,837	98.1	0	0.0	35	1.9
	55～59歳	2,253	2,206	97.9	0	0.0	47	2.1
	60～64歳	3,370	3,283	97.4	0	0.0	87	2.6
	65～69歳	5,714	5,539	96.9	0	0.0	175	3.1
	70～74歳	8,277	7,979	96.4	0	0.0	298	3.6
	75～79歳	6,754	6,510	96.4	0	0.0	244	3.6
	80歳以上	4,360	4,168	95.6	0	0.0	192	4.4
小 計		37,394	36,270	97.0	0	0.0	1,124	3.0
総 数	～19歳	11	11	100.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	129	128	99.2	0	0.0	1	0.8
	25～29歳	293	292	99.7	0	0.0	1	0.3
	30～34歳	721	717	99.4	0	0.0	4	0.6
	35～39歳	1,292	1,276	98.8	0	0.0	16	1.2
	40～44歳	2,364	2,323	98.3	0	0.0	41	1.7
	45～49歳	2,721	2,657	97.6	0	0.0	64	2.4
	50～54歳	3,004	2,903	96.6	0	0.0	101	3.4
	55～59歳	3,494	3,323	95.1	0	0.0	171	4.9
	60～64歳	5,094	4,842	95.1	0	0.0	252	4.9
	65～69歳	9,409	8,817	93.7	0	0.0	592	6.3
	70～74歳	14,365	13,371	93.1	0	0.0	994	6.9
	75～79歳	12,233	11,372	93.0	1	0.0	860	7.0
	80歳以上	8,258	7,602	92.1	1	0.0	655	7.9
合 計		63,388	59,634	94.1	2	0.0	3,752	5.9

実施状況

市町村の特定健診・後期高齢者健診・一般健康診査のなかで、63,388人に尿糖検査を行った。
男女別では、男性25,994人（41.0%）女性37,394人（59.0%）であった。
また、年齢階級では、70～74歳が最も多く、次いで、75～79歳、65～69歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）94.1%、要医療5.9%であった。

【事業所健診】総合判定結果

令和6年度

		受診者数	判 定									
			異常なし		有 所 見		要 指 導		要 精 検		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	782	255	32.6	19	2.4	361	46.2	0	0.0	147	18.8
	20～24歳	2,007	549	27.4	62	3.1	1,017	50.7	4	0.2	375	18.7
	25～29歳	2,251	479	21.3	52	2.3	1,204	53.5	8	0.4	508	22.6
	30～34歳	2,010	321	16.0	63	3.1	1,102	54.8	4	0.2	520	25.9
	35～39歳	2,072	210	10.1	70	3.4	1,078	52.0	44	2.1	670	32.3
	40～44歳	2,451	150	6.1	78	3.2	1,215	49.6	98	4.0	910	37.1
	45～49歳	3,538	141	4.0	102	2.9	1,840	52.0	140	4.0	1,315	37.2
	50～54歳	4,180	118	2.8	104	2.5	2,200	52.6	176	4.2	1,582	37.8
	55～59歳	3,422	77	2.3	68	2.0	1,804	52.7	202	5.9	1,271	37.1
	60～64歳	2,567	60	2.3	50	1.9	1,350	52.6	157	6.1	950	37.0
	65～69歳	1,376	29	2.1	41	3.0	665	48.3	85	6.2	556	40.4
	70～74歳	806	15	1.9	14	1.7	358	44.4	72	8.9	347	43.1
	75～79歳	286	11	3.8	9	3.1	131	45.8	12	4.2	123	43.0
	80歳以上	100	7	7.0	1	1.0	37	37.0	2	2.0	53	53.0
小 計		27,848	2,422	8.7	733	2.6	14,362	51.6	1,004	3.6	9,327	33.5
女 性	～19歳	887	478	53.9	26	2.9	284	32.0	0	0.0	99	11.2
	20～24歳	1,696	773	45.6	56	3.3	664	39.2	5	0.3	198	11.7
	25～29歳	1,558	566	36.3	70	4.5	705	45.3	9	0.6	208	13.4
	30～34歳	1,353	398	29.4	50	3.7	695	51.4	10	0.7	200	14.8
	35～39歳	1,543	380	24.6	75	4.9	738	47.8	31	2.0	319	20.7
	40～44歳	2,323	361	15.5	113	4.9	1,190	51.2	65	2.8	594	25.6
	45～49歳	2,959	354	12.0	129	4.4	1,569	53.0	105	3.5	802	27.1
	50～54歳	3,388	290	8.6	116	3.4	1,908	56.3	109	3.2	965	28.5
	55～59歳	2,799	154	5.5	57	2.0	1,653	59.1	108	3.9	827	29.5
	60～64歳	2,135	112	5.2	59	2.8	1,245	58.3	84	3.9	635	29.7
	65～69歳	1,133	49	4.3	45	4.0	663	58.5	47	4.1	329	29.0
	70～74歳	578	21	3.6	16	2.8	329	56.9	28	4.8	184	31.8
	75～79歳	137	8	5.8	5	3.6	73	53.3	3	2.2	48	35.0
	80歳以上	192	5	2.6	6	3.1	56	29.2	1	0.5	124	64.6
小 計		22,681	3,949	17.4	823	3.6	11,772	51.9	605	2.7	5,532	24.4
総 数	～19歳	1,669	733	43.9	45	2.7	645	38.6	0	0.0	246	14.7
	20～24歳	3,703	1,322	35.7	118	3.2	1,681	45.4	9	0.2	573	15.5
	25～29歳	3,809	1,045	27.4	122	3.2	1,909	50.1	17	0.4	716	18.8
	30～34歳	3,363	719	21.4	113	3.4	1,797	53.4	14	0.4	720	21.4
	35～39歳	3,615	590	16.3	145	4.0	1,816	50.2	75	2.1	989	27.4
	40～44歳	4,774	511	10.7	191	4.0	2,405	50.4	163	3.4	1,504	31.5
	45～49歳	6,497	495	7.6	231	3.6	3,409	52.5	245	3.8	2,117	32.6
	50～54歳	7,568	408	5.4	220	2.9	4,108	54.3	285	3.8	2,547	33.7
	55～59歳	6,221	231	3.7	125	2.0	3,457	55.6	310	5.0	2,098	33.7
	60～64歳	4,702	172	3.7	109	2.3	2,595	55.2	241	5.1	1,585	33.7
	65～69歳	2,509	78	3.1	86	3.4	1,328	52.9	132	5.3	885	35.3
	70～74歳	1,384	36	2.6	30	2.2	687	49.6	100	7.2	531	38.4
	75～79歳	423	19	4.5	14	3.3	204	48.2	15	3.5	171	40.4
	80歳以上	292	12	4.1	7	2.4	93	31.8	3	1.0	177	60.6
合 計		50,529	6,371	12.6	1,556	3.1	26,134	51.7	1,609	3.2	14,859	29.4

実施状況

事業所健診のなかで、50,529人に総合判定を行った。

男女別では、男性27,848人（55.1%）女性22,681人（44.9%）であった。

また、年齢階級では、50～54歳が最も多く、次いで、45～49歳、55～59歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）12.6%、有所見3.1%、要指導51.7%、要精検3.2%、要医療29.4%であった。

【事業所健診】 診察結果

令和6年度

		受診者数	判定							
			異常なし		有所見		治療継続		要医療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	223	218	97.8	3	1.3	2	0.9	0	0.0
	20～24歳	1,113	1,097	98.6	10	0.9	5	0.4	1	0.1
	25～29歳	1,145	1,134	99.0	7	0.6	1	0.1	3	0.3
	30～34歳	1,232	1,223	99.3	5	0.4	1	0.1	3	0.2
	35～39歳	1,532	1,514	98.8	12	0.8	5	0.3	1	0.1
	40～44歳	1,861	1,845	99.1	9	0.5	4	0.2	3	0.2
	45～49歳	2,478	2,438	98.4	25	1.0	4	0.2	11	0.4
	50～54歳	2,742	2,692	98.2	27	1.0	12	0.4	11	0.4
	55～59歳	2,062	2,013	97.6	25	1.2	15	0.7	9	0.4
	60～64歳	1,764	1,702	96.5	29	1.6	25	1.4	8	0.5
	65～69歳	1,289	1,236	95.9	25	1.9	16	1.2	12	0.9
	70～74歳	786	721	91.7	28	3.6	25	3.2	12	1.5
	75～79歳	277	249	89.9	8	2.9	15	5.4	5	1.8
	80歳以上	94	80	85.1	6	6.4	8	8.5	0	0.0
小 計		18,598	18,162	97.7	219	1.2	138	0.7	79	0.4
女 性	～19歳	289	288	99.7	0	0.0	0	0.0	1	0.3
	20～24歳	1,189	1,169	98.3	12	1.0	4	0.3	4	0.3
	25～29歳	988	960	97.2	15	1.5	4	0.4	9	0.9
	30～34歳	929	916	98.6	10	1.1	2	0.2	1	0.1
	35～39歳	1,227	1,206	98.3	13	1.1	4	0.3	4	0.3
	40～44歳	1,941	1,877	96.7	47	2.4	6	0.3	11	0.6
	45～49歳	2,415	2,362	97.8	32	1.3	7	0.3	14	0.6
	50～54歳	2,788	2,693	96.6	57	2.0	17	0.6	21	0.8
	55～59歳	2,363	2,286	96.7	50	2.1	16	0.7	11	0.5
	60～64歳	1,900	1,832	96.4	37	1.9	20	1.1	11	0.6
	65～69歳	1,093	1,050	96.1	26	2.4	4	0.4	13	1.2
	70～74歳	573	539	94.1	16	2.8	11	1.9	7	1.2
	75～79歳	133	121	91.0	8	6.0	3	2.3	1	0.8
	80歳以上	181	140	77.3	23	12.7	18	9.9	0	0.0
小 計		18,009	17,439	96.8	346	1.9	116	0.6	108	0.6
総 数	～19歳	512	506	98.8	3	0.6	2	0.4	1	0.2
	20～24歳	2,302	2,266	98.4	22	1.0	9	0.4	5	0.2
	25～29歳	2,133	2,094	98.2	22	1.0	5	0.2	12	0.6
	30～34歳	2,161	2,139	99.0	15	0.7	3	0.1	4	0.2
	35～39歳	2,759	2,720	98.6	25	0.9	9	0.3	5	0.2
	40～44歳	3,802	3,722	97.9	56	1.5	10	0.3	14	0.4
	45～49歳	4,893	4,800	98.1	57	1.2	11	0.2	25	0.5
	50～54歳	5,530	5,385	97.4	84	1.5	29	0.5	32	0.6
	55～59歳	4,425	4,299	97.2	75	1.7	31	0.7	20	0.5
	60～64歳	3,664	3,534	96.5	66	1.8	45	1.2	19	0.5
	65～69歳	2,382	2,286	96.0	51	2.1	20	0.8	25	1.0
	70～74歳	1,359	1,260	92.7	44	3.2	36	2.6	19	1.4
	75～79歳	410	370	90.2	16	3.9	18	4.4	6	1.5
	80歳以上	275	220	80.0	29	10.5	26	9.5	0	0.0
合 計		36,607	35,601	97.3	565	1.5	254	0.7	187	0.5

実施状況

事業所健診のなかで、36,607人に診察を行った。

男女別では、男性18,598人（50.8%）女性18,009人（49.2%）であった。

また、年齢階級では、50～54歳が最も多く、次いで、45～49歳、55～59歳の順であった。

判定結果

他覚所見が認められない異常なし（精検不要が）97.3%、他覚所見が認められたもののうち、変化がなければ次回健診まで様子を見ていいもの（有所見）1.5%、治療継続0.7%、要医療0.5%であった。

【事業所健診】 血圧測定結果

令和6年度

		受診者数	判		定		定		定	
			異常なし		要 指 導		治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	777	487	62.7	282	36.3	0	0.0	8	1.0
	20～24歳	2,478	1,661	67.0	786	31.7	5	0.2	26	1.0
	25～29歳	2,254	1,643	72.9	564	25.0	16	0.7	31	1.4
	30～34歳	2,000	1,416	70.8	507	25.4	33	1.7	44	2.2
	35～39歳	2,054	1,372	66.8	539	26.2	67	3.3	76	3.7
	40～44歳	2,432	1,450	59.6	690	28.4	173	7.1	119	4.9
	45～49歳	3,518	1,750	49.7	1,046	29.7	487	13.8	235	6.7
	50～54歳	4,150	1,666	40.1	1,324	31.9	876	21.1	284	6.8
	55～59歳	3,412	1,091	32.0	996	29.2	1,051	30.8	274	8.0
	60～64歳	2,554	685	26.8	680	26.6	1,009	39.5	180	7.0
	65～69歳	1,364	277	20.3	350	25.7	638	46.8	99	7.3
	70～74歳	801	145	18.1	187	23.3	417	52.1	52	6.5
	75～79歳	278	33	11.9	48	17.3	175	62.9	22	7.9
	80歳以上	94	13	13.8	20	21.3	55	58.5	6	6.4
小 計		28,166	13,689	48.6	8,019	28.5	5,002	17.8	1,456	5.2
女 性	～19歳	882	775	87.9	107	12.1	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	2,246	2,024	90.1	213	9.5	1	0.0	8	0.4
	25～29歳	1,564	1,430	91.4	120	7.7	2	0.1	12	0.8
	30～34歳	1,344	1,191	88.6	126	9.4	9	0.7	18	1.3
	35～39歳	1,535	1,294	84.3	193	12.6	25	1.6	23	1.5
	40～44歳	2,320	1,862	80.3	339	14.6	58	2.5	61	2.6
	45～49歳	2,954	2,122	71.8	521	17.6	199	6.7	112	3.8
	50～54歳	3,381	2,064	61.0	777	23.0	407	12.0	133	3.9
	55～59歳	2,796	1,480	52.9	650	23.2	551	19.7	115	4.1
	60～64歳	2,131	1,006	47.2	521	24.4	510	23.9	94	4.4
	65～69歳	1,132	473	41.8	291	25.7	306	27.0	62	5.5
	70～74歳	575	166	28.9	150	26.1	220	38.3	39	6.8
	75～79歳	134	27	20.1	37	27.6	65	48.5	5	3.7
	80歳以上	181	24	13.3	26	14.4	119	65.7	12	6.6
小 計		23,175	15,938	68.8	4,071	17.6	2,472	10.7	694	3.0
総 数	～19歳	1,659	1,262	76.1	389	23.4	0	0.0	8	0.5
	20～24歳	4,724	3,685	78.0	999	21.1	6	0.1	34	0.7
	25～29歳	3,818	3,073	80.5	684	17.9	18	0.5	43	1.1
	30～34歳	3,344	2,607	78.0	633	18.9	42	1.3	62	1.9
	35～39歳	3,589	2,666	74.3	732	20.4	92	2.6	99	2.8
	40～44歳	4,752	3,312	69.7	1,029	21.7	231	4.9	180	3.8
	45～49歳	6,472	3,872	59.8	1,567	24.2	686	10.6	347	5.4
	50～54歳	7,531	3,730	49.5	2,101	27.9	1,283	17.0	417	5.5
	55～59歳	6,208	2,571	41.4	1,646	26.5	1,602	25.8	389	6.3
	60～64歳	4,685	1,691	36.1	1,201	25.6	1,519	32.4	274	5.8
	65～69歳	2,496	750	30.0	641	25.7	944	37.8	161	6.5
	70～74歳	1,376	311	22.6	337	24.5	637	46.3	91	6.6
	75～79歳	412	60	14.6	85	20.6	240	58.3	27	6.6
	80歳以上	275	37	13.5	46	16.7	174	63.3	18	6.5
合 計		51,341	29,627	57.7	12,090	23.5	7,474	14.6	2,150	4.2

実施状況

事業所健診のなかで、51,341人に血圧測定を行った。

男女別では、男性28,166人（54.9％）女性23,175人（45.1％）であった。

また、年齢階級では、50～54歳が最も多く、次いで、45～49歳、55～59歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）57.7％、要指導23.5％、治療継続14.6％、要医療4.2％であった。

【事業所健診】尿検査（蛋白）結果

令和6年度

		受診者数	判 定					
			異常なし		要 指 導		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	677	638	94.2	38	5.6	1	0.1
	20～24歳	3,123	3,025	96.9	86	2.8	12	0.4
	25～29歳	2,196	2,148	97.8	42	1.9	6	0.3
	30～34歳	1,970	1,914	97.2	43	2.2	13	0.7
	35～39歳	2,026	1,964	96.9	55	2.7	7	0.3
	40～44歳	2,405	2,351	97.8	43	1.8	11	0.5
	45～49歳	3,492	3,415	97.8	52	1.5	25	0.7
	50～54歳	4,124	4,031	97.7	67	1.6	26	0.6
	55～59歳	3,401	3,279	96.4	86	2.5	36	1.1
	60～64歳	2,536	2,425	95.6	80	3.2	31	1.2
	65～69歳	1,347	1,276	94.7	45	3.3	26	1.9
	70～74歳	786	731	93.0	41	5.2	14	1.8
	75～79歳	272	250	91.9	14	5.1	8	2.9
	80歳以上	76	71	93.4	4	5.3	1	1.3
小 計		28,431	27,518	96.8	696	2.4	217	0.8
女 性	～19歳	779	749	96.1	26	3.3	4	0.5
	20～24歳	3,009	2,907	96.6	89	3.0	13	0.4
	25～29歳	1,542	1,498	97.1	36	2.3	8	0.5
	30～34歳	1,328	1,298	97.7	20	1.5	10	0.8
	35～39歳	1,523	1,500	98.5	20	1.3	3	0.2
	40～44歳	2,304	2,258	98.0	38	1.6	8	0.3
	45～49歳	2,932	2,879	98.2	37	1.3	16	0.5
	50～54歳	3,366	3,321	98.7	37	1.1	8	0.2
	55～59歳	2,782	2,747	98.7	27	1.0	8	0.3
	60～64歳	2,127	2,104	98.9	17	0.8	6	0.3
	65～69歳	1,126	1,110	98.6	12	1.1	4	0.4
	70～74歳	571	562	98.4	7	1.2	2	0.4
	75～79歳	120	119	99.2	1	0.8	0	0.0
	80歳以上	114	100	87.7	8	7.0	6	5.3
小 計		23,623	23,152	98.0	375	1.6	96	0.4
総 数	～19歳	1,456	1,387	95.3	64	4.4	5	0.3
	20～24歳	6,132	5,932	96.7	175	2.9	25	0.4
	25～29歳	3,738	3,646	97.5	78	2.1	14	0.4
	30～34歳	3,298	3,212	97.4	63	1.9	23	0.7
	35～39歳	3,549	3,464	97.6	75	2.1	10	0.3
	40～44歳	4,709	4,609	97.9	81	1.7	19	0.4
	45～49歳	6,424	6,294	98.0	89	1.4	41	0.6
	50～54歳	7,490	7,352	98.2	104	1.4	34	0.5
	55～59歳	6,183	6,026	97.5	113	1.8	44	0.7
	60～64歳	4,663	4,529	97.1	97	2.1	37	0.8
	65～69歳	2,473	2,386	96.5	57	2.3	30	1.2
	70～74歳	1,357	1,293	95.3	48	3.5	16	1.2
	75～79歳	392	369	94.1	15	3.8	8	2.0
	80歳以上	190	171	90.0	12	6.3	7	3.7
合 計		52,054	50,670	97.3	1,071	2.1	313	0.6

実施状況

事業所健診のなかで、52,054人に尿蛋白検査を行った。

男女別では、男性28,431人（54.6%）女性23,623人（45.4%）であった。

また、年齢階級では、50～54歳が最も多く、次いで、45～49歳、55～59歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）97.3%、要指導2.1%、要医療0.6%であった。

【事業所健診】尿検査（糖）結果

令和6年度

		受診者数	判 定					
			異常なし		要 指 導		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	677	672	99.3	1	0.1	4	0.6
	20～24歳	3,123	3,099	99.2	2	0.1	22	0.7
	25～29歳	2,196	2,169	98.8	14	0.6	13	0.6
	30～34歳	1,970	1,928	97.9	8	0.4	34	1.7
	35～39歳	2,026	1,976	97.5	7	0.3	43	2.1
	40～44歳	2,405	2,295	95.4	17	0.7	93	3.9
	45～49歳	3,492	3,266	93.5	57	1.6	169	4.8
	50～54歳	4,124	3,789	91.9	93	2.3	242	5.9
	55～59歳	3,401	3,039	89.4	138	4.1	224	6.6
	60～64歳	2,536	2,230	87.9	89	3.5	217	8.6
	65～69歳	1,347	1,164	86.4	4	0.3	179	13.3
	70～74歳	786	670	85.2	4	0.5	112	14.2
	75～79歳	272	231	84.9	0	0.0	41	15.1
	80歳以上	76	63	82.9	0	0.0	13	17.1
	小 計	28,431	26,591	93.5	434	1.5	1,406	4.9
女 性	～19歳	779	773	99.2	0	0.0	6	0.8
	20～24歳	3,009	2,998	99.6	2	0.1	9	0.3
	25～29歳	1,542	1,535	99.5	0	0.0	7	0.5
	30～34歳	1,328	1,310	98.6	6	0.5	12	0.9
	35～39歳	1,523	1,500	98.5	3	0.2	20	1.3
	40～44歳	2,304	2,278	98.9	2	0.1	24	1.0
	45～49歳	2,932	2,879	98.2	10	0.3	43	1.5
	50～54歳	3,366	3,298	98.0	9	0.3	59	1.8
	55～59歳	2,782	2,683	96.4	22	0.8	77	2.8
	60～64歳	2,127	2,073	97.5	5	0.2	49	2.3
	65～69歳	1,126	1,088	96.6	2	0.2	36	3.2
	70～74歳	571	550	96.3	1	0.2	20	3.5
	75～79歳	120	114	95.0	0	0.0	6	5.0
	80歳以上	114	104	91.2	0	0.0	10	8.8
	小 計	23,623	23,183	98.1	62	0.3	378	1.6
総 数	～19歳	1,456	1,445	99.2	1	0.1	10	0.7
	20～24歳	6,132	6,097	99.4	4	0.1	31	0.5
	25～29歳	3,738	3,704	99.1	14	0.4	20	0.5
	30～34歳	3,298	3,238	98.2	14	0.4	46	1.4
	35～39歳	3,549	3,476	97.9	10	0.3	63	1.8
	40～44歳	4,709	4,573	97.1	19	0.4	117	2.5
	45～49歳	6,424	6,145	95.7	67	1.0	212	3.3
	50～54歳	7,490	7,087	94.6	102	1.4	301	4.0
	55～59歳	6,183	5,722	92.5	160	2.6	301	4.9
	60～64歳	4,663	4,303	92.3	94	2.0	266	5.7
	65～69歳	2,473	2,252	91.1	6	0.2	215	8.7
	70～74歳	1,357	1,220	89.9	5	0.4	132	9.7
	75～79歳	392	345	88.0	0	0.0	47	12.0
	80歳以上	190	167	87.9	0	0.0	23	12.1
	合 計	52,054	49,774	95.6	496	1.0	1,784	3.4

実施状況

事業所健診のなかで、52,054人に尿糖検査を行った。

男女別では、男性28,431人（54.6%）女性23,623人（45.4%）であった。

また、年齢階級では、50～54歳が最も多く、次いで、45～49歳、55～59歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）95.6%、要指導1.0%、要医療3.4%であった。

【事業所健診】肝機能結果

令和6年度

		受診者数	判				定			
			異常なし		要 指 導		治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	701	524	74.8	108	15.4	0	0.0	69	9.8
	20～24歳	1,752	1,214	69.3	292	16.7	2	0.1	244	13.9
	25～29歳	2,166	1,396	64.5	394	18.2	16	0.7	360	16.6
	30～34歳	1,921	1,131	58.9	409	21.3	22	1.1	359	18.7
	35～39歳	2,011	1,106	55.0	514	25.6	16	0.8	375	18.6
	40～44歳	2,435	1,230	50.5	677	27.8	32	1.3	496	20.4
	45～49歳	3,517	1,769	50.3	1,011	28.7	64	1.8	673	19.1
	50～54歳	4,152	2,061	49.6	1,247	30.0	106	2.6	738	17.8
	55～59歳	3,387	1,766	52.1	977	28.8	114	3.4	530	15.6
	60～64歳	2,542	1,371	53.9	723	28.4	85	3.3	363	14.3
	65～69歳	1,344	822	61.2	340	25.3	25	1.9	157	11.7
	70～74歳	782	459	58.7	229	29.3	17	2.2	77	9.8
	75～79歳	276	183	66.3	72	26.1	4	1.4	17	6.2
	80歳以上	89	63	70.8	21	23.6	1	1.1	4	4.5
小 計		27,075	15,095	55.8	7,014	25.9	504	1.9	4,462	16.5
女 性	～19歳	783	741	94.6	28	3.6	0	0.0	14	1.8
	20～24歳	1,328	1,236	93.1	59	4.4	0	0.0	33	2.5
	25～29歳	1,492	1,339	89.7	99	6.6	3	0.2	51	3.4
	30～34歳	1,294	1,138	87.9	99	7.7	4	0.3	53	4.1
	35～39歳	1,505	1,326	88.1	122	8.1	2	0.1	55	3.7
	40～44歳	2,311	2,033	88.0	200	8.7	10	0.4	68	2.9
	45～49歳	2,935	2,482	84.6	321	10.9	25	0.9	107	3.6
	50～54歳	3,366	2,629	78.1	500	14.9	56	1.7	181	5.4
	55～59歳	2,773	2,033	73.3	491	17.7	45	1.6	204	7.4
	60～64歳	2,117	1,587	75.0	365	17.2	46	2.2	119	5.6
	65～69歳	1,121	895	79.8	167	14.9	21	1.9	38	3.4
	70～74歳	561	432	77.0	95	16.9	10	1.8	24	4.3
	75～79歳	125	89	71.2	23	18.4	3	2.4	10	8.0
	80歳以上	185	136	73.5	21	11.4	0	0.0	28	15.1
小 計		21,896	18,096	82.6	2,590	11.8	225	1.0	985	4.5
総 数	～19歳	1,484	1,265	85.2	136	9.2	0	0.0	83	5.6
	20～24歳	3,080	2,450	79.5	351	11.4	2	0.1	277	9.0
	25～29歳	3,658	2,735	74.8	493	13.5	19	0.5	411	11.2
	30～34歳	3,215	2,269	70.6	508	15.8	26	0.8	412	12.8
	35～39歳	3,516	2,432	69.2	636	18.1	18	0.5	430	12.2
	40～44歳	4,746	3,263	68.8	877	18.5	42	0.9	564	11.9
	45～49歳	6,452	4,251	65.9	1,332	20.6	89	1.4	780	12.1
	50～54歳	7,518	4,690	62.4	1,747	23.2	162	2.2	919	12.2
	55～59歳	6,160	3,799	61.7	1,468	23.8	159	2.6	734	11.9
	60～64歳	4,659	2,958	63.5	1,088	23.4	131	2.8	482	10.3
	65～69歳	2,465	1,717	69.7	507	20.6	46	1.9	195	7.9
	70～74歳	1,343	891	66.3	324	24.1	27	2.0	101	7.5
	75～79歳	401	272	67.8	95	23.7	7	1.7	27	6.7
	80歳以上	274	199	72.6	42	15.3	1	0.4	32	11.7
合 計		48,971	33,191	67.8	9,604	19.6	729	1.5	5,447	11.1

実施状況

事業所健診のなかで、48,971人に肝機能検査を行った。

男女別では、男性27,075人（55.3%）女性21,896人（44.7%）であった。

また、年齢階級では、50～54歳が最も多く、次いで、45～49歳、55～59歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）67.8%、要指導19.6%、治療継続1.5%、要医療11.1%であった。

【事業所健診】血中脂質検査結果

令和6年度

		受診者数	判定							
			異常なし		要指導		治療継続		要医療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	616	481	78.1	128	20.8	1	0.2	6	1.0
	20～24歳	1,706	1,109	65.0	563	33.0	9	0.5	25	1.5
	25～29歳	2,160	1,200	55.6	887	41.1	26	1.2	47	2.2
	30～34歳	1,914	884	46.2	896	46.8	57	3.0	77	4.0
	35～39歳	2,010	798	39.7	1,059	52.7	61	3.0	92	4.6
	40～44歳	2,432	842	34.6	1,314	54.0	140	5.8	136	5.6
	45～49歳	3,513	1,063	30.3	1,909	54.3	376	10.7	165	4.7
	50～54歳	4,151	1,170	28.2	2,127	51.2	648	15.6	206	5.0
	55～59歳	3,383	944	27.9	1,653	48.9	665	19.7	121	3.6
	60～64歳	2,537	721	28.4	1,133	44.7	607	23.9	76	3.0
	65～69歳	1,338	393	29.4	559	41.8	352	26.3	34	2.5
	70～74歳	778	257	33.0	310	39.8	201	25.8	10	1.3
	75～79歳	271	95	35.1	95	35.1	75	27.7	6	2.2
	80歳以上	86	40	46.5	24	27.9	20	23.3	2	2.3
小計		26,895	9,997	37.2	12,657	47.1	3,238	12.0	1,003	3.7
女 性	～19歳	645	507	78.6	133	20.6	1	0.2	4	0.6
	20～24歳	1,279	979	76.5	286	22.4	3	0.2	11	0.9
	25～29歳	1,483	1,085	73.2	382	25.8	6	0.4	10	0.7
	30～34歳	1,290	863	66.9	397	30.8	16	1.2	14	1.1
	35～39歳	1,504	1,001	66.6	464	30.9	22	1.5	17	1.1
	40～44歳	2,310	1,386	60.0	831	36.0	55	2.4	38	1.6
	45～49歳	2,934	1,548	52.8	1,185	40.4	130	4.4	71	2.4
	50～54歳	3,364	1,269	37.7	1,614	48.0	325	9.7	156	4.6
	55～59歳	2,767	704	25.4	1,430	51.7	480	17.3	153	5.5
	60～64歳	2,115	463	21.9	1,053	49.8	489	23.1	110	5.2
	65～69歳	1,120	216	19.3	504	45.0	342	30.5	58	5.2
	70～74歳	557	129	23.2	223	40.0	182	32.7	23	4.1
	75～79歳	124	37	29.8	38	30.6	45	36.3	4	3.2
	80歳以上	185	88	47.6	54	29.2	38	20.5	5	2.7
小計		21,677	10,275	47.4	8,594	39.6	2,134	9.8	674	3.1
総 数	～19歳	1,261	988	78.4	261	20.7	2	0.2	10	0.8
	20～24歳	2,985	2,088	69.9	849	28.4	12	0.4	36	1.2
	25～29歳	3,643	2,285	62.7	1,269	34.8	32	0.9	57	1.6
	30～34歳	3,204	1,747	54.5	1,293	40.4	73	2.3	91	2.8
	35～39歳	3,514	1,799	51.2	1,523	43.3	83	2.4	109	3.1
	40～44歳	4,742	2,228	47.0	2,145	45.2	195	4.1	174	3.7
	45～49歳	6,447	2,611	40.5	3,094	48.0	506	7.8	236	3.7
	50～54歳	7,515	2,439	32.5	3,741	49.8	973	12.9	362	4.8
	55～59歳	6,150	1,648	26.8	3,083	50.1	1,145	18.6	274	4.5
	60～64歳	4,652	1,184	25.5	2,186	47.0	1,096	23.6	186	4.0
	65～69歳	2,458	609	24.8	1,063	43.2	694	28.2	92	3.7
	70～74歳	1,335	386	28.9	533	39.9	383	28.7	33	2.5
	75～79歳	395	132	33.4	133	33.7	120	30.4	10	2.5
	80歳以上	271	128	47.2	78	28.8	58	21.4	7	2.6
合計		48,572	20,272	41.7	21,251	43.8	5,372	11.1	1,677	3.5

実施状況

事業所健診のなかで、48,572人に血中脂質検査を行った。

男女別では、男性26,895人（55.4%）女性21,677人（44.6%）であった。

また、年齢階級では、50～54歳が最も多く、次いで、45～49歳、55～59歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）41.7%、要指導43.8%、治療継続11.1%、要医療3.5%であった。

【事業所健診】糖代謝検査結果

令和6年度

		受診者数	判				定			
			異常なし		要 指 導		治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	375	353	94.1	17	4.5	2	0.5	3	0.8
	20～24歳	1,950	1,817	93.2	111	5.7	10	0.5	12	0.6
	25～29歳	2,241	2,002	89.3	198	8.8	24	1.1	17	0.8
	30～34歳	2,000	1,708	85.4	237	11.9	26	1.3	29	1.5
	35～39歳	2,052	1,746	85.1	240	11.7	35	1.7	31	1.5
	40～44歳	2,432	1,926	79.2	368	15.1	81	3.3	57	2.3
	45～49歳	3,519	2,488	70.7	741	21.1	184	5.2	106	3.0
	50～54歳	4,148	2,661	64.2	1,014	24.4	336	8.1	137	3.3
	55～59歳	3,412	1,884	55.2	964	28.3	431	12.6	133	3.9
	60～64歳	2,557	1,295	50.6	777	30.4	377	14.7	108	4.2
	65～69歳	1,365	726	53.2	376	27.5	196	14.4	67	4.9
	70～74歳	805	358	44.5	250	31.1	158	19.6	39	4.8
	75～79歳	286	114	39.9	110	38.5	45	15.7	17	5.9
	80歳以上	100	42	42.0	28	28.0	21	21.0	9	9.0
小 計		27,242	19,120	70.2	5,431	19.9	1,926	7.1	765	2.8
女 性	～19歳	353	340	96.3	11	3.1	1	0.3	1	0.3
	20～24歳	1,661	1,588	95.6	64	3.9	4	0.2	5	0.3
	25～29歳	1,552	1,442	92.9	100	6.4	2	0.1	8	0.5
	30～34歳	1,343	1,205	89.7	116	8.6	15	1.1	7	0.5
	35～39歳	1,533	1,393	90.9	111	7.2	16	1.0	13	0.8
	40～44歳	2,319	1,995	86.0	277	11.9	37	1.6	10	0.4
	45～49歳	2,954	2,450	82.9	406	13.7	60	2.0	38	1.3
	50～54歳	3,382	2,623	77.6	626	18.5	98	2.9	35	1.0
	55～59歳	2,795	1,929	69.0	696	24.9	134	4.8	36	1.3
	60～64歳	2,130	1,396	65.5	593	27.8	105	4.9	36	1.7
	65～69歳	1,132	689	60.9	345	30.5	78	6.9	20	1.8
	70～74歳	578	313	54.2	199	34.4	51	8.8	15	2.6
	75～79歳	136	71	52.2	41	30.1	20	14.7	4	2.9
	80歳以上	192	95	49.5	62	32.3	20	10.4	15	7.8
小 計		22,060	17,529	79.5	3,647	16.5	641	2.9	243	1.1
総 数	～19歳	728	693	95.2	28	3.8	3	0.4	4	0.5
	20～24歳	3,611	3,405	94.3	175	4.8	14	0.4	17	0.5
	25～29歳	3,793	3,444	90.8	298	7.9	26	0.7	25	0.7
	30～34歳	3,343	2,913	87.1	353	10.6	41	1.2	36	1.1
	35～39歳	3,585	3,139	87.6	351	9.8	51	1.4	44	1.2
	40～44歳	4,751	3,921	82.5	645	13.6	118	2.5	67	1.4
	45～49歳	6,473	4,938	76.3	1,147	17.7	244	3.8	144	2.2
	50～54歳	7,530	5,284	70.2	1,640	21.8	434	5.8	172	2.3
	55～59歳	6,207	3,813	61.4	1,660	26.7	565	9.1	169	2.7
	60～64歳	4,687	2,691	57.4	1,370	29.2	482	10.3	144	3.1
	65～69歳	2,497	1,415	56.7	721	28.9	274	11.0	87	3.5
	70～74歳	1,383	671	48.5	449	32.5	209	15.1	54	3.9
	75～79歳	422	185	43.8	151	35.8	65	15.4	21	5.0
	80歳以上	292	137	46.9	90	30.8	41	14.0	24	8.2
合 計		49,302	36,649	74.3	9,078	18.4	2,567	5.2	1,008	2.0

実施状況

事業所健診のなかで、49,302人に糖代謝検査を行った。

男女別では、男性27,242人（55.3%）女性22,060人（44.7%）であった。

また、年齢階級では、50～54歳が最も多く、次いで、45～49歳、55～59歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）74.3%、要指導18.4%、治療継続5.2%、要医療2.0%であった。

【事業所健診】腎機能検査結果

令和6年度

		受診者数	判				定			
			異常なし		要 指 導		治療継続		要 医 療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	760	709	93.3	10	1.3	1	0.1	40	5.3
	20～24歳	3,316	3,068	92.5	145	4.4	2	0.1	101	3.0
	25～29歳	2,264	1,991	87.9	218	9.6	6	0.3	49	2.2
	30～34歳	2,011	1,775	88.3	174	8.7	9	0.4	53	2.6
	35～39歳	2,067	1,819	88.0	168	8.1	9	0.4	71	3.4
	40～44歳	2,449	2,126	86.8	239	9.8	15	0.6	69	2.8
	45～49歳	3,530	2,901	82.2	511	14.5	22	0.6	96	2.7
	50～54歳	4,167	3,302	79.2	687	16.5	46	1.1	132	3.2
	55～59歳	3,408	2,484	72.9	732	21.5	61	1.8	131	3.8
	60～64歳	2,550	1,762	69.1	590	23.1	45	1.8	153	6.0
	65～69歳	1,354	912	67.4	288	21.3	30	2.2	124	9.2
	70～74歳	789	492	62.4	190	24.1	18	2.3	89	11.3
	75～79歳	277	184	66.4	50	18.1	6	2.2	37	13.4
	80歳以上	82	55	67.1	14	17.1	2	2.4	11	13.4
小 計		29,024	23,580	81.2	4,016	13.8	272	0.9	1,156	4.0
女 性	～19歳	819	763	93.2	18	2.2	0	0.0	38	4.6
	20～24歳	3,120	2,804	89.9	179	5.7	2	0.1	135	4.3
	25～29歳	1,564	1,307	83.6	214	13.7	5	0.3	38	2.4
	30～34歳	1,344	1,148	85.4	164	12.2	2	0.1	30	2.2
	35～39歳	1,532	1,301	84.9	176	11.5	7	0.5	48	3.1
	40～44歳	2,321	1,888	81.3	326	14.0	14	0.6	93	4.0
	45～49歳	2,951	2,278	77.2	545	18.5	16	0.5	112	3.8
	50～54歳	3,381	2,464	72.9	749	22.2	17	0.5	151	4.5
	55～59歳	2,790	1,932	69.2	702	25.2	26	0.9	130	4.7
	60～64歳	2,129	1,425	66.9	576	27.1	27	1.3	101	4.7
	65～69歳	1,129	780	69.1	267	23.6	15	1.3	67	5.9
	70～74歳	574	369	64.3	156	27.2	6	1.0	43	7.5
	75～79歳	125	88	70.4	23	18.4	3	2.4	11	8.8
	80歳以上	152	67	44.1	41	27.0	9	5.9	35	23.0
小 計		23,931	18,614	77.8	4,136	17.3	149	0.6	1,032	4.3
総 数	～19歳	1,579	1,472	93.2	28	1.8	1	0.1	78	4.9
	20～24歳	6,436	5,872	91.2	324	5.0	4	0.1	236	3.7
	25～29歳	3,828	3,298	86.2	432	11.3	11	0.3	87	2.3
	30～34歳	3,355	2,923	87.1	338	10.1	11	0.3	83	2.5
	35～39歳	3,599	3,120	86.7	344	9.6	16	0.4	119	3.3
	40～44歳	4,770	4,014	84.2	565	11.8	29	0.6	162	3.4
	45～49歳	6,481	5,179	79.9	1,056	16.3	38	0.6	208	3.2
	50～54歳	7,548	5,766	76.4	1,436	19.0	63	0.8	283	3.7
	55～59歳	6,198	4,416	71.2	1,434	23.1	87	1.4	261	4.2
	60～64歳	4,679	3,187	68.1	1,166	24.9	72	1.5	254	5.4
	65～69歳	2,483	1,692	68.1	555	22.4	45	1.8	191	7.7
	70～74歳	1,363	861	63.2	346	25.4	24	1.8	132	9.7
	75～79歳	402	272	67.7	73	18.2	9	2.2	48	11.9
	80歳以上	234	122	52.1	55	23.5	11	4.7	46	19.7
合 計		52,955	42,194	79.7	8,152	15.4	421	0.8	2,188	4.1

実施状況

事業所健診のなかで、52,955人に腎機能検査を行った。

男女別では、男性29,024人（54.8%）女性23,931人（45.2%）であった。

また、年齢階級では、50～54歳が最も多く、次いで、45～49歳、20～24歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）79.7%、要指導15.4%、治療継続0.8%、要医療4.1%であった。

【事業所健診】血液一般検査結果

令和6年度

		受診者数	判定							
			異常なし		要指導		治療継続		要医療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男性	～19歳	701	625	89.2	51	7.3	0	0.0	25	3.6
	20～24歳	1,753	1,454	82.9	253	14.4	2	0.1	44	2.5
	25～29歳	2,166	1,825	84.3	280	12.9	0	0.0	61	2.8
	30～34歳	1,921	1,689	87.9	186	9.7	1	0.1	45	2.3
	35～39歳	2,012	1,785	88.7	149	7.4	2	0.1	76	3.8
	40～44歳	2,436	2,220	91.1	139	5.7	4	0.2	73	3.0
	45～49歳	3,521	3,089	87.7	275	7.8	14	0.4	143	4.1
	50～54歳	4,159	3,577	86.0	361	8.7	12	0.3	209	5.0
	55～59歳	3,395	2,860	84.2	365	10.8	9	0.3	161	4.7
	60～64歳	2,556	2,175	85.1	254	9.9	15	0.6	112	4.4
	65～69歳	1,362	1,190	87.4	95	7.0	12	0.9	65	4.8
	70～74歳	798	666	83.5	75	9.4	11	1.4	46	5.8
	75～79歳	285	217	76.1	36	12.6	8	2.8	24	8.4
	80歳以上	100	55	55.0	11	11.0	9	9.0	25	25.0
小計		27,165	23,427	86.2	2,530	9.3	99	0.4	1,109	4.1
女性	～19歳	783	638	81.5	86	11.0	4	0.5	55	7.0
	20～24歳	1,330	1,019	76.6	207	15.6	17	1.3	87	6.5
	25～29歳	1,496	1,153	77.1	233	15.6	15	1.0	95	6.4
	30～34歳	1,298	992	76.4	197	15.2	16	1.2	93	7.2
	35～39歳	1,507	1,100	73.0	216	14.3	43	2.9	148	9.8
	40～44歳	2,285	1,635	71.6	320	14.0	76	3.3	254	11.1
	45～49歳	2,915	2,064	70.8	384	13.2	142	4.9	325	11.1
	50～54歳	3,358	2,633	78.4	361	10.8	100	3.0	264	7.9
	55～59歳	2,758	2,322	84.2	255	9.2	29	1.1	152	5.5
	60～64歳	2,101	1,826	86.9	179	8.5	15	0.7	81	3.9
	65～69歳	1,117	961	86.0	91	8.1	6	0.5	59	5.3
	70～74歳	561	457	81.5	62	11.1	12	2.1	30	5.3
	75～79歳	135	102	75.6	18	13.3	6	4.4	9	6.7
	80歳以上	192	77	40.1	53	27.6	17	8.9	45	23.4
小計		21,836	16,979	77.8	2,662	12.2	498	2.3	1,697	7.8
総数	～19歳	1,484	1,263	85.1	137	9.2	4	0.3	80	5.4
	20～24歳	3,083	2,473	80.2	460	14.9	19	0.6	131	4.2
	25～29歳	3,662	2,978	81.3	513	14.0	15	0.4	156	4.3
	30～34歳	3,219	2,681	83.3	383	11.9	17	0.5	138	4.3
	35～39歳	3,519	2,885	82.0	365	10.4	45	1.3	224	6.4
	40～44歳	4,721	3,855	81.7	459	9.7	80	1.7	327	6.9
	45～49歳	6,436	5,153	80.1	659	10.2	156	2.4	468	7.3
	50～54歳	7,517	6,210	82.6	722	9.6	112	1.5	473	6.3
	55～59歳	6,153	5,182	84.2	620	10.1	38	0.6	313	5.1
	60～64歳	4,657	4,001	85.9	433	9.3	30	0.6	193	4.1
	65～69歳	2,479	2,151	86.8	186	7.5	18	0.7	124	5.0
	70～74歳	1,359	1,123	82.6	137	10.1	23	1.7	76	5.6
	75～79歳	420	319	76.0	54	12.9	14	3.3	33	7.9
	80歳以上	292	132	45.2	64	21.9	26	8.9	70	24.0
合計		49,001	40,406	82.5	5,192	10.6	597	1.2	2,806	5.7

実施状況

事業所健診のなかで、49,001人に血液一般検査を行った。

男女別では、男性27,165人（55.4%）女性21,836人（44.6%）であった。

また、年齢階級では、50～54歳が最も多く、次いで、45～49歳、55～59歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）82.5%、要指導10.6%、治療継続1.2%、要医療5.7%であった。

【事業所健診】心電図検査結果

令和6年度

		受診者数	判				定			
			異常なし		有所見		治療継続		要医療	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	497	436	87.7	51	10.3	3	0.6	7	1.4
	20～24歳	830	705	84.9	113	13.6	3	0.4	9	1.1
	25～29歳	932	804	86.3	111	11.9	1	0.1	16	1.7
	30～34歳	1,026	885	86.3	121	11.8	4	0.4	16	1.6
	35～39歳	1,498	1,285	85.8	179	11.9	7	0.5	27	1.8
	40～44歳	2,386	1,971	82.6	348	14.6	23	1.0	44	1.8
	45～49歳	3,468	2,755	79.4	577	16.6	73	2.1	63	1.8
	50～54歳	4,119	3,169	76.9	724	17.6	134	3.3	92	2.2
	55～59歳	3,376	2,498	74.0	611	18.1	170	5.0	97	2.9
	60～64歳	2,527	1,666	65.9	559	22.1	207	8.2	95	3.8
	65～69歳	1,329	845	63.6	272	20.5	132	9.9	80	6.0
	70～74歳	778	451	58.0	175	22.5	93	12.0	59	7.6
	75～79歳	264	123	46.6	75	28.4	45	17.0	21	8.0
	80歳以上	77	24	31.2	21	27.3	17	22.1	15	19.5
小計		23,107	17,617	76.2	3,937	17.0	912	3.9	641	2.8
女 性	～19歳	618	566	91.6	49	7.9	1	0.2	2	0.3
	20～24歳	729	627	86.0	91	12.5	5	0.7	6	0.8
	25～29歳	777	670	86.2	91	11.7	6	0.8	10	1.3
	30～34歳	772	674	87.3	85	11.0	4	0.5	9	1.2
	35～39歳	1,211	1,071	88.4	109	9.0	9	0.7	22	1.8
	40～44歳	2,270	2,004	88.3	221	9.7	14	0.6	31	1.4
	45～49歳	2,902	2,488	85.7	327	11.3	34	1.2	53	1.8
	50～54歳	3,336	2,761	82.8	437	13.1	65	1.9	73	2.2
	55～59歳	2,740	2,236	81.6	404	14.7	43	1.6	57	2.1
	60～64歳	2,093	1,642	78.5	313	15.0	58	2.8	80	3.8
	65～69歳	1,111	865	77.9	165	14.9	39	3.5	42	3.8
	70～74歳	551	394	71.5	94	17.1	31	5.6	32	5.8
	75～79歳	122	73	59.8	26	21.3	13	10.7	10	8.2
	80歳以上	150	31	20.7	38	25.3	45	30.0	36	24.0
小計		19,382	16,102	83.1	2,450	12.6	367	1.9	463	2.4
総 数	～19歳	1,115	1,002	89.9	100	9.0	4	0.4	9	0.8
	20～24歳	1,559	1,332	85.4	204	13.1	8	0.5	15	1.0
	25～29歳	1,709	1,474	86.2	202	11.8	7	0.4	26	1.5
	30～34歳	1,798	1,559	86.7	206	11.5	8	0.4	25	1.4
	35～39歳	2,709	2,356	87.0	288	10.6	16	0.6	49	1.8
	40～44歳	4,656	3,975	85.4	569	12.2	37	0.8	75	1.6
	45～49歳	6,370	5,243	82.3	904	14.2	107	1.7	116	1.8
	50～54歳	7,455	5,930	79.5	1,161	15.6	199	2.7	165	2.2
	55～59歳	6,116	4,734	77.4	1,015	16.6	213	3.5	154	2.5
	60～64歳	4,620	3,308	71.6	872	18.9	265	5.7	175	3.8
	65～69歳	2,440	1,710	70.1	437	17.9	171	7.0	122	5.0
	70～74歳	1,329	845	63.6	269	20.2	124	9.3	91	6.8
	75～79歳	386	196	50.8	101	26.2	58	15.0	31	8.0
	80歳以上	227	55	24.2	59	26.0	62	27.3	51	22.5
合計		42,489	33,719	79.4	6,387	15.0	1,279	3.0	1,104	2.6

実施状況

事業所健診のなかで、42,489人に心電図検査を行った。

男女別では、男性23,107人（54.4%）女性19,382人（45.6%）であった。

また、年齢階級では、50～54歳が最も多く、次いで、45～49歳、55～59歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）79.4%、有所見15.0%、治療継続3.0%、要医療2.6%であった。

【事業所健診】眼底検査結果

令和6年度

		受診者数	判定									
			異常なし		有所見・軽度異常		治療継続		要医療		読影不能、判定不能	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	33	28	84.8	1	3.0	1	3.0	3	9.1	0	0.0
	25～29歳	39	37	94.9	0	0.0	0	0.0	2	5.1	0	0.0
	30～34歳	56	47	83.9	0	0.0	0	0.0	9	16.1	0	0.0
	35～39歳	217	161	74.2	15	6.9	6	2.8	35	16.1	0	0.0
	40～44歳	420	290	69.0	30	7.1	5	1.2	95	22.6	0	0.0
	45～49歳	596	370	62.1	60	10.1	14	2.3	152	25.5	0	0.0
	50～54歳	700	399	57.0	79	11.3	32	4.6	190	27.1	0	0.0
	55～59歳	549	307	55.9	80	14.6	28	5.1	134	24.4	0	0.0
	60～64歳	492	241	49.0	71	14.4	38	7.7	142	28.9	0	0.0
	65～69歳	356	176	49.4	72	20.2	32	9.0	76	21.3	0	0.0
	70～74歳	187	86	46.0	35	18.7	16	8.6	50	26.7	0	0.0
	75～79歳	58	17	29.3	12	20.7	13	22.4	16	27.6	0	0.0
	80歳以上	6	0	0.0	2	33.3	1	16.7	3	50.0	0	0.0
	小計	3,710	2,160	58.2	457	12.3	186	5.0	907	24.4	0	0.0
女 性	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	18	17	94.4	0	0.0	0	0.0	1	5.6	0	0.0
	25～29歳	14	14	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	38	34	89.5	0	0.0	0	0.0	4	10.5	0	0.0
	35～39歳	180	143	79.4	3	1.7	6	3.3	28	15.6	0	0.0
	40～44歳	451	314	69.6	22	4.9	8	1.8	107	23.7	0	0.0
	45～49歳	577	392	67.9	45	7.8	16	2.8	124	21.5	0	0.0
	50～54歳	675	417	61.8	71	10.5	30	4.4	157	23.3	0	0.0
	55～59歳	630	366	58.1	79	12.5	52	8.3	133	21.1	0	0.0
	60～64歳	480	280	58.3	66	13.8	25	5.2	109	22.7	0	0.0
	65～69歳	232	115	49.6	40	17.2	27	11.6	50	21.6	0	0.0
	70～74歳	105	40	38.1	29	27.6	12	11.4	24	22.9	0	0.0
	75～79歳	23	7	30.4	6	26.1	2	8.7	8	34.8	0	0.0
	80歳以上	7	1	14.3	0	0.0	2	28.6	4	57.1	0	0.0
	小計	3,430	2,140	62.4	361	10.5	180	5.2	749	21.8	0	0.0
総 数	～19歳	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	51	45	88.2	1	2.0	1	2.0	4	7.8	0	0.0
	25～29歳	53	51	96.2	0	0.0	0	0.0	2	3.8	0	0.0
	30～34歳	94	81	86.2	0	0.0	0	0.0	13	13.8	0	0.0
	35～39歳	397	304	76.6	18	4.5	12	3.0	63	15.9	0	0.0
	40～44歳	871	604	69.3	52	6.0	13	1.5	202	23.2	0	0.0
	45～49歳	1,173	762	65.0	105	9.0	30	2.6	276	23.5	0	0.0
	50～54歳	1,375	816	59.3	150	10.9	62	4.5	347	25.2	0	0.0
	55～59歳	1,179	673	57.1	159	13.5	80	6.8	267	22.6	0	0.0
	60～64歳	972	521	53.6	137	14.1	63	6.5	251	25.8	0	0.0
	65～69歳	588	291	49.5	112	19.0	59	10.0	126	21.4	0	0.0
	70～74歳	292	126	43.2	64	21.9	28	9.6	74	25.3	0	0.0
	75～79歳	81	24	29.6	18	22.2	15	18.5	24	29.6	0	0.0
	80歳以上	13	1	7.7	2	15.4	3	23.1	7	53.8	0	0.0
	合計	7,140	4,300	60.2	818	11.5	366	5.1	1,656	23.2	0	0.0

実施状況

事業所健診のなかで、7,140人に眼底検査を行った。

男女別では、男性3,710人（52.0%）女性3,430人（48.0%）であった。

また、年齢階級では、50～54歳が最も多く、次いで、55～59歳、45～49歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）60.2%、有所見11.5%、治療継続5.1%、要医療23.2%であった。

4 各種検査の成績

腹部超音波検査結果

令和6年度

		受診者数	判定											
			異常なし		有所見		要指導		治療継続		要精検		読影不能・判定不能	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男性	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	2	0	0.0	0	0.0	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	11	4	36.4	0	0.0	7	63.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	51	20	39.2	1	2.0	30	58.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	182	55	30.2	0	0.0	124	68.1	0	0.0	3	1.6	0	0.0
	40～44歳	369	72	19.5	0	0.0	263	71.3	0	0.0	34	9.2	0	0.0
	45～49歳	506	71	14.0	0	0.0	402	79.4	1	0.2	32	6.3	0	0.0
	50～54歳	621	60	9.7	0	0.0	519	83.6	2	0.3	40	6.4	0	0.0
	55～59歳	468	41	8.8	0	0.0	376	80.3	3	0.6	48	10.3	0	0.0
	60～64歳	469	37	7.9	0	0.0	383	81.7	0	0.0	49	10.4	0	0.0
	65～69歳	452	23	5.1	0	0.0	370	81.9	1	0.2	58	12.8	0	0.0
	70～74歳	449	21	4.7	3	0.7	355	79.1	0	0.0	70	15.6	0	0.0
	75～79歳	273	8	2.9	1	0.4	237	86.8	0	0.0	27	9.9	0	0.0
	80歳以上	84	0	0.0	0	0.0	76	90.5	0	0.0	8	9.5	0	0.0
小計		3,937	412	10.5	5	0.1	3,144	79.9	7	0.2	369	9.4	0	0.0
女性	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	2	1	50.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	6	4	66.7	0	0.0	2	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	35	21	60.0	0	0.0	13	37.1	0	0.0	1	2.9	0	0.0
	35～39歳	162	62	38.3	0	0.0	91	56.2	0	0.0	9	5.6	0	0.0
	40～44歳	442	138	31.2	0	0.0	276	62.4	1	0.2	27	6.1	0	0.0
	45～49歳	570	141	24.7	0	0.0	392	68.8	1	0.2	36	6.3	0	0.0
	50～54歳	730	126	17.3	0	0.0	546	74.8	3	0.4	55	7.5	0	0.0
	55～59歳	675	97	14.4	0	0.0	528	78.2	1	0.1	49	7.3	0	0.0
	60～64歳	603	79	13.1	1	0.2	484	80.3	0	0.0	39	6.5	0	0.0
	65～69歳	523	55	10.5	0	0.0	406	77.6	1	0.2	61	11.7	0	0.0
	70～74歳	487	44	9.0	0	0.0	386	79.3	0	0.0	57	11.7	0	0.0
	75～79歳	315	18	5.7	2	0.6	261	82.9	0	0.0	34	10.8	0	0.0
	80歳以上	111	5	4.5	1	0.9	88	79.3	0	0.0	17	15.3	0	0.0
小計		4,661	791	17.0	4	0.1	3,474	74.5	7	0.2	385	8.3	0	0.0
総数	～19歳	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	4	1	25.0	0	0.0	3	75.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	17	8	47.1	0	0.0	9	52.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	86	41	47.7	1	1.2	43	50.0	0	0.0	1	1.2	0	0.0
	35～39歳	344	117	34.0	0	0.0	215	62.5	0	0.0	12	3.5	0	0.0
	40～44歳	811	210	25.9	0	0.0	539	66.5	1	0.1	61	7.5	0	0.0
	45～49歳	1,076	212	19.7	0	0.0	794	73.8	2	0.2	68	6.3	0	0.0
	50～54歳	1,351	186	13.8	0	0.0	1,065	78.8	5	0.4	95	7.0	0	0.0
	55～59歳	1,143	138	12.1	0	0.0	904	79.1	4	0.3	97	8.5	0	0.0
	60～64歳	1,072	116	10.8	1	0.1	867	80.9	0	0.0	88	8.2	0	0.0
	65～69歳	975	78	8.0	0	0.0	776	79.6	2	0.2	119	12.2	0	0.0
	70～74歳	936	65	6.9	3	0.3	741	79.2	0	0.0	127	13.6	0	0.0
	75～79歳	588	26	4.4	3	0.5	498	84.7	0	0.0	61	10.4	0	0.0
	80歳以上	195	5	2.6	1	0.5	164	84.1	0	0.0	25	12.8	0	0.0
合計		8,598	1,203	14.0	9	0.10	6,618	77.0	14	0.2	754	8.8	0	0.0

実施状況

腹部超音波検査は、8,598人に実施している。

男女別では、男性3,937人（45.8％）女性4,661人（54.2％）であった。

また、年齢階級でみると、50～54歳が最も多く、次いで、55～59歳、45～49歳の順であった。

判定結果

異常なし（精検不要）14.0％、有所見0.1％、要指導77.0％、治療継続0.2％、要精検8.8％であった。

肝炎検査（B型肝炎）結果

令和6年度

		受診者数	判 定							
			陰 性		抗原陰性抗体陽性		治療継続		陽 性	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 性	～19歳	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	10	9	90.0	1	10.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	12	10	83.3	2	16.7	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	41	30	73.2	11	26.8	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	94	81	86.2	13	13.8	0	0.0	0	0.0
	40～44歳	491	471	95.9	18	3.7	0	0.0	2	0.4
	45～49歳	404	384	95.0	18	4.5	1	0.2	1	0.2
	50～54歳	435	411	94.5	20	4.6	1	0.2	3	0.7
	55～59歳	354	337	95.2	13	3.7	0	0.0	4	1.1
	60～64歳	382	367	96.1	10	2.6	1	0.3	4	1.0
	65～69歳	503	499	99.2	2	0.4	0	0.0	2	0.4
	70～74歳	362	348	96.1	7	1.9	0	0.0	7	1.9
	75～79歳	192	189	98.4	2	1.0	0	0.0	1	0.5
	80歳以上	66	66	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
小 計		3,347	3,203	95.7	117	3.5	3	0.1	24	0.7
女 性	～19歳	1	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	50	39	78.0	11	22.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	60	43	71.7	17	28.3	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	74	52	70.3	22	29.7	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	149	135	90.6	14	9.4	0	0.0	0	0.0
	40～44歳	990	955	96.5	34	3.4	0	0.0	1	0.1
	45～49歳	537	506	94.2	30	5.6	0	0.0	1	0.2
	50～54歳	542	504	93.0	32	5.9	1	0.2	5	0.9
	55～59歳	543	516	95.0	23	4.2	1	0.2	3	0.6
	60～64歳	464	448	96.6	16	3.4	0	0.0	0	0.0
	65～69歳	433	425	98.2	5	1.2	0	0.0	3	0.7
	70～74歳	290	283	97.6	2	0.7	0	0.0	5	1.7
	75～79歳	134	132	98.5	0	0.0	0	0.0	2	1.5
	80歳以上	85	83	97.6	0	0.0	0	0.0	2	2.4
小 計		4,352	4,122	94.7	206	4.7	2	0.0	22	0.5
総 数	～19歳	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	20～24歳	60	48	80.0	12	20.0	0	0.0	0	0.0
	25～29歳	72	53	73.6	19	26.4	0	0.0	0	0.0
	30～34歳	115	82	71.3	33	28.7	0	0.0	0	0.0
	35～39歳	243	216	88.9	27	11.1	0	0.0	0	0.0
	40～44歳	1,481	1,426	96.3	52	3.5	0	0.0	3	0.2
	45～49歳	941	890	94.6	48	5.1	1	0.1	2	0.2
	50～54歳	977	915	93.7	52	5.3	2	0.2	8	0.8
	55～59歳	897	853	95.1	36	4.0	1	0.1	7	0.8
	60～64歳	846	815	96.3	26	3.1	1	0.1	4	0.5
	65～69歳	936	924	98.7	7	0.7	0	0.0	5	0.5
	70～74歳	652	631	96.8	9	1.4	0	0.0	12	1.8
	75～79歳	326	321	98.5	2	0.6	0	0.0	3	0.9
	80歳以上	151	149	98.7	0	0.0	0	0.0	2	1.3
合 計		7,699	7,325	95.1	323	4.2	5	0.1	46	0.6

実施状況

B型肝炎検査は、7,699人に実施している。

男女別では、男性3,347人（43.5％）女性4,352人（56.5％）であった。

また、年齢階級でみると、40～44歳が最も高く、次いで、50～54歳、45～49歳の順であった。

判定結果

抗原陰性95.1％、抗原陰性抗体陽性4.2％、治療継続0.1％、抗原陽性0.6％であった。

肝炎検査（C型肝炎）結果

令和6年度

		受診者数	判定					
			陰性		治療継続		陽性	
			(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男性	～19歳	1	1	100.00	0	0.00	0	0.00
	20～24歳	10	10	100.00	0	0.00	0	0.00
	25～29歳	9	9	100.00	0	0.00	0	0.00
	30～34歳	24	24	100.00	0	0.00	0	0.00
	35～39歳	66	66	100.00	0	0.00	0	0.00
	40～44歳	450	450	100.00	0	0.00	0	0.00
	45～49歳	354	354	100.00	0	0.00	0	0.00
	50～54歳	392	392	100.00	0	0.00	0	0.00
	55～59歳	324	324	100.00	0	0.00	0	0.00
	60～64歳	351	351	100.00	0	0.00	0	0.00
	65～69歳	477	476	99.79	0	0.00	1	0.21
	70～74歳	358	357	99.72	0	0.00	1	0.28
	75～79歳	190	190	100.00	0	0.00	0	0.00
	80歳以上	66	66	100.00	0	0.00	0	0.00
小計		3,072	3,070	99.93	0	0.00	2	0.07
女性	～19歳	1	1	100.00	0	0.00	0	0.00
	20～24歳	46	46	100.00	0	0.00	0	0.00
	25～29歳	47	47	100.00	0	0.00	0	0.00
	30～34歳	54	54	100.00	0	0.00	0	0.00
	35～39歳	124	124	100.00	0	0.00	0	0.00
	40～44歳	925	925	100.00	0	0.00	0	0.00
	45～49歳	466	466	100.00	0	0.00	0	0.00
	50～54歳	493	492	99.80	0	0.00	1	0.20
	55～59歳	507	506	99.80	0	0.00	1	0.20
	60～64歳	428	428	100.00	0	0.00	0	0.00
	65～69歳	417	417	100.00	0	0.00	0	0.00
	70～74歳	288	287	99.65	0	0.00	1	0.35
	75～79歳	133	133	100.00	0	0.00	0	0.00
	80歳以上	86	85	98.84	0	0.00	1	1.16
小計		4,015	4,011	99.90	0	0.00	4	0.10
総数	～19歳	2	2	100.00	0	0.00	0	0.00
	20～24歳	56	56	100.00	0	0.00	0	0.00
	25～29歳	56	56	100.00	0	0.00	0	0.00
	30～34歳	78	78	100.00	0	0.00	0	0.00
	35～39歳	190	190	100.00	0	0.00	0	0.00
	40～44歳	1,375	1,375	100.00	0	0.00	0	0.00
	45～49歳	820	820	100.00	0	0.00	0	0.00
	50～54歳	885	884	99.89	0	0.00	1	0.11
	55～59歳	831	830	99.88	0	0.00	1	0.12
	60～64歳	779	779	100.00	0	0.00	0	0.00
	65～69歳	894	893	99.89	0	0.00	1	0.11
	70～74歳	646	644	99.69	0	0.00	2	0.31
	75～79歳	323	323	100.00	0	0.00	0	0.00
	80歳以上	152	151	99.34	0	0.00	1	0.66
合計		7,087	7,081	99.92	0	0.00	6	0.08

実施状況

C型肝炎検査は、7,087人に実施している。

男女別では、男性3,072人（43.3%）女性4,015人（56.7%）であった。

また、年齢階級でみると、40～44歳が最も高く、次いで、65～69歳、50～54歳の順であった。

判定結果

陰性99.92%、陽性0.08%であった。

5 検診センターの精密検査成績

1 精密検査実施状況

センター別 部位別	小計	令和6年度			小計	令和5年度		
		札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路
胃	7,374	4,800	2,001	573	7,318	4,662	2,115	541
子宮	916	531	250	135	1,144	670	323	151
乳	791	312	479	－	966	419	547	－
肺	680	372	306	2	535	210	323	2
大腸	1,348	774	476	98	1,317	701	487	129
合計	11,109	6,789	3,512	808	11,280	6,662	3,795	823

2 部位別内訳

(1) 胃がん

センター別 部位別	計	令和6年度			計	令和5年度		
		札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路
検査日数	741	266	262	213	756	269	264	223
精検受診者数	7,374	4,800	2,001	573	8,120	5,427	2,120	573
延べ内訳	X線直接撮影	5	0	5	11	1	0	10
	内視鏡	7,397	4,800	2,029	8,130	5,427	2,140	563
	組織診	927	733	183	1,165	925	230	10
発見がん数	54	32	17	5	53	29	24	0
(別掲)その他のがん	(8)	(4)	(4)	(0)	(13)	(6)	(6)	(1)

(2) 子宮がん（卵巣も含む）

センター別 部位別	計	令和6年度			計	令和5年度		
		札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路
検査日数	514	205	269	40	544	228	271	45
精検受診者数	916	531	250	135	1,106	629	288	189
延べ内訳	再検査(細胞診)	899	481	287	1,105	577	349	179
	頸部組織診	111	79	26	155	125	16	14
	体部組織診	6	4	2	13	12	1	0
超音波	650	295	262	93	795	355	311	129
HPVウイルス	298	148	143	7	390	192	186	12
発見がん数	5	4	1	0	16	12	4	0

(3) 乳がん

センター別 部位別		計	令和6年度			計	令和5年度		
			札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路
検査日数		359	117	242	－	387	150	237	－
精検受診者数		791	312	479	－	1,059	413	646	－
延べ内訳	X線撮影	725	273	452	－	769	349	420	－
	超音波	840	311	529	－	927	419	508	－
	細胞診	84	0	84	－	87	0	87	－
	触診再検査	762	211	551	－	864	305	559	－
発見がん数		114	37	77	－	129	58	71	－

(4) 肺がん

センター別 部位別		計	令和6年度			計	令和5年度		
			札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路
検査日数		203	100	101	2	155	60	93	2
精検受診者数		680	372	306	2	556	282	272	2
延べ内訳	X線直接撮影	746	372	372	2	345	10	333	2
	C T	744	372	372	0	610	277	333	0
	喀痰細胞診	0	0	0	0	0	0	0	0
発見がん数		3	0	3	0	27	21	6	0
(別掲)その他のがん		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

(5) 大腸がん

センター別 部位別		計	令和6年度			計	令和5年度		
			札幌	旭川	釧路		札幌	旭川	釧路
検査日数		522	231	200	91	523	235	200	88
精検受診者数		1,348	774	476	98	1,401	849	456	96
延べ内訳	X線注腸撮影	0	0	0	0	0	0	0	0
	内視鏡	1,351	774	479	98	1,409	856	457	96
	組織診	466	271	195	0	476	295	181	0
発見がん数		54	25	28	1	72	39	29	4
(別掲)その他のがん		(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

3 精密検査結果

(1) 胃がん

札幌がん検診センター

昭和45年度～令和6年度

年度	精 検 受診者数	精 検 結 果 内 訳							
		胃 が ん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指腸 潰瘍	胃 炎	その他	異常なし
S45～R元	211,407	3,615(350)	26,194	10,309	50,622	2,466	35,177	17,505	69,490
R 2	3,971	40(23)	209	50	76	15	2,751	596	147
R 3	3,884	43(25)	194	35	73	21	3,035	571	142
R 4	4,114	35(10)	333	28	78	12	3,582	418	176
R 5	4,662	29(14)	116	26	86	10	3,474	1,453	233
R 6	4,800	32(16)	207	39	79	2	4,003	266	172
合計	238,265	3,794(438)	27,253	10,487	51,014	2,526	52,022	20,809	70,360

旭川がん検診センター

昭和56年度～令和6年度

年度	精 検 受診者数	精 検 結 果 内 訳							
		胃 が ん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指腸 潰瘍	胃 炎	その他	異常なし
S56～R元	89,226	1,582(264)	14,756	3,154	13,639	1,191	24,737	5,862	26,256
R 2	1,951	20(9)	202	7	76	2	835	373	31
R 3	1,546	22(7)	273	10	101	5	798	35	349
R 4	1,593	28(8)	383	13	95	0	1,093	454	49
R 5	2,115	24(9)	339	4	89	4	1,182	410	49
R 6	2,001	17(6)	357	8	64	3	1,097	414	41
合計	100,533	1,693(303)	16,310	3,196	14,064	1,205	29,742	7,548	26,775

釧路がん検診センター

昭和60年度～令和6年度

年度	精 検 受診者数	精 検 結 果 内 訳							
		胃 が ん	胃 ポリープ	胃潰瘍	胃潰瘍 癒痕	十二指腸 潰瘍	胃 炎	その他	異常なし
S60～R元	38,523	639(87)	4,881	1,387	5,289	548	14,200	4,093	7,962
R 2	476	7(2)	55	1	32	1	219	42	35
R 3	392	2(0)	72	6	31	1	226	39	46
R 4	423	6(1)	64	8	40	1	318	41	63
R 5	541	0(0)	49	5	28	0	396	40	55
R 6	573	5(0)	54	3	20	0	417	32	42
合計	41,501	659(90)	5,175	1,410	5,440	551	15,776	4,287	8,203

※ () 内数字は経過観察者より発見した「がん」の再掲、発見がん数には悪性リンパ腫を含む。

精検受診者数には他医療機関からの紹介患者及び経過観察者を含む。

(令和6年度は 札幌 4,527人、旭川 1,454人、釧路 497人)

(2) (再掲) 精密検査より発見した胃がんの進行度と手術状況

札幌がん検診センター

令和6年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			32(16)	25(12)	7(4)	30(14)	23(10)	7(4)	2(2)	2(2)	0(0)
手術施行	計		32(16)	25(12)	7(4)	30(14)	23(10)	7(4)	2(2)	2(2)	0(0)
	早期	内視鏡切除術	18(11)	14(8)	4(3)	16(9)	12(6)	4(3)	2(2)	2(2)	0(0)
		開 腹 手 術	5(3)	4(3)	1(0)	5(3)	4(3)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	進 行		4(1)	2(0)	2(1)	4(1)	2(0)	2(1)	0(0)	0(0)	0(0)
	調 査 中		5(1)	5(1)	0(0)	5(1)	5(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
手術未施行			0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

旭川がん検診センター

令和6年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			17(6)	13(4)	4(2)	10(3)	8(2)	2(1)	7(3)	5(2)	2(1)
手術施行	計		17(6)	13(4)	4(2)	10(3)	8(2)	2(1)	7(3)	5(2)	2(1)
	早期	内視鏡切除術	10(4)	8(3)	2(1)	5(2)	5(2)	0(0)	5(2)	3(1)	2(1)
		開 腹 手 術	5(2)	3(1)	2(1)	3(1)	1(0)	2(1)	2(1)	2(1)	0(0)
	進 行		2(0)	2(0)	0(0)	2(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	調 査 中		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
手術未施行			0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

釧路がん検診センター

令和6年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			5(0)	4(0)	1(0)	2(0)	1(0)	1(0)	3(0)	3(0)	0(0)
手術施行	計		5(0)	4(0)	1(0)	2(0)	1(0)	1(0)	3(0)	3(0)	0(0)
	早期	内視鏡切除術	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		開 腹 手 術	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)
	進 行		3(0)	2(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	2(0)	2(0)	0(0)
	調 査 中		1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
手術未施行			0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

※発見胃がん数には悪性リンパ腫・肉腫を含む。

() 内数字は経過観察者より発見した胃がん再掲。

※その他は一次検診を受けずに直接精検を希望した方や、医療機関からの紹介患者及び他機関の一次検診を受け、要精検となった方など。

(3) 大腸がん精密検査

札幌がん検診センター

昭和56年度～令和6年度

年 度	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳					
		大 腸 が ん	炎 症	潰 瘍	ポ リ ー プ	そ の 他	異 常 な し
S56～R元	66,508	2,204(49)	670	66	31,257	3,506	28,805
R 2	730	30(4)	7	0	382	120	191
R 3	564	19(7)	8	0	331	116	90
R 4	701	26(1)	7	5	450	116	97
R 5	856	39(0)	12	0	476	190	139
R 6	774	25(0)	17	0	392	196	144
合計	70,133	2,343(61)	721	71	33,288	4,244	29,466

旭川がん検診センター

昭和56年度～令和6年度

年 度	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳					
		大 腸 が ん	炎 症	潰 瘍	ポ リ ー プ	そ の 他	異 常 な し
S56～R元	21,536	836(41)	278	5	12,949	1,958	5,510
R 2	385	12(0)	5	0	245	99	24
R 3	532	19(1)	8	0	343	134	28
R 4	487	34(1)	6	0	328	71	48
R 5	457	29(0)	11	0	305	74	38
R 6	476	28(2)	5	0	324	93	26
合計	23,873	958(45)	313	5	14,494	2,429	5,674

釧路がん検診センター

昭和60年度～令和6年度

年 度	精検受診者数	精 検 結 果 内 訳					
		大 腸 が ん	炎 症	潰 瘍	ポ リ ー プ	そ の 他	異 常 な し
S60～R元	13,650	445(19)	58	13	7,948	208	4,978
R 2	122	5(0)	0	0	68	1	48
R 3	108	0(0)	0	0	57	1	50
R 4	129	4(0)	0	0	60	1	64
R 5	96	4(0)	0	0	48	0	44
R 6	98	1(0)	0	0	41	3	53
合計	14,203	459(19)	58	13	8,222	214	5,237

※精密検査受診者数は延べ受診者数であり、他医療機関からの紹介患者及び経過観察者を含む。

(令和6年度は、札幌 220人、旭川 100人、釧路 46人)

※がんの()内数字は経過観察者より発見した大腸がん再掲。

(4) (再掲) 精密検査より発見した大腸がんの進行度と手術状況

札幌がん検診センター

令和6年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			25(0)	15(0)	10(0)	25(0)	15(0)	10(0)	0(0)	0(0)	0(0)
手術施行	計		25(0)	15(0)	10(0)	25(0)	15(0)	10(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	早期	内視鏡切除術	12(0)	8(0)	4(0)	12(0)	8(0)	4(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		開 腹 手 術	5(0)	2(0)	3(0)	5(0)	2(0)	3(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	進 行		8(0)	5(0)	3(0)	8(0)	5(0)	3(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	調 査 中		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	手術未施行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

旭川がん検診センター

令和6年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			28(2)	14(0)	14(2)	25(1)	13(0)	12(1)	3(1)	1(0)	2(1)
手術施行	計		28(2)	14(0)	14(2)	25(1)	13(0)	12(1)	3(1)	1(0)	2(1)
	早期	内視鏡切除術	17(1)	9(0)	8(1)	15(1)	8(0)	7(1)	2(0)	1(0)	1(0)
		開 腹 手 術	4(1)	1(0)	3(1)	3(0)	1(0)	2(0)	1(1)	0(0)	1(1)
	進 行		7(0)	4(0)	3(0)	7(0)	4(0)	3(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	調 査 中		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	手術未施行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

釧路がん検診センター

令和6年度

			総 数			一次検診受診者			※その他		
			計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数			1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
手術施行	計		1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	早期	内視鏡切除術	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		開 腹 手 術	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	進 行		1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	調 査 中		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	手術未施行		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

※発見大腸がん数には悪性リンパ腫・肉腫を含む。

※その他の内訳は一次検診を受けずに直接精密検査を受けた方や、他機関の一次検診受診の後、精密検査を受けた方及び医療機関からの紹介患者など。

(5) 子宮がん精密検査（経過観察者を含む）

令和6年度

年齢	受診者数	細胞診結果										細胞診後指示				精検の結果										精検後
		扁平上皮系					腺細胞系					異常なし	経過観察	頸部精検	体部精検	良性	異型上皮	CIN3(上皮がん)	扁平上皮がん	上皮内腺がん	腺がん	体部がん	他のがん	疑陽性	経過観察	
		NILM	ASC-US	L-SIL	ASC-H	H-SIL	SCC	AGC	AIS	ADC	other malig															
札幌がん検診センター																										
総数	899	670	110	72	20	13	1	3	0	0	0	172	691	106	5	31	70	8	3	0	1	1	0	1	77	
～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20～24	20	14	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	19	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	
25～29	45	35	4	6	0	0	0	0	0	0	0	8	38	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4	
30～34	73	57	8	6	1	1	0	0	0	0	0	12	57	10	0	1	8	1	0	0	0	0	0	0	6	
35～39	57	42	5	8	1	0	1	0	0	0	0	11	41	14	0	0	13	0	1	0	0	0	0	0	10	
40～44	105	81	12	7	2	2	0	1	0	0	0	24	76	18	0	5	10	3	0	0	1	0	0	0	13	
45～49	134	88	17	14	2	3	0	0	0	0	0	32	98	22	1	10	12	1	0	0	0	0	0	0	16	
50～54	150	117	15	10	5	2	0	1	0	0	0	26	112	16	3	7	10	1	1	0	0	1	0	0	11	
55～59	101	79	17	3	0	2	0	0	0	0	0	15	86	8	0	2	6	0	0	0	0	0	0	0	5	
60～64	72	55	6	11	0	0	0	0	0	0	0	13	59	2	1	1	3	0	0	0	0	0	0	0	3	
65～69	57	38	12	2	3	2	0	0	0	0	0	10	43	4	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	2	
70～74	36	27	4	1	3	1	0	0	0	0	0	12	24	4	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	3	
75～79	40	29	6	1	3	0	0	1	0	0	0	5	33	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
80～	9	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
旭川がん検診センター																										
総数	481	357	73	34	8	7	1	1	0	0	0	112	336	79	4	18	60	0	3	0	1	0	0	1	50	
～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20～24	14	9	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	13	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	
25～29	32	25	3	4	0	0	0	0	0	0	0	6	26	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	
30～34	46	35	6	4	0	1	0	0	0	0	0	12	31	9	0	1	8	0	0	0	0	0	0	0	6	
35～39	41	29	5	5	1	0	1	0	0	0	0	9	27	11	0	0	10	0	1	0	0	0	0	0	7	
40～44	65	48	9	5	1	2	0	0	0	0	0	12	49	11	0	3	7	0	0	0	1	0	0	0	7	
45～49	74	55	12	6	0	1	0	0	0	0	0	19	51	17	1	7	11	0	0	0	0	0	0	0	11	
50～54	78	58	10	4	4	1	0	1	0	0	0	17	49	13	2	4	10	0	1	0	0	0	0	0	7	
55～59	47	36	9	2	0	0	0	0	0	0	0	9	39	5	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	3	
60～64	21	17	4	0	0	0	0	0	0	0	0	6	15	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2	
65～69	26	14	8	1	1	2	0	0	0	0	0	7	15	4	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	1	
70～74	15	13	2	0	0	0	0	0	0	0	0	8	7	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
75～79	16	13	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
80～	6	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
釧路がん検診センター																										
総数	131	101	7	9	1	1	0	2	0	0	0	10	119	2	0	1	4	1	0	0	0	0	0	0	5	
～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20～24	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
25～29	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
30～34	6	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
35～39	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
40～44	10	8	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	8	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	
45～49	17	2	1	3	1	0	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
50～54	26	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	25	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
55～59	23	19	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	22	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
60～64	19	13	0	6	0	0	0	0	0	0	0	2	17	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
65～69	11	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	9	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
70～74	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
75～79	7	6	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
80～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※精検指示と結果は他施設で実施した方がいるため一致しない。

※平成26年度より、精検者の集検時におけるベセスダ分類は計上されていない。なお、健康診査受診者の精検結果は含まれる。

4 医療機関からの受託検査

昭和45年度～令和6年度

年 度	受 託 総 数	婦 人 科	呼 吸 器	胸 水	腹 水	尿	乳 房	胃	その他	組 織
総 数										
S45～R元	884,147 (17,820)	718,514 (3,688)	80,217 (4,550)	5,402 (1,388)	5,892 (1,587)	31,519 (1,823)	8,157 (1,431)	137 (8)	10,236 (2,158)	24,073 (1,187)
R 2	4,127 (31)	3,608 (8)	96 (0)	34 (0)	24 (2)	177 (3)	110 (18)	0 (0)	44 (0)	34 (0)
R 3	3,337 (46)	2,797 (12)	111 (1)	29 (3)	6 (2)	167 (2)	152 (22)	0 (0)	45 (3)	30 (1)
R 4	2,760 (40)	2,285 (8)	96 (0)	21 (0)	22 (2)	161 (3)	102 (25)	0 (0)	45 (1)	28 (1)
R 5	2,547 10	2,139 (3)	98 (0)	11 (0)	10 (0)	203 (0)	45 (6)	0 (0)	26 (0)	15 (1)
R 6	2,349 (11)	1,954 (1)	108 (0)	7 (0)	6 (0)	181 (0)	60 (9)	0 (0)	24 (0)	9 (1)
計	899,267 (17,958)	731,297 (3,720)	80,726 (4,551)	5,504 (1,391)	5,960 (1,593)	32,408 (1,831)	8,626 (1,511)	137 (8)	10,420 (2,162)	24,189 (1,191)
札 幌										
S45～R元	448,298 (12,435)	365,454 (2,480)	36,556 (2,946)	2,444 (1,015)	3,206 (1,109)	11,942 (1,286)	3,142 (817)	108 (6)	6,006 (1,857)	19,440 (919)
R 2	862 (11)	643 (6)	5 (0)	17 (0)	22 (2)	127 (3)	4 (0)	0 (0)	44 (0)	0 (0)
R 3	930 (14)	733 (3)	15 (1)	12 (3)	6 (2)	123 (2)	1 (0)	0 (0)	40 (3)	0 (0)
R 4	862 (9)	643 (3)	5 (0)	17 (0)	22 (2)	127 (3)	4 (0)	0 (0)	44 (1)	0 (0)
R 5	860 (0)	631 (0)	1 (0)	8 (0)	10 (0)	182 (0)	2 (0)	0 (0)	26 (0)	0 (0)
R 6	792 (0)	583 (0)	0 (0)	6 (0)	6 (0)	171 (0)	3 (0)	0 (0)	23 (0)	0 (0)
計	452,604 (12,469)	368,687 (2,492)	36,582 (2,947)	2,504 (1,018)	3,272 (1,115)	12,672 (1,294)	3,156 (817)	108 (6)	6,183 (1,861)	19,440 (919)

注) () 内数字は陽性の再掲

昭和45年度～令和6年度

年 度	受 託 総 数	婦 人 科	呼 吸 器	胸 水	腹 水	尿	乳 房	胃	その他	組 織
旭 川										
S56～R元	362,118 (4,699)	286,589 (897)	40,644 (1,493)	2,823 (344)	2,445 (432)	18,447 (484)	4,872 (604)	21 (2)	3,888 (278)	2,389 (165)
R 2	2,515 (20)	2,244 (2)	91 (0)	17 (0)	2 (0)	50 (0)	106 (18)	0 (0)	0 (0)	5 (0)
R 3	1,748 (24)	1,432 (2)	96 (0)	17 (0)	0 (0)	44 (0)	151 (22)	0 (0)	5 (0)	3 (0)
R 4	1,325 (28)	1,087 (2)	91 (0)	4 (0)	0 (0)	34 (0)	98 (25)	0 (0)	1 (0)	10 (1)
R 5	1,203 (8)	1,034 (1)	97 (0)	3 (0)	0 (0)	21 (0)	43 (6)	0 (0)	0 (0)	5 (1)
R 6	1,253 (11)	1,068 (1)	108 (0)	1 (0)	0 (0)	10 (0)	57 (9)	0 (0)	1 (0)	8 (1)
計	370,162 (4,790)	293,454 (905)	41,127 (1,493)	2,865 (344)	2,447 (432)	18,606 (484)	5,327 (684)	21 (2)	3,895 (278)	2,420 (168)
釧 路										
S56～R元	73,731 (686)	66,471 (311)	3,017 (111)	135 (29)	241 (46)	1,130 (53)	143 (10)	8 (0)	342 (23)	2,244 (103)
R 2	750 (0)	721 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	29 (0)
R 3	659 (8)	632 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	27 (1)
R 4	573 (3)	555 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	18 (0)
R 5	484 (2)	474 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (0)
R 6	304 (0)	303 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
計	76,501 (699)	69,156 (323)	3,017 (111)	135 (29)	241 (46)	1,130 (53)	143 (10)	8 (0)	342 (23)	2,329 (104)

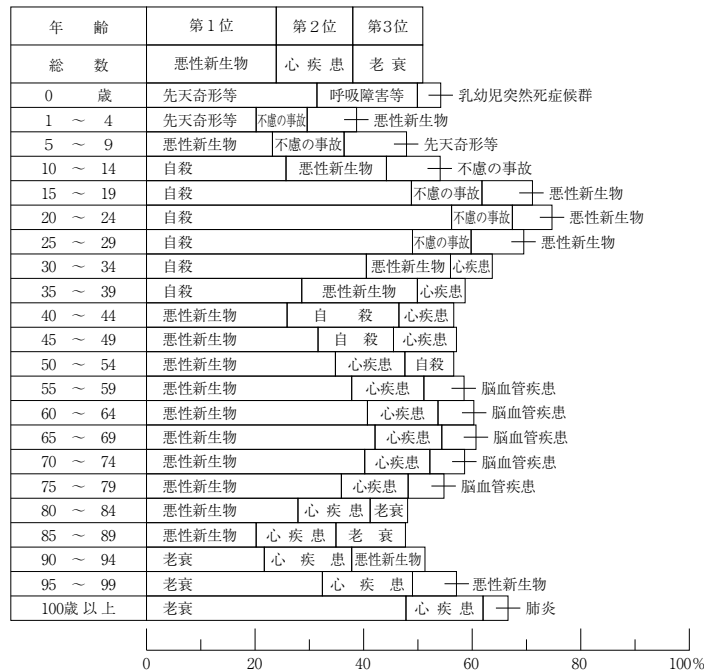
注) () 内数字は陽性の再掲

【参考資料】

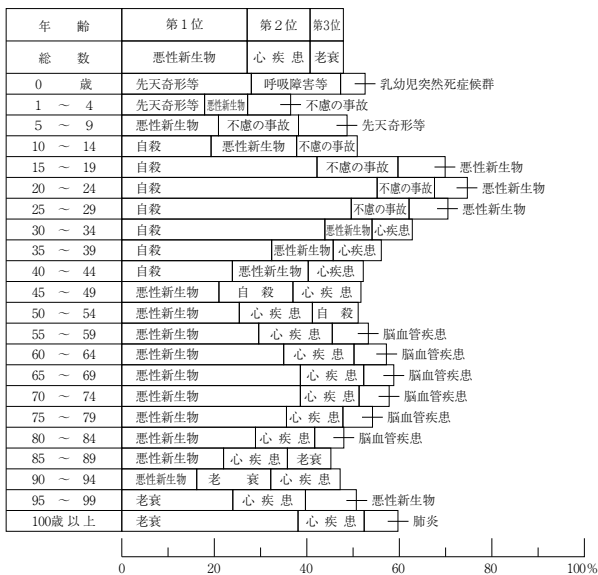
1 がん対策の背景

図1 性・年齢別にみた死因順位
令和6年 全国

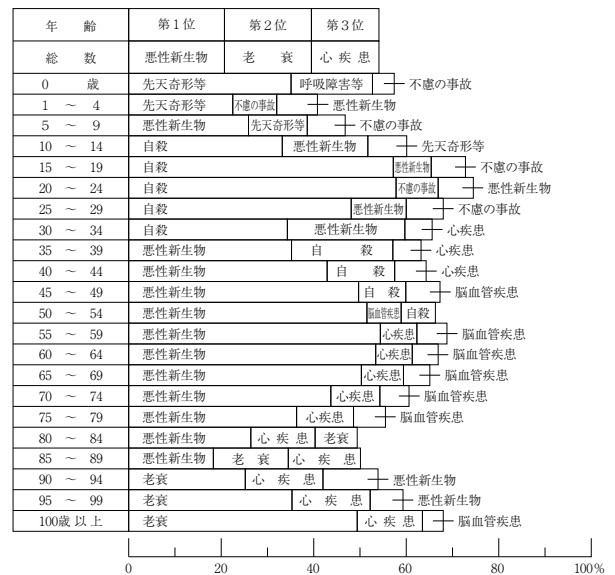
男女計



男



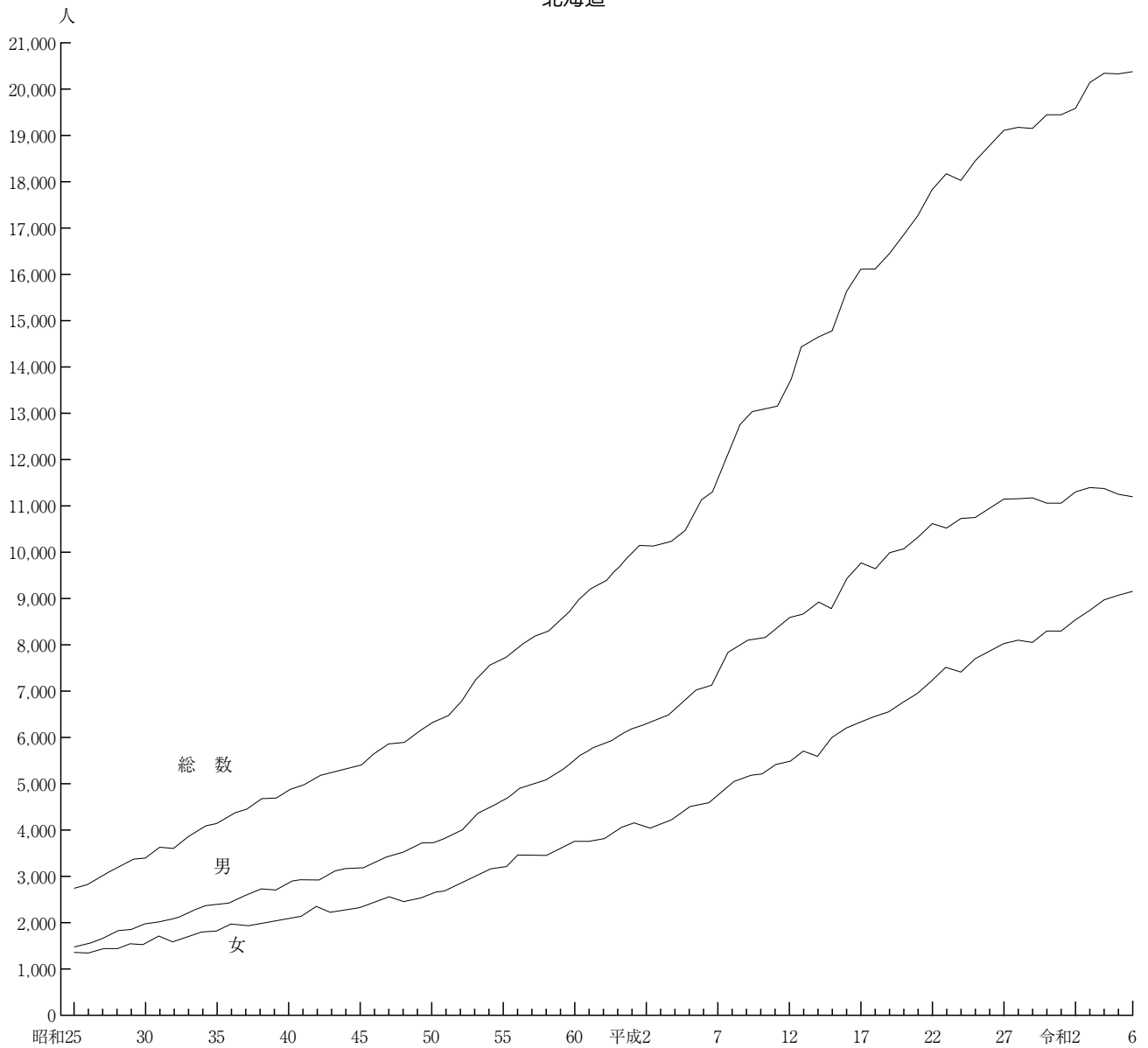
女



出典：厚生労働省「人口動態統計」

がんによる死亡は、全ての死因の中で、昭和56年以降（本道においては昭和52年以降）不動の一位であり、その数・割合ともに増え続けている。40代から死因の一位となるが、女性においては子宮頸がんや乳がんなど比較的若年で発症するがんの影響を受け、30代から一位となっている。

図2 がん死亡者数の年次推移
北海道



北海道におけるがん死亡者数
令和6年

男 性	11,198
女 性	9,162
総 数	20,360

出典：厚生労働省「人口動態統計」

本道においても、全国と同様にがんによる死亡者数が増え続けている。主な原因は、高齢者の増加によるがん罹患患者数の増加があげられる。がん検診の受診率がどの部位も全国平均に届いておらず、がんがある程度進行してから見つかる方がいまだに多いことも一因と考える。

表1 部位別がん死亡者数・死亡率の年次推移

北 海 道

部 位	死亡者数					死亡率(人口10万対、乳房、子宮は女子人口10万対)				
	昭40	昭60	平17	令 6	全国令 6	昭40	昭60	平17	令 6	全国令 6
総 数	4,863	9,096	16,133	20,360	384,111	94.0	159.9	287.8	403.7	310.3
食 道	181	357	597	513	10,638	3.5	6.3	10.7	10.2	8.6
胃	1,982	2,147	2,240	1,831	37,867	38.3	37.8	40.0	36.3	30.6
大 腸	268	928	2,186	2,991	54,416	5.2	16.3	39.0	59.3	44.0
肝 臓	357	832	1,328	1,111	22,465	6.9	14.6	23.7	22.0	18.1
膵 臓	181	624	1,357	2,336	41,235	3.5	11.0	24.2	46.3	33.3
気管・気管支・肺	443	1,455	3,205	4,622	75,569	8.6	25.6	57.2	91.7	61.0
乳 房	98	247	530	856	15,869	3.8	8.5	18.0	32.2	25.0
子 宮	311	231	229	324	7,116	12.0	7.9	7.8	12.2	11.2
白 血 病	187	256	314	431	9,972	3.6	4.5	5.6	8.5	8.1
そ の 他	855	2,019	4,147	5,343	108,828	16.5	35.5	74.0	105.9	87.9

出典：死亡者数…厚生労働省「人口動態統計」 人口…「人口推計」（総務省統計局）

図3 がん死亡者の部位別割合
令和6年 北海道

【男性】			【女性】		
順位	部位	死亡数	順位	部位	死亡数
／	がん総数	11,198	／	がん総数	9,162
1位	気管、気管支及び肺	2,988	1位	気管、気管支及び肺	1,634
2位	大腸	1,493	2位	大腸	1,498
3位	胃	1,136	3位	膵臓	1,277
4位	膵臓	1,059	4位	乳房	856
5位	肝及び肝内胆管	729	5位	胃	695
6位	前立腺	641	6位	胆のう及びその他の胆道	437
7位	胆のう及びその他の胆道	430	7位	肝及び肝内胆管	382
8位	食道	401	8位	子宮	324
9位	膀胱	370	9位	悪性リンパ腫	321
10位	悪性リンパ腫	336	10位	卵巣	243
11位	口唇、口腔及び咽頭	296	11位	膀胱	192
12位	白血病	263	12位	白血病	168
／	その他	1,056	／	その他	1,135

出典：厚生労働省「人口動態統計」

全国の部位別順位は下記の通りである。

順位	1	2	3	4	5
男 性	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
女 性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃

出典：厚生労働省「人口動態統計」

本道の特徴としては、

- ・男女ともに肺がんが1位であること
- ・肺・膵臓などの難治性がんの割合が高いこと

があげられる。

詳しい原因は不明だが、男女ともに喫煙率が高いことなども影響していると考えられる。

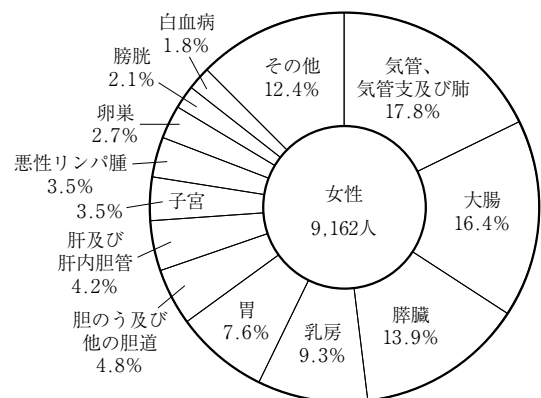
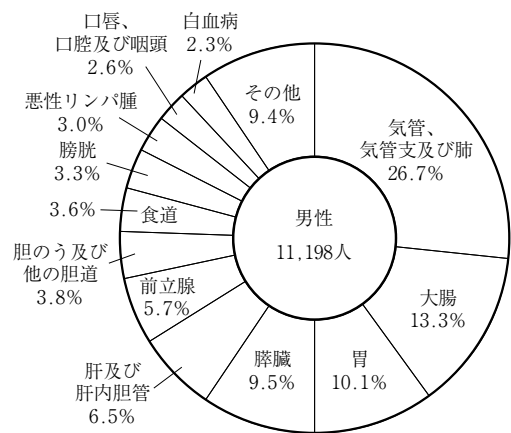
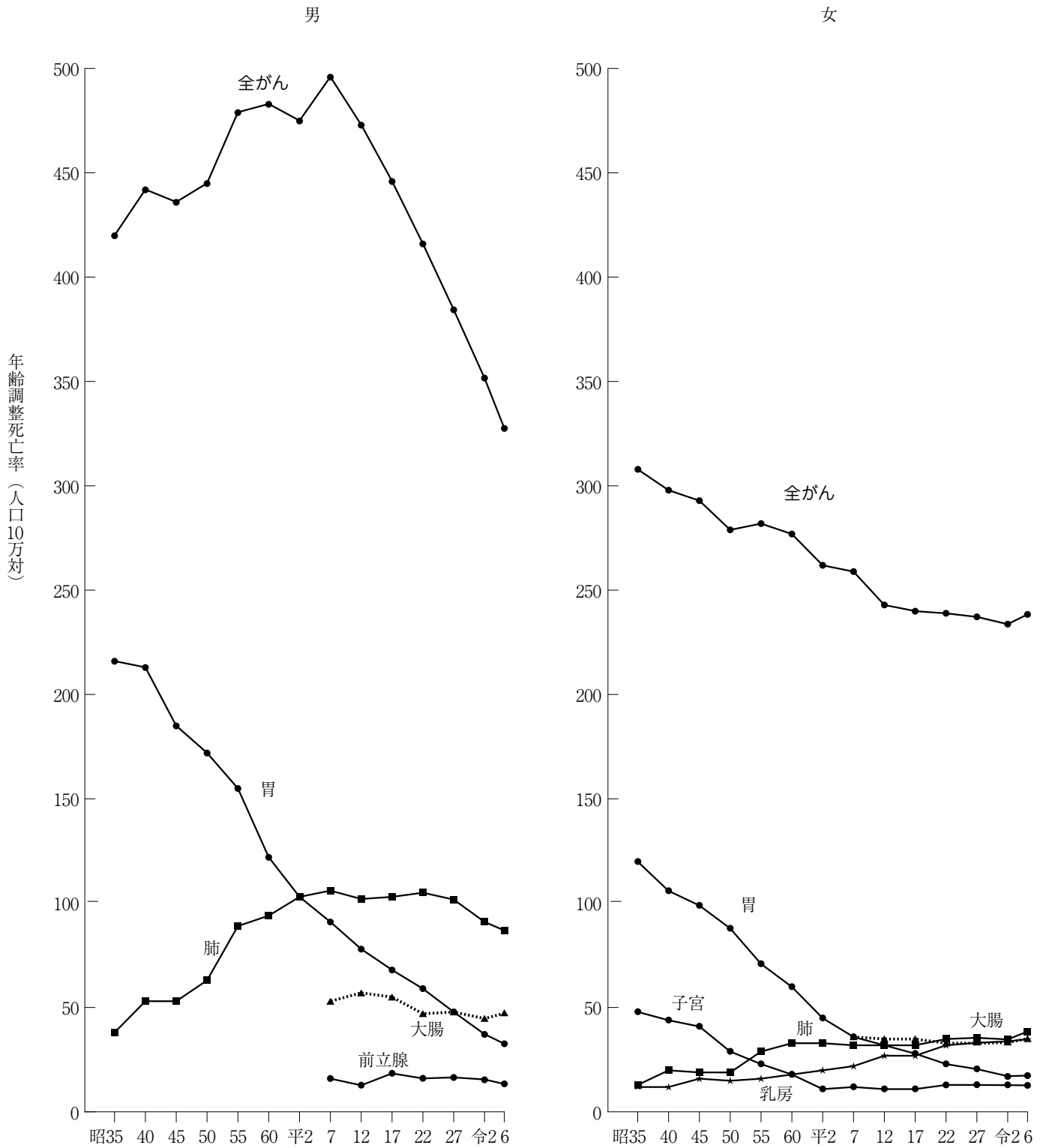
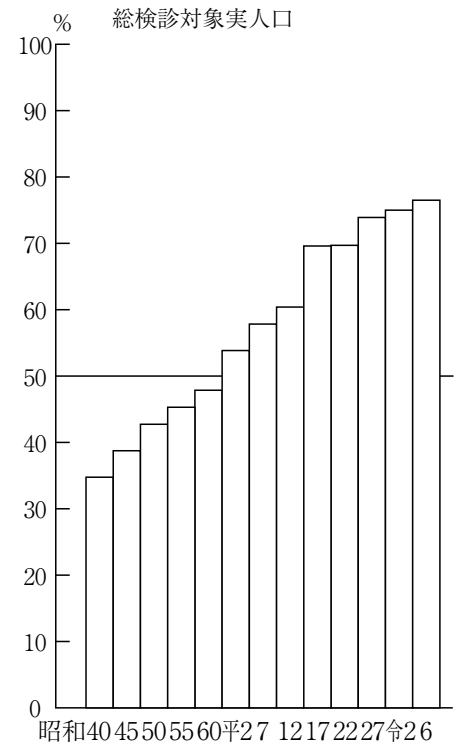
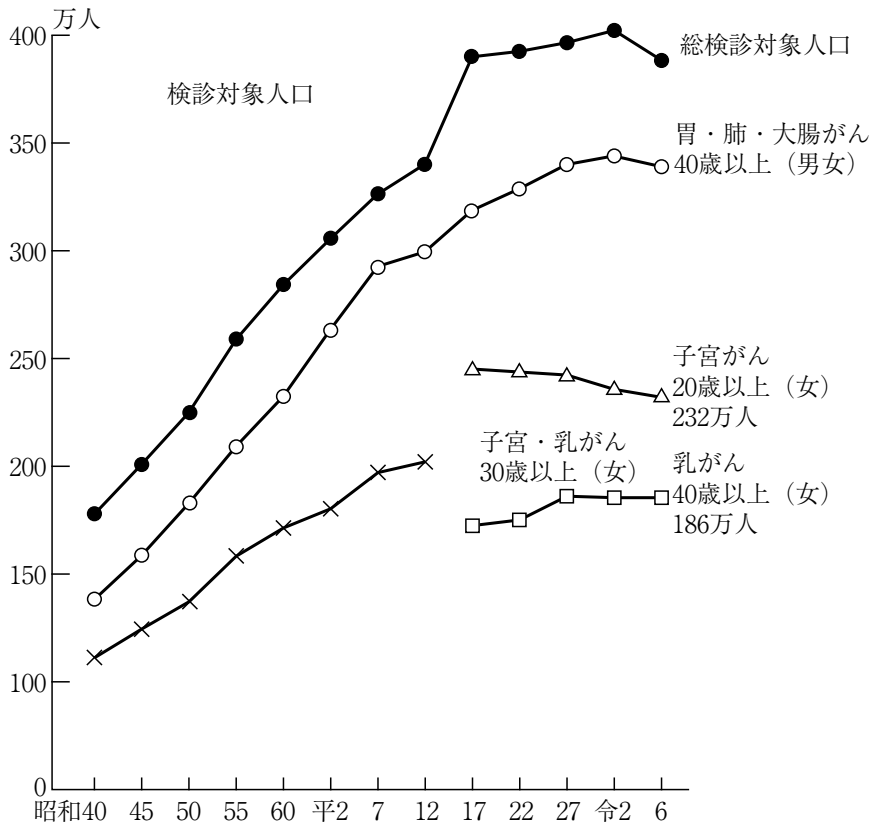


図4 がん年齢調整死亡率の年次推移
40歳以上合計 北海道

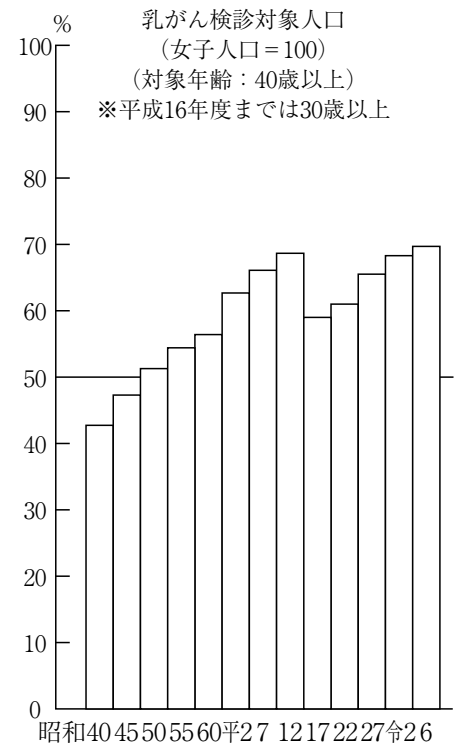
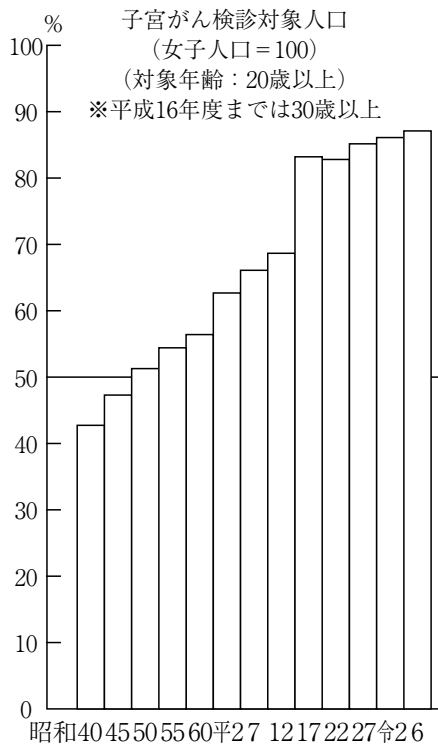
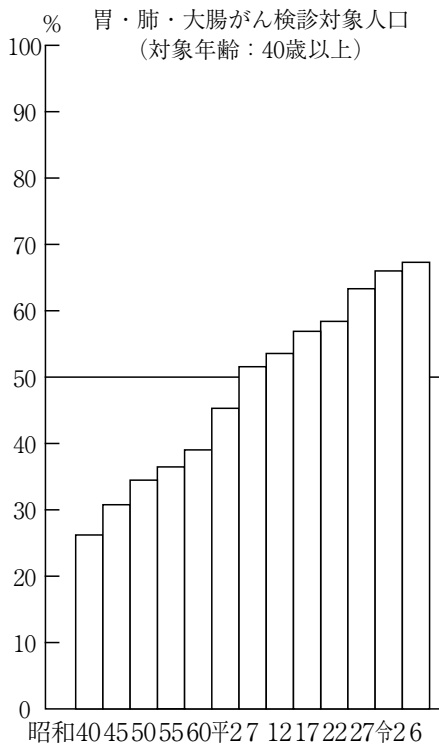


注：死亡率は、人口構成の変動による影響を取り除いて厳密な比較を行うため、昭和60年北海道・性・年齢（5歳階級）別人口を基準人口として、直接法により算出した。（人口10万対）
資料：死亡数は「人口動態統計（確定数）保管統計表 都道府県編 死亡・死因 第2表-01（北海道）」、人口は総務省統計局データ

図5 がん検診対象年齢人口の年次推移
北海道



総人口に占める割合



資料：総務省統計局データ

２ 市町村が実施するがん検診の受託状況について

資料：令和６年度地域保健・健康増進事業報告

胃がん検診

北海道の令和６年度の対象者は3,372,970人^{注)}で、胃部エックス線検査の受診者数は81,088人、胃内視鏡検査の受診者数は17,121人で受診率は2.9%^{注)}であった。

このうち、当協会では胃部エックス線検査で、140市町村において、検診車と各検診センターで52,840人に検診を実施した（受託実施率65.2%）。これに事業所分など7,092人を加え、総数59,932人に実施し、83名のがんを発見した（令和８年１月現在）。令和５年度の追跡調査では、発見がん数83名のうち72名が手術を受けており、そのうち、80.6%にあたる58名が早期がんであった。

内視鏡検査については、各センターで8,801人が受診し、14名の胃がんを発見した。

子宮がん検診

北海道の令和６年度の対象者は、2,301,838人^{注)}である。受診者数は令和６年度166,118人、令和５年度163,484人で、２年合計で329,602人となっている。ここから２年連続受診者数19,165人を除いた310,437人が直近２年間の受診者数であり、受診率は13.5%^{注)}であった。

このうち、当協会では令和６年度は139市町村、令和５年度138市町村において、検診車と各検診センター83,828人に検診を実施した（受託実施率27.0%）。これに事業所分など20,888人を加え、総数104,716人に実施し、38名のがん（令和８年１月現在）を発見した（CIN3は138名）。

乳がん検診

北海道の令和６年度の対象者は、1,840,008人^{注)}である。受診者数は令和６年度105,975人、令和５年度106,058人で、２年合計で212,033人となっている。ここから２年連続受診者数10,556人を除いた201,477人が直近２年間の受診者数であり、受診率は10.9%^{注)}であった。

このうち、当協会では令和６年度は139市町村、令和５年度は138市町村において、検診車と各検診センターで97,819人に検診を実施した（受託実施率48.6%）。これに事業所分など23,550人を加え、総数121,369人に実施し、525名のがん（令和８年１月現在）を発見した。

令和５年度の追跡調査では、発見がん数278人のうち69.4%にあたる193名が早期がんであった。

肺がん検診

北海道の令和６年度の対象者は3,372,580人^{注)}で、受診者数は194,862人、受診率は5.8%^{注)}であった。

このうち、当協会では134市町村において、検診車と各検診センターで87,038人に検診を実施した（受託実施率44.7%）。これに事業所分など1,877人を加え、総数88,915人に実施し、99名のがん（令和８年２月現在）を発見した。

また、胸部CT検査については、各検診センターなどで1,455人に検診を実施し、４名のがん（令和８年２月現在）を発見した。

大腸がん検診

北海道の令和6年度の対象者は3,372,580人^{注)}で、受診者数は213,459人、受診率は6.3%^{注)}であった。

このうち、当協会では138市町村において、検診車と各検診センターで96,427人に検診を実施した(受託実施率45.2%)。これに事業所分など18,366人を加え、総数114,793人に実施し、369名のがん(令和8年2月現在)を発見した。

令和5年度の追跡調査では、発見がん数394名のうち、381名が手術を受けており、そのうち70.3%にあたる268名が早期がんであった。

注) 地域保健・健康増進事業報告におけるがん検診の受診率の算定にあたっては、「がん対策推進基本計画」(平成24年6月8日閣議決定)及び「指針」に基づき、40歳から69歳(胃がん検診は平成28年度以降50歳から69歳、子宮頸がん検診は20歳から69歳)を対象として算出している。これは他自治体と比較する場合に使用するものであり、本道のがん検診の受診状況を把握するには不十分であるため、算定対象年齢に上限を設けず計算した。

3 北海道対がん協会

3-1 概要

令和8年4月1日現在

法 人 名	公益財団法人北海道対がん協会
代 表 者 名	会長 加 藤 元 嗣
所 在 地	北海道札幌市東区北26条東14丁目 1 - 15
電 話 番 号	0 1 1 - 7 4 8 - 5 5 1 1
設 立 時 期	昭和4年9月13日
従 業 員 数	383名（臨時職員を含む）

職種別職員内訳

職 種	札 幌	旭 川	釧 路	計
医 師	7	4	1	12
診療放射線技師	29	13	5	47
臨床検査技師	23	12	4	39
管理栄養士	7	0	2	9
保健 師	27	10	2	39
看 護 師	38	22	13	73
事 務 員	80	32	21	133
運 転 技 術 員	20	8	3	31
計	231	101	51	383

3-2 目的及び事業

公益財団法人北海道対がん協会は、がんの予防、治療及び研究に関し必要な事業を行い、もって公衆衛生の向上と地域社会の健全な発展を実現し、道民の健康の保持増進に寄与することを目的としています。

このほか、生活習慣病の予防、治療及び研究に関し必要な事業を行なうことができます。

上記の目的を達成するため、次の事業を行います。

- (1) がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する知識の普及啓発
- (2) がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する相談及び指導
- (3) がん検診及び生活習慣病健診の実施及び推進
- (4) がん及び生活習慣病の予防及び治療に関する調査・研究
- (5) がん及び生活習慣病の予防、治療及び研究を行なう機関の設置
- (6) がん及び生活習慣病の予防を推進する団体との連携及び支援
- (7) 本協会の目的を達成するため必要な事業

3-3 検診センター及び細胞診センターの機能

がん検診センター

1 がん征圧運動の実施

- (1) 日本対がん協会の北海道支部として、毎年9月のがん征圧月間にがん征圧運動を実施
- (2) 「北海道がん征圧・がん検診受診促進月間」である、9～10月に「がん予防道民大会」を開催
- (3) がん患者支援チャリティウォーク「リレー・フォー・ライフ」への参加・協力
- (4) 国際対がん連合（UICC）運動に参加

2 がんに関する知識の普及

- (1) 地域住民を対象とした講演・研修会等の企画・実施
- (2) 普及啓発資料の作成・配布、及び教育教材の貸し出し
- (3) 北海道・市町村と連携した普及啓発事業の実施
- (4) 企業、地区組織、患者団体・ボランティア団体等と連携した普及啓発事業の実施
- (5) がん征圧運動推進のための賛助会員の募集と賛助会員への情報提供

3 検診車による巡回検診の企画実施

検診車派遣の計画・実施

検診項目（胃がん、子宮がん、乳がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、健康診査、その他の検査）

4 検診センターにおける施設検診の企画実施

- (1) 施設検診の計画実施
検診項目（胃がん、子宮がん、乳がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん、健康診査、人間ドック、その他の検査）
- (2) 精密検査の実施

5 検診の事後管理（読影・判定・結果通知）

- (1) 胃がん検診画像の読影（専門読影委員12名により実施）
- (2) 肺がん検診画像の読影（専門読影委員30名により実施）
- (3) 乳がん検診画像（SMG）の読影（専門読影委員35名により実施）
- (4) 検診結果の通知と要精密検査者への受診勧奨
- (5) 一次検診及び精密検査結果の集計・分析
- (6) 発見がん患者の管理

6 精度管理に向けた専門職の研鑽（細胞診センター分は次項）

- (1) 読影医師、精検医師の技術研修
- (2) 診療放射線技師の技術研修
- (3) 保健師・看護師のがんに関する専門的技術研修

細胞診センター

1 子宮がん細胞診の実施

- (1) 巡回検診における子宮がん検診細胞診
- (2) 検診センターにおける子宮がん検診細胞診
- (3) 日本母性保護医協会、その他受託子宮がん検診の細胞診
- (4) 細胞診標本の保管、管理

2 組織診の実施

- (1) 胃がん組織診
- (2) 子宮がん組織診
- (3) 大腸がん組織診

3 喀痰細胞診の実施

- (1) 巡回検診における喀痰細胞診
- (2) 検診センターにおける喀痰細胞診
- (3) 受託喀痰細胞診

4 その他諸検査の実施

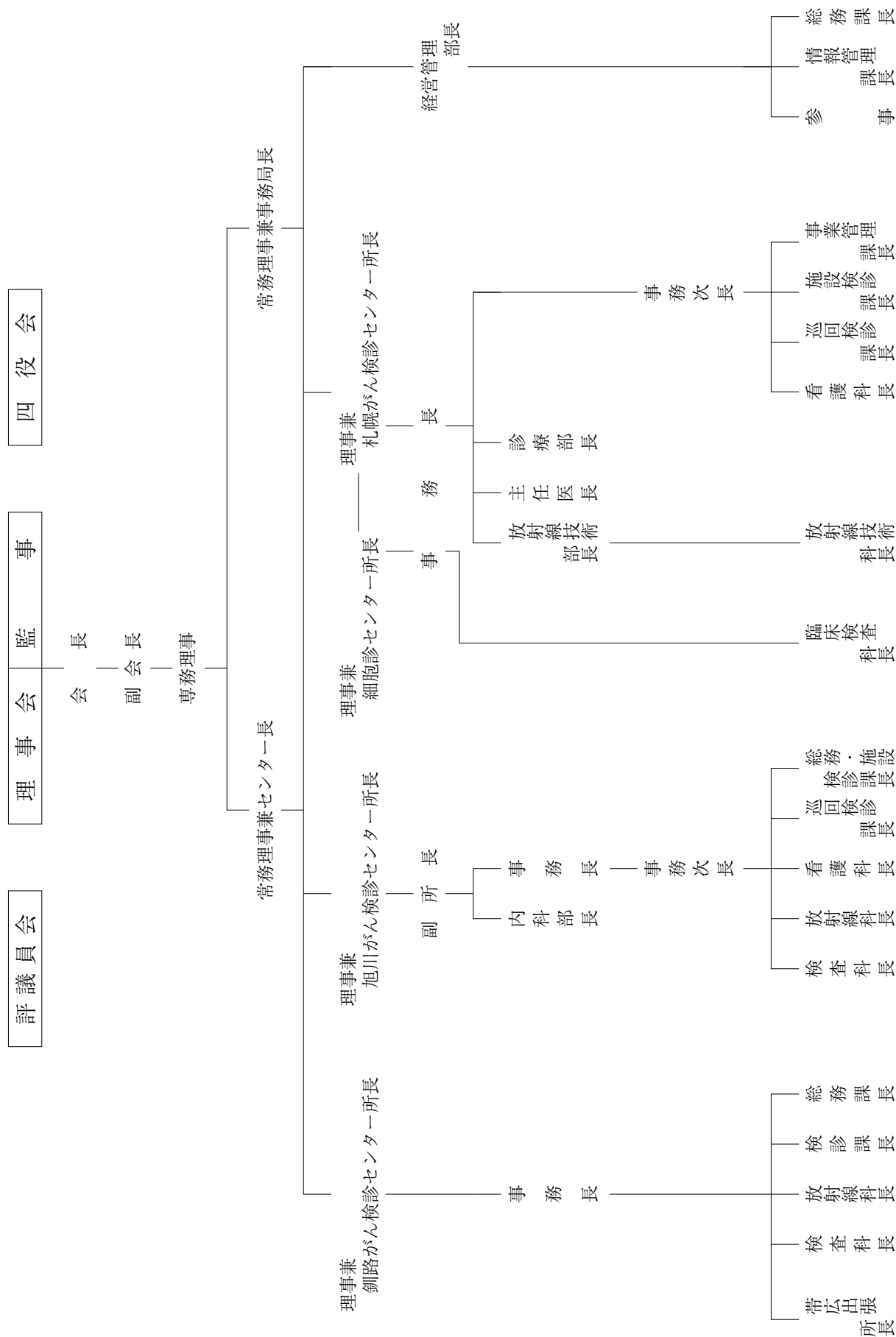
- (1) その他の受託細胞診
- (2) 超音波検査
- (3) 免疫学的便潜血反応検査
- (4) 尿検査
- (5) 心電図検査
- (6) 眼底検査
- (7) 聴力検査
- (8) 視力検査
- (9) その他の諸検査

5 細胞検査士の養成研修の実施

6 がん集団検診従事技術者の研修の実施

3-4 公益財団法人 北海道対がん協会 機構図

令和8年4月1日現在



3-5 役員等名簿

令和8年4月1日現在

名誉会長	菊	地	浩	吉	北海道対がん協会前会長・札幌医科大学名誉教授
会長 (代表理事)	加	藤	元	嗣	北海道対がん協会会長
副会長	加	藤	秀	則	北海道対がん協会札幌がん検診センター所長
〃	佐	古	和	廣	北海道医師会副会長
〃	鳥	越	俊	彦	札幌医科大学医学部名誉教授
〃	平	田		哲	旭川医科大学名誉教授
〃	山	本	邦	彦	北海道国民健康保険団体連合会理事長
専務理事 (業務執行理事)	白	川	賢	一	北海道対がん協会専務理事
常務理事	松	浦	邦	彦	北海道対がん協会センター長・釧路がん検診センター所長
〃	畑	島	久	雄	北海道対がん協会事務局長
理事 (名誉会長)	長	瀬		清	前北海道対がん協会会長・北海道医師会名誉会長
理事	秋	田	弘	俊	北海道大学客員教授(北海道大学病院、大学院保健科学研究院)
〃	磯	部		宏	K K R 札幌医療センター病院長
〃	坂	本	直	哉	北海道大学大学院医学研究院消化器内科学分野・消化器内科学教室教授
〃	平	賀	博	明	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター院長
〃	平	田	公	一	J R 札幌病院顧問・札幌医科大学名誉教授
〃	渡	利	英	道	北海道大学大学院医学研究院産婦人科学教室教授
〃	岡	元	一	平	北海道対がん協会細胞診センター所長
〃	西	村	英	夫	北海道対がん協会旭川がん検診センター所長
監事	秋	山	孝	二	公益財団法人 秋山記念生命科学振興財団理事長
〃	西	田	孝	雄	西田孝雄税理士事務所税理士

評 議 員	有 澤 賢 二	北海道薬剤師会会長
〃	大 場 久 夫	前全国健康保険協会 北海道支部支部長
〃	川 村 英 喜	北海道労働保健管理協会会長
〃	岸 不 盡 彌	東日本学園 北海道医療大学専務理事
〃	齋 藤 ヨ シ 子	北海道健康をまもる地域団体連合会会長
〃	柴 田 達 夫	北海道町村会常務理事
〃	森 満	北海道千歳リハビリテーション大学健康科学部特任教授
参 与	瀬 下 充 孝	北海道保健福祉部健康安全局地域保健課がん対策等担当課長
〃	秋 野 憲 一	札幌市保健福祉局ウェルネス推進部歯科保健担当部長
〃	山 口 亮	旭川市保健所長
〃	熊 谷 瑠 美 子	釧路市こども保健部長

3-6 公益財団法人北海道対がん協会の沿革概要

昭	和	4	年	癌の原因、早期診断及び治療の研究を行うと同時に最善の治療を実施し、且つ公衆に癌の知識を普及するため、昭和4年9月13日財団法人北海道対癌協会を創立する。事務所は北海道帝国大学比較病理学教室に置く。
昭	和	21	年	がん以外の循環器系疾患の予防事業を加え名称を改め財団法人北海道保生協会とする。
昭	和	34	年	日本対ガン協会の設立（昭和33年）との関連およびがん死亡数の急激な増加に対処し「がん」対策の飛躍的推進を図るため、設立当初の本旨にもどり財団法人北海道対がん協会に名称を復元するとともに事務所を北海道衛生部に移す。
昭	和	37	年	日本対ガン協会北海道支部を兼ねる。
昭	和	38	年	日本対ガン協会より胃検診車の配置を受け胃集団検診を開始する。同時に専任職員を置き事務所を独立する。
昭	和	41	年	子宮がん検診車による婦人科検診を開始する。
昭	和	44	年	北海道全域におよぶ対がん活動の拠点として検診センターを建設する。同時に施設及び人員を充実し検診事業を拡大強化する。
昭	和	46	年	日本対ガン協会と本協会の主催でがん征圧全国大会を札幌市民会館で開催する。
昭	和	48	年	集団検診数の増加にともない検診センターを増改築し機能の強化をはかる。 乳房検診用X線装置を整備し乳房検診事業を開始する。
昭	和	51	年	肺がん検診用X線撮影装置を整備し主としてハイリスクグループを対象に肺がん検診を開始する。
昭	和	52	年	消化管検診用X線撮影装置を新設し腸管検診を開始する。
昭	和	53	年	「広域積雪寒冷の悪条件下におけるがん対策に創意工夫をこらし、みるべき成果を挙げた」として保健文化賞及び厚生大臣表彰を受賞する。 乳がん検診車「すずらん号」を整備し活動を開始する。

昭	和	54	年	「がんの予防及び治療の普及啓発に努力を重ね、本道の発展に偉大な業績を挙げた」として北海道開発功労賞を受賞する。 本会創立50周年記念式典及び記念行事を実施する。
昭	和	56	年	道北・道東北の拠点となる旭川がん検診センターが業務を開始する。 旭川市において東日本ガン対策連絡協議会を開催する。
昭	和	57	年	検診センター内に細胞診センターを併設する。
昭	和	58	年	札幌市と対がん協会とのがん対策連絡会が発足する。
昭	和	59	年	胃がん検診数の増加にともないデータ処理の迅速正確性をはかるためコンピュータを導入する。
昭	和	60	年	道東南の拠点となる釧路がん検診センターが業務を開始する。
昭	和	61	年	わが国で、最初の対癌協会として昭和4年創立以来、半世紀にわたる歴史を刻んだ「北海道対がん協会50年史」を発行する。 検診車による肺がん集団検診を開始する。
昭	和	62	年	大腸がん検診を開始する。
平	成	元	年	本会創立60周年記念式典及び記念行事を実施する。
平	成	2	年	釧路がん検診センター5周年記念行事を実施する。 がん征圧全国大会が北海道厚生年金会館で開催され、全国から3,000余名が参加する。
平	成	3	年	旭川がん検診センター10周年記念行事を実施する。 北海道の委託を受けてがん登録評価事業を開始する。
平	成	4	年	旭川がん検診センター待合室、婦人科診療室などの増改築をする。 がん予防学級開講20周年を記念し講演会を開催する。
平	成	5	年	昭和38年11月に検診車による胃がん検診を開始して30年「しらかば記念号」を発行する。
平	成	6	年	「がん電話相談」を開設して10年。相談件数は延べ4,964人に達した。
平	成	7	年	釧路がん検診センター10周年記念行事を実施する。

平	成	8	年	「集団検診などによるがん早期発見・治療への成果と予防知識の普及」活動に対し、道新文化賞第50回記念賞を受賞する。
平	成	10	年	札幌がん検診センターを東区に移転新築し、業務を開始する。
平	成	11	年	本会創立70周年記念式典及び記念行事を実施する。
平	成	13	年	旭川がん検診センター20周年記念行事を実施する。
平	成	19	年	道内初のヘリカルCT肺がん検診車を導入する。 個人情報保護法の施行に伴い施設プライバシーマークを取得する。
平	成	21	年	本会創立80周年を迎え、第42回がん予防道民大会を80周年記念大会として音更町で開催。 沿革と事業をまとめた創立80周年記念誌を発刊した。
平	成	23	年	旭川がん検診センター30周年記念行事及びがん予防学級開校30周年記念講演会を実施する。 道内初の最新式フラットパネルデジタルマンモグラフィ車を導入する。
平	成	24	年	公益法人制度改革に基づく公益財団法人として北海道知事から認定を受け、名称を「公益財団法人北海道対がん協会」へと変更する。
平	成	25	年	9月13日、さっぽろ芸術文化の館（ニトリ文化ホール）にて「2013年度がん征圧全国大会」を開催し、大会史上最多の約2,000名の参加を得て、盛会裡に終了した。
平	成	27	年	釧路がん検診センター30周年記念行事を実施する。 創立30周年記念誌「30年のあゆみ」を発刊した。 2月9日、北海道が中心となり、道内企業をはじめ各種団体や道民の皆様などからの募金や寄付を財源とした「北海道がん対策基金」を設立。 当協会が事務局を担う。
平	成	29	年	札幌がん検診センターで駐車場用敷地を購入し、50台から80台に拡張する。
令	和	元	年	本会創立90周年を迎え、創立90周年記念フォーラムを札幌市で開催した。
令	和	3	年	旭川がん検診センターが40周年を迎えた。
令	和	5	年	札幌がん検診センター1～2階の待合室及び検査室、3階事務室を拡張する。
令	和	7	年	釧路がん検診センターが40周年を迎えた。

4 個人情報保護方針

これからの情報社会において、個人情報の保護は非常に重要な課題です。北海道対がん協会は、個人情報を適切に管理することを社会的責務と考え、個人情報保護に関する方針を以下の通り定め、役員、職員及び関係スタッフに周知徹底を図り、これまで以上に個人情報保護に努めます。

1. 個人情報の取得・利用・提供

検（健）診の内容と規模を考慮して、個人情報を保護・管理する体制を確立し、適切な個人情報の取得、利用及び提供に関する内部規程を定め、これを遵守します。

2. 個人情報の安全対策と教育

当会は、個人情報の重要性について、職員に対する教育啓発活動を実施するほか、個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏洩などに関する万全の予防措置を講ずることにより、個人情報の安全・正確性の確保を図り、万一の問題発生時には速やかな是正対策を実施します。

3. 個人情報に関する法令・規範の遵守

個人情報に関する日本の法令及びその他の規範を遵守します。

4. 継続的改善

当会は、以上の活動を実施するに当たり、個人情報保護を適切に維持するための規程を策定・運用し、運用状況について監査し、これを継続的に見直し改善してゆきます。

5. 個人情報に関するお問い合わせ

個人情報に関するお問い合わせは、下記の相談窓口にてお受けいたします。

公益財団法人 北海道対がん協会

個人情報保護相談窓口（総務課長）

電話011-748-5511（平日午前9時～午後5時）

E-mail office@hokkaido-taigan.jp

平成29年4月1日 制定

令和4年4月1日 改訂

公益財団法人 北海道対がん協会
会 長 加 藤 元 嗣

5 検診センターにおける各種検診日

札幌がん検診センター

(第2・第4・第5土曜日休診)(日・祝日休み)

	が ん 検 診					その他の検診
	胃	子 宮	乳	肺	大 腸	
検診日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	・肺CT検査 ・前立腺がん検診 ・各がん検診の精密検査※ ・特定健康診査 ・定期健康診断 ・人間ドック ・生活習慣病予防健診 ・骨密度測定 ・内臓脂肪CT検査 ・腹部超音波検査
受 付	①X線検査 ②内視鏡検査 月～土	月～土	月～土	月～土	月～土	
時 間	① 8:30～11:00 ② 8:30～ 9:30	8:30～11:00	8:30～11:00	8:30～11:00	8:30～11:00	
	月～金 ①13:00～15:00 ②13:00	月～金 13:00～14:00	月～金 13:00～14:00	月～金 13:00～15:00	月～金 13:00～15:00	

ピロリ菌外来：祝日を除く毎週水曜日 14:00～15:00（担当医：加藤元嗣会長）
便 秘 外 来：祝日を除く毎週金曜日 13:00～15:00（担当医：津田桃子医師）

札幌がん検診センター 〒065-0026 札幌市東区北26条東14丁目1番15号
電話（予約）(011) 748-5522

旭川がん検診センター

(第2・第4・第5土曜日休診)(日・祝日休み)

	が ん 検 診					その他の検診
	胃	子 宮	乳	肺	大 腸	
検診日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	毎 日	・肺CT検査 ・前立腺がん検診 ・各がん検診の精密検査※ ・特定健康診査 ・定期健康診断 ・人間ドック ・生活習慣病予防健診 ・骨密度測定 ・腹部超音波検査 ・動脈硬化検査
受 付	月～土	月～土	月～土	月～土	月～土	
時 間	8:15～11:00	8:15～11:00	8:15～11:00	8:15～11:00	8:15～12:00	
	午後はお電話で ご確認ください	水・金 13:00～14:00	月～金 13:00～14:00	月～金 13:00～14:00	月～金 12:00～14:00	

旭川がん検診センター 〒071-8122 旭川市末広東2条6丁目6番10号
電話（代）(0166) 53-7111
予約専用フリーダイヤル 0120-972-489

釧路がん検診センター

(第2・第4・第5土曜日休診)(日・祝日休み)

	がん検診					その他の検診
	胃	子宮	乳	肺	大腸	
検診日	毎日	月・水・木	月～木	毎日	毎日	・前立腺がん検診 ・各がん検診の精密検査※ ・特定健康診査 ・定期健康診断 ・人間ドック ・生活習慣病予防健診 ・骨密度測定
受付	8:30～11:00	月	月・水・木	月～土	月～土	
時間		8:30～10:00	8:30～13:00	8:30～11:00	8:30～11:00	
		水・木	火	月～金	月～金	
		8:30～13:00	8:30～13:30	13:00～15:00	13:00～15:00	

釧路がん検診センター 〒085-0058 釧路市愛国東2丁目3番1号
電話（代）(0154) 37-3370

※受診の際は、予約が必要です。

※各がん検診の精密検査はセンターによって実施している科目が異なります。詳細はお問い合わせください。

6 北海道がん対策基金のご案内



北海道がん対策

助かる命 助ける絆 北海道がん対策基金

「がん」は、本道においても死因の第1位を占め、道民の生命や健康への脅威であり、がんの克服は多くの道民の願いでもあります。北海道では、「がんになっても安心して暮らせる社会づくり」を目標に、全ての道民が一体となってがん患者やその家族の方々を社会全体で支える仕組みとして、平成27年2月、北海道が中心となり、道内企業をはじめ各種団体や道民の皆様などからの募金や寄付を財源とした基金を設立いたしました。

本基金では、がんの正しい知識や予防に係る普及啓発活動に取り組んでいる団体等に対し、毎年度、助成を行っております。今後とも、皆様とともに「がんに負けない社会」の実現を目指して様々な取組みを進めてまいりますので、継続的なご支援・ご協力をお願い申し上げます。

基金のしくみ



♡ 北海道がん対策基金に寄せられた善意は、こんな事業に役立てられます

◎がん患者・家族への支援
患者やご家族の方々の身体的、経済的な負担を軽減するための療養生活や 就労の相談のほか、ピアサポーターの派遣等に活用
※ピアサポーターとは...がん患者や家族を 仲間(ア)として支援するがん患者



◎小児がん患者・がん教育への支援
小児がんの子供への学習支援や家族との交流、幼少期からのがんの知識を深めるためのがん専門医を学校に派遣するがん教育等に活用



◎情報提供・普及啓発
がんの知識や理解を深めるための様々なイベントの開催や啓発素材の作成、地域の療養施設の情報提供等に活用



◎がん検診の受診促進、予防対策
がんになるリスクを減らすため、日頃の生活習慣の改善やがん検診受診の必要性を理解していただくためのイベントの開催や広報活動等に活用

令和6年度に助成した団体及び事業

団体名	事業名
ピンクリボン in SAPPORO	ピンクリボン in SAPPORO 2024
特定非営利活動法人 おはな	がんに関する総合支援サポート事業
北海道がん患者連絡会	がん患者におけるがん教育講師養成および派遣事業
難治性がん啓発キャンペーン実行委員会	難治性がん啓発キャンペーン2024
NPO法人パンキャンジャパン北海道アフィリエイト	隣がん教室
HHMホット・ハンドむろらん	タオル帽子、乳パッド作成及び寄贈、レンタルウィッグ活動
北海道ヘアドネーション協会	小児がんへの啓発活動イベント及びウィッグの無償提供の周知に関する事業
石狩市	市内中学生及び市民向けがん予防講演会
弟子屈町	弟子屈高校がん教育推進事業
弟子屈町	乳・子宮頸がん検診受診勧奨事業
公益社団法人函館市医師会	函館市内中学生・高校生1年生への子宮頸がんワクチン接種啓発事業
一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会	がんピア・サポート養成・相談支援事業
NPO団体 NIJI.RIBBON(ニジリボン)	子宮頸がんなどの婦人科系がんの早期発見及び定期検診率の向上の為の取り組み

募金の方法

※この募金は法人税、所得税、個人住民税の優遇措置があります。

○口座振込による募金 ○協賛商品の購入による募金 ○募金箱への募金

振込口座

次の銀行口座で受け付けております。

金融機関・支店名	口座番号	口座名義	備考
北海道銀行 札幌駅前支店	普通1877125	北海道がん対策基金	窓口及びATMからの振込は、振込手数料は無料
北洋銀行 札幌南支店	普通4591650	北海道がん対策基金	窓口からの振込は、振込手数料は無料
ゆうちょ銀行	02740-9-102016	北海道がん対策基金	

令和6年度末(令和7年3月末)時点の募金状況

(単位：円)

区分	金額
個 人	8,503,990
企 業 ・ 団 体 等	21,511,787
自 動 販 売 機	20,118,218
募 金 箱	3,204,547
計	53,338,542

※本表は平成27年2月から令和7年3月までの累計額です。

基金支援自販機設置状況

・本自販機の売上の一部が北海道がん対策基金に寄付されております。

	設置場所	所在市町村
1	医療法人秀友会 札幌秀友会病院	札幌市
2	旭川がん検診センター	旭川市
3	医療法人大地 札幌真駒内病院	札幌市
4	勤医協西区ひだまりクリニック	札幌市
5	釧路がん検診センター	釧路市
6	五稜郭病院5階リハビリテーション科前	函館市
7	公益財団法人 北海道対がん協会	札幌市
8	社会医療法人 製鉄記念室蘭病院	室蘭市
9	社会医療法人 北楡会 札幌北楡病院	札幌市
10	手稲溪仁会病院1Fロビー	札幌市
11	徳州会 札幌病院	札幌市
12	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	札幌市
13	独立行政法人国立病院機構函館病院	函館市
14	日鋼記念病院	室蘭市
15	ノルデン薬局北栄店	札幌市
16	一般社団法人 北海道医師会	札幌市
17	一般社団法人 北海道歯科医師会	札幌市
18	北海道キリンビバレッジ2F	札幌市
19	株式会社ほくやく・竹山ホールディングス本社	札幌市
20	株式会社ほくやく新川物流センター	札幌市
21	株式会社竹山 札幌業務センター	札幌市
22	株式会社ムトウ	札幌市
23	株式会社モロオ ANNEX2	札幌市
24	株式会社モロオ ANNEXビル1F	札幌市
25	株式会社モロオ 旭川	旭川市
26	株式会社モロオ 岩見沢	岩見沢市
27	株式会社モロオ 釧路	釧路市
28	株式会社モロオ 札幌業務推進センター	札幌市
29	株式会社モロオ 札幌業務推進センター1F	札幌市
30	株式会社モロオ 札幌東・豊平	札幌市
31	株式会社モロオ 室蘭	室蘭市
32	株式会社モロオ 小樽	小樽市
33	株式会社モロオ 帯広	帯広市
34	株式会社モロオ 大谷地業務推進センター	札幌市
35	株式会社モロオ 苫小牧	苫小牧市
36	株式会社モロオ 函館	函館市
37	株式会社モロオ 発寒物流2F	札幌市
38	株式会社モロオ 発寒物流3F	札幌市
39	株式会社モロオ 北見	北見市
40	NPO法人蒼空 わく・WORKらんな	札幌市
41	エームサービス株式会社(北海道医療大学歯学部棟1F)	当別町
42	株式会社ブラザー 輸送	札幌市
43	トランスコスモスMCM札幌北口第1階	札幌市
44	トランスコスモス株式会社札幌北口6F	札幌市
45	トランスコスモス株式会社北口4F	札幌市
46	トランスコスモス株式会社MCMセンター札幌駅前	札幌市
47	ブリヂストンタイヤソリューションジャパン株式会社 函館営業所	函館市
48	有限会社タック・コーポレーション(美園7・4メディカル)	札幌市
49	レックス月寒中央パーキング	札幌市
50	レックス北13条パーキング	札幌市
51	ワタキューセイムア株式会社北海道支店(岩内協会病院)	岩内町
52	株式会社NTT東日本サービス 函館116センタ	函館市
53	株式会社ハリス室蘭店	室蘭市
54	株式会社ミルックス北海道支店(清水建設株式会社設置分)	札幌市
55	株式会社丸竹計電社	札幌市
56	㈱マルベリー さわやかセンター帯広	帯広市
57	公益財団法人 北海道対がん協会 1F	札幌市
58	札幌工業株式会社	札幌市
59	山崎製パン株式会社 札幌工場	札幌市
60	室蘭リゾート開発株式会社(市立室蘭総合病院)	室蘭市
61	室蘭リゾート開発株式会社(室蘭市役所)	室蘭市
62	太平洋セメント株式会社 上磯工場	北斗市
63	日本データサービス株式会社	札幌市
64	北洋銀行本店	札幌市
65	江別保健所	江別市
66	根室保健所	根室市
67	深川保健所	深川市
68	静内保健所	新ひだか町
69	千歳保健所	千歳市
70	滝川保健所	滝川市
71	中標津保健所	中標津町
72	苫小牧保健所	苫小牧市
73	八雲保健所	八雲町
74	富良野保健所	富良野市
75	北海道庁本庁舎13F	札幌市
76	北海道立衛生研究所	札幌市
77	北見保健所	北見市
78	名寄保健所	名寄市
79	紋別保健所	紋別市
80	室蘭市保健センター	室蘭市
81	苫小牧市役所 庁舎1階自動販売機コーナー	苫小牧市

北海道キリンビバレッジ(株)

	設置場所	所在市町村
1	札幌医科大学付属病院外来棟1階	札幌市
2	医療法人彰和会北海道消化器科病院	札幌市
3	帯広協会病院	帯広市
4	愛全病院1F カップ	札幌市
5	愛全病院1階 FV	札幌市
6	愛全病院2F KO	札幌市
7	愛全病院3F FV	札幌市
8	愛全病院4F KO	札幌市
9	愛全病院B1ラブコック KO	札幌市
10	愛全病院地下 KO	札幌市
11	愛全病院地下 FV	札幌市
12	愛全病院渡り廊下 FV	札幌市
13	札幌厚生病院1FATM前	札幌市
14	室蘭太平洋病院 1階 FVミックス	室蘭市
15	社会医療法人札幌清田病院1階 缶機	札幌市
16	大川原脳神経外科病院	室蘭市
17	定山薬病売店前	札幌市
18	北海道歯科医師会4階	札幌市
19	株式会社ほくやく札幌西センター	札幌市
20	株式会社ほくやく竹山ホールディングス本社	札幌市
21	株式会社竹山 ハピア物流センター	札幌市
22	株式会社竹山 苫小牧支店	苫小牧市
23	アフラック札幌総合支社V	札幌市
24	株式会社HBA5階FV	札幌市
25	株式会社保健科学研究所	札幌市
26	竹山札幌業務センター	札幌市
27	東陽上村アドバンス従業員休憩所	札幌市
28	ほくやく・竹山 札幌東支店	札幌市
29	株式会社セイショフ 本社	札幌市
30	赤帽北海道軽自動車運送協同組合FV	札幌市
31	東陽上村アドバンス株式会社 江別工場FV	江別市
32	東陽上村アドバンス株式会社 本社	札幌市
33	アートビルズ KO	札幌市
34	アビターレ	札幌市
35	アン・ペルアミィ KO	札幌市
36	サン・グレイス 1階	札幌市
37	サン・グレイス FV	札幌市
38	リラコート愛全 KO	札幌市
39	ローザガーデン FV	札幌市
40	介護老人保健施設ガーデンハウスくりやま	栗山町
41	高齢者総合福祉施設アビターレ アネックス	札幌市
42	静山荘 FV	札幌市
43	静山荘2F FV	札幌市
1	北海道がんセンター 2F外来待合	札幌市
2	北海道子ども総合医療・療育センター(こどもつくる)	札幌市
3	洞爺湖温泉病院 No.2	洞爺湖町
4	洞爺湖温泉病院 新売店 No.1	洞爺湖町
5	社会医療法人北楡会 札幌北楡病院 東棟3階NO1	札幌市
6	社会医療法人北楡会 札幌北楡病院 東棟3階NO2	札幌市
7	社会医療法人北楡会札幌北楡会病院 1F	札幌市
8	社会医療法人北楡会札幌北楡会病院 EV前	札幌市
9	株式会社ほくやく カスタマーセンター	札幌市
10	株式会社ほくやく 札幌西業務センター	札幌市
11	株式会社ほくやく 本社1F通路	札幌市
12	株式会社ほくやく 札幌白石業務センター	札幌市
13	株式会社竹山 業務センター	札幌市
14	株式会社ほくやく 本社	札幌市
15	第一生命保険株式会社 札幌総合支社	札幌市
16	株式会社デンソー北海道 社員休憩室	札幌市
17	株式会社田中組	札幌市
18	株式会社デンソーソリューション北海道支社	札幌市
19	株式会社デンソーソリューション北海道支社	札幌市
20	丸彦渡辺建設株式会社	札幌市
21	和光技研株式会社	札幌市
1	札幌がん検診センター 1階休憩室	札幌市
2	札幌がん検診センター 4階会議室前	札幌市
3	尾崎設備工業株式会社	恵庭市
4	天龍工業株式会社	札幌市
5	日重建設株式会社 機材センター	恵庭市
6	日重建設株式会社 第二機材センター	恵庭市
1	株式会社ほくやく 本社ビル	札幌市
2	株式会社竹山 札幌業務センター	札幌市
3	株式会社ほくやく 桑園ビル3階	札幌市
4	株式会社ほくやく 桑園ビル4階	札幌市
1	市立函館病院	函館市
2	株式会社竹山 商品管理センター	札幌市

北海道キリンビバレッジ(株)

サントリービバレッジソリューション(株)

ネオス㈱

㈱大沼

北海道伊藤園

※本表は令和6年度末(令和7年3月末)時点のデータです。

※自販機の設置を検討・希望される団体様等におかれましては、次のURLに設置方法や連絡先を記載しております。

<https://hokkaido-taigan.jp/donate/support/vending/>



常設募金箱設置状況

・常設で設置している募金箱は次のとおりです。その他各種イベントで臨時の募金箱を設置する場合があります。

	区 分	設 置 場 所	所在市町村
1	拠点病院	北海道がんセンター	札幌市
2		手稲溪仁会病院	札幌市
3		JA北海道厚生連札幌厚生病院	札幌市
4		恵佑会札幌病院	札幌市
5		砂川市立病院	砂川市
6		日鋼記念病院	室蘭市
7		王子総合病院	苫小牧市
8		市立旭川病院	旭川市
9		北見赤十字病院	北見市
10		函館五稜郭病院	函館市
11	指定病院	函館中央病院	函館市
12		札幌北楡病院	札幌市
13		札幌共立五輪橋病院	札幌市
14		北海道医療センター	札幌市
15		深川市立病院	深川市
16		市立室蘭総合病院	室蘭市
17		製鉄記念室蘭病院	室蘭市
18		伊達赤十字病院	伊達市
19		苫小牧市立病院	苫小牧市
20		旭川赤十字病院	旭川市
21	一般病院	札幌秀友会病院	札幌市
22		道東勤医協釧路協立病院	釧路市
23	調剤薬局	ふよう調剤薬局	苫小牧市
24	企業	(株)セイショウ	札幌市
25		(株)effect	函館市
26	行政	北海道保健福祉部健康安全局地域保健課	札幌市
27		福島町	福島町
28		北海道江差保健所	江差町
29	法人	(公財)北海道対がん協会(事務局)	札幌市
30		(公財)北海道対がん協会札幌がん検診センター	札幌市
31		(公財)北海道対がん協会旭川がん検診センター	旭川市
32		(公財)北海道対がん協会釧路がん検診センター	釧路市

※常設の募金箱は、北海道がん対策基金募金箱設置要領に基づき設置されています。

※本表は令和6年度末(令和7年3月末)時点のデータです。

お問い合わせ

○(管理・運営)公益財団法人北海道対がん協会経営管理部総務課
<https://hokkaido-taigan.jp/>

Tel(011)-748-5518

○北海道保健福祉部健康安全局地域保健課がん対策係
http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kth/kak/gan_fund_toppage.htm

Tel(011)-204-5117

7 がん征圧賛助会へのご入会案内

北海道対がん協会は、昭和4年に全国で初めて創立された対がん組織です。その使命には、がんに関する正しい知識の普及と早期発見のための検診事業の推進、がんの研究等があります。

現在、当協会が行っている検診から発見されるがんは、8割以上が治し得るがんです。そのことから、がん検診事業は多くの人命を救う事業と言えます。

北海道においても、がんは年々増え続け、今や2人に1人ががんにかかり、4人に1人ががんで亡くなる時代となりました。

当協会では、がん征圧運動を広げるため、賛助会制度を設けております。

ご入会いただいた会員の皆さまから寄せられる会費は、がんに関する正しい知識を知ってもらうための教材を作成することに使用するほか、がん検診や機器の整備、がん研究の援助などに使わせていただきます。

がん征圧事業の拡大強化のため、皆さまのあたたかいご支援をお願い申し上げます。

1. 賛助会員（継続して会費を納めて頂き、支援して下さる方）

個人会員 年1口 1,000円

（3口以上で税控除対象）

法人会員 年1口 10,000円

（口数に制限はありません）

2. 特別会員（寄付金を寄せられた方）

金額の多少にかかわらずお受けしております。

多くは香典返しに替えてのご寄付ですが、快気祝、還暦、古希など個人のお祝いや、チャリティイベントにちなんだご寄付などが寄せられております。

※賛助会費は、法人税、所得税、個人住民税の優遇措置があります。寄付金の税控除の手続きには領収書のみで対応できます。必要な場合は、各がん検診センターへお問い合わせください。

3. ご入会後は

がん征圧賛助会員として登録し、パンフレットや当協会の機関誌「しらかば」等、がんに関する印刷物を作成ごとにお送りいたします。

4. お申し込み・お問い合わせ

詳細は最寄りのがん検診センターへご連絡ください。

公益財団法人北海道対がん協会 札幌がん検診センター 011-748-5511

〃 旭川がん検診センター 0166-53-7111

〃 釧路がん検診センター 0154-37-3370

国立がん研究センターをはじめとする研究グループは、日本人を対象としたこれまでの研究を調べました。その結果、日本人のがんの予防にとって重要な、「禁煙」「節酒」「食生活」「身体活動」「適正体重の維持」の5つの改善可能な生活習慣に「感染」を加えた6つの要因を取りあげ、「日本人のためのがん予防法（5+1）」を定めました。

科学的根拠に根ざしたがん予防ガイドライン 「日本人のためのがん予防法（5+1）」



国立がん研究センターがん情報サービス「科学的根拠に基づくがん予防」より